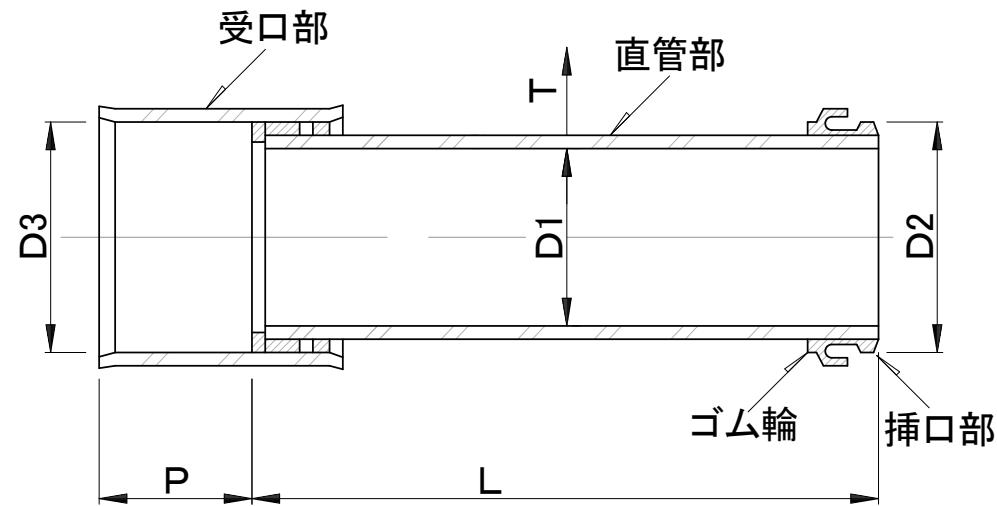


参考図

〔特殊な条件下で使用する資器材並びに設計・積算の参考となる図面等を掲載しています。参考図に掲載されている資器材等を使用する場合は、規格・仕様・構造計算等を確認してください。〕

直 管(B形)



寸 法 表

(単位:mm)

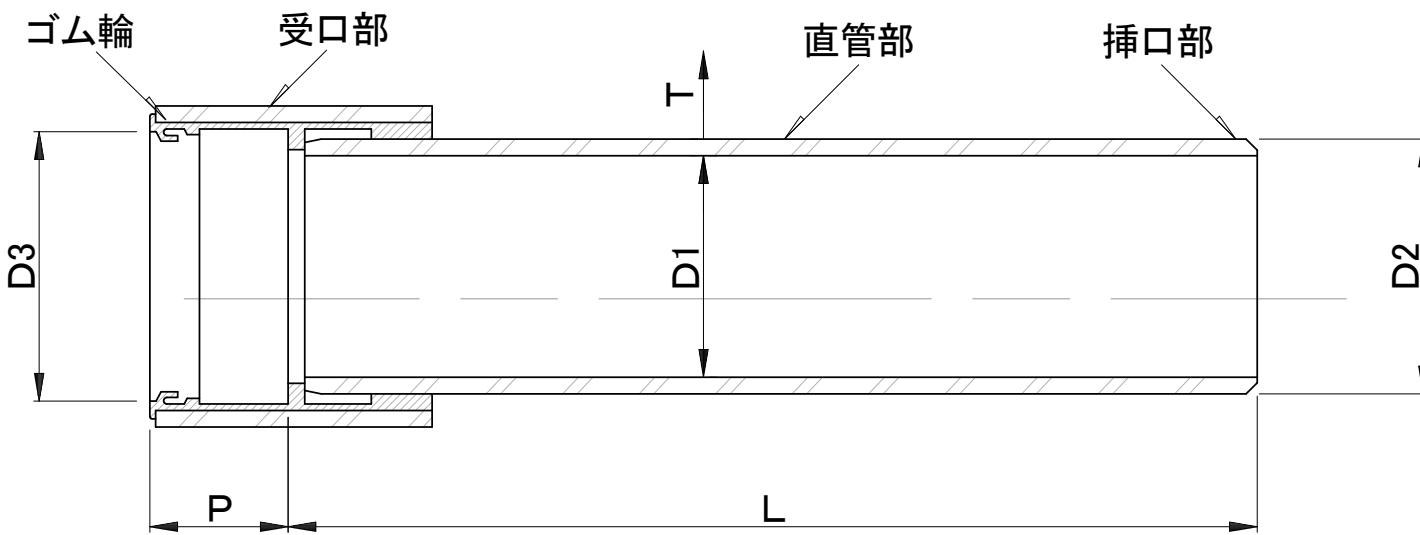
呼び径	厚さ		有効長		内 径		挿口部 外 径		受 口 部		参考質量 (kg/本)		
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差	D2	許容差	D3	許容差			
200	7.0	+ 3 - 0	4000	+ 30 - 10	200	± 1.5	229	± 1.0	230.5	± 1.0	140	± 5	39
250	7.5				250		280		281.5		150		52
300	8.0				300		331		332.5		160		66
350	8.5				350		382		383.5		200		82
400	9.0				400		434		435.5		±10		98
450	9.5				450		485		486.5				118
500	10.0				500		541		542.5				140
600	12.0	+ 5 - 0			600	± 3.0	645	± 1.5	646.5	± 1.5			202

特
記
事
項

- 有効長(L)は、4000mm以下の他の長さとすることができます。
- 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
- 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

下水道用強化プラスチック複合管
規格図(内径200mm~600mm)
(JSWAS K-2) (1)

直 管(C形)



寸 法 表

(単位:mm)

呼び径	厚 さ		有効長		内 径		挿口部 外 径	受 口 部		参考質量 (kg/本)	
	T	許容差	L	許容差	D1	許容差		D3	許容差	P	許容差
200	7.0	± 3	4000	± 30	200	± 1.5	217	± 1.0	218.5	± 1.0	140
250	7.5				250		268		269.5		150
300	8.0				300		319		320.5		160
350	8.5				350		370		371.5		200
400	9.0				400		421		422.5		± 10
450	9.5				450		472		473.5		39
500	10.0				500		523		524.5		52
600	12.0				600		627		628.5		66
											82

特
記
事
項

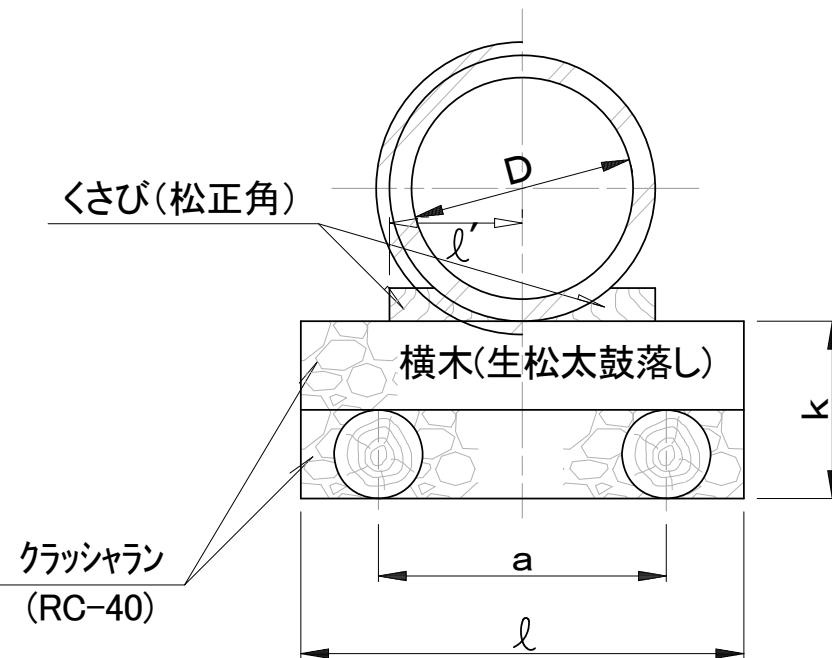
- ゴム輪は、分割形であってもよい。
- 有効長(L)は、4000mm以下の他の長さとすることができます。
- 内径(D1)及び受口部内径(D3)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の内径測定値の算術平均値とする。
- 挿口部外径(D2)は、任意箇所における相互に等間隔な、2方向以上の外径測定値の算術平均値あるいは円周長を円周率3.1416で除した値とする。

下水道用強化プラスチック複合管
規格図(内径200mm~600mm)
(JSWAS K-2)(2)

寸法表

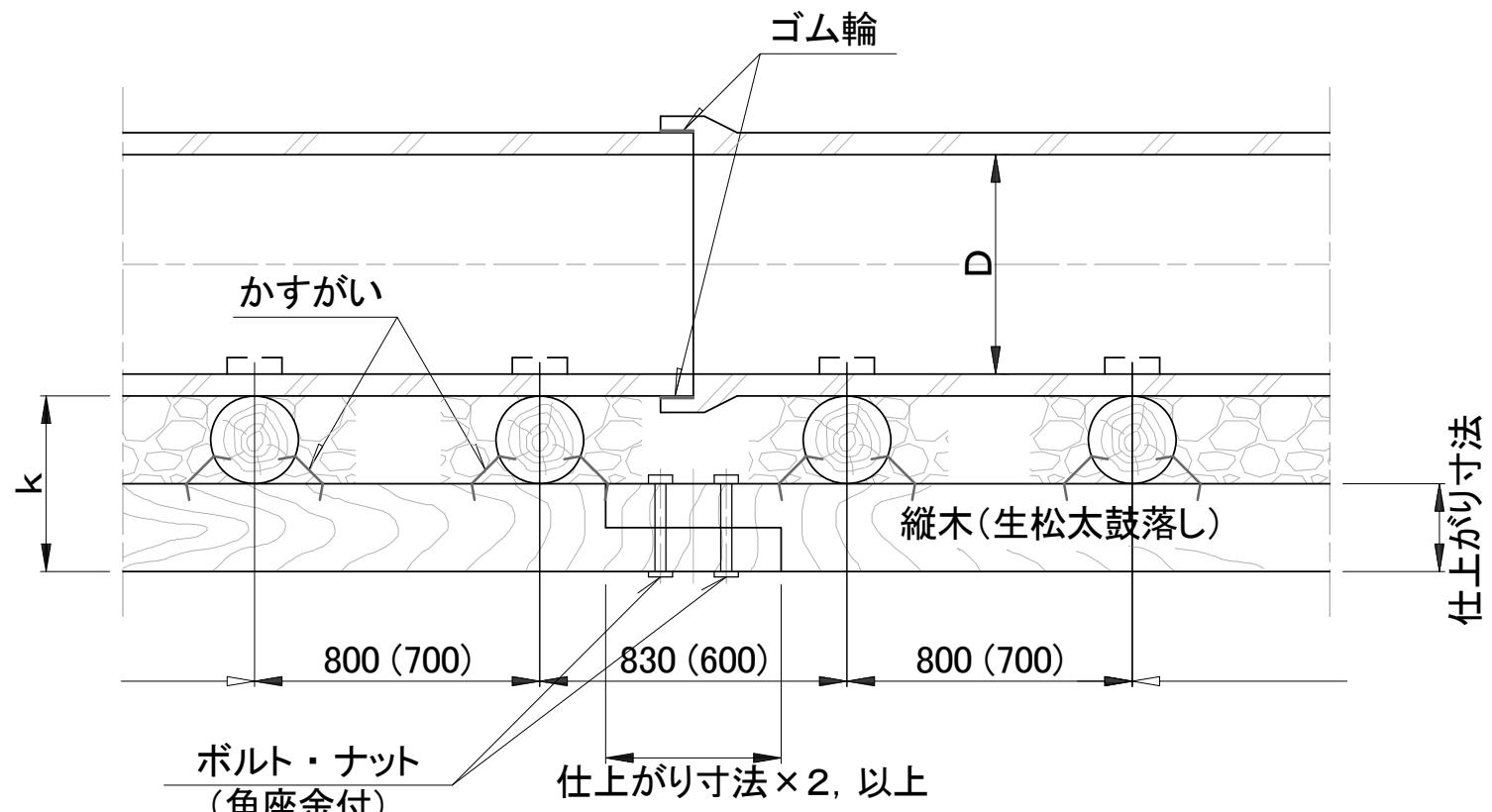
(単位:mm)

内径 D	縦木 間隔 a	基礎巾 <i>l</i>	基礎厚 <i>k</i>	くさび 長さ <i>l'</i>	材料寸法			ボルト・ナット (角座金付)	
					参考値				
					横木材 末口×仕上げ	縦木材 末口×仕上げ	くさび材		
250~350	300	450	165	150	105×75	120×90	60×60	Φ9. <i>l</i> =125	
400	300	450	165	150	120×90	120×90	60×60	Φ9. <i>l</i> =125	
450~600	400	600	180	200	120×90	120×90	60×60	Φ9. <i>l</i> =125	
700~1000	600	900	240	300	150×120	150×120	75×75	Φ9. <i>l</i> =150	
1100, 1200	800	1200	240	400	150×120	150×120	75×75	Φ9. <i>l</i> =150	
1350	1000	1500	240	400	150×120	150×120	75×75	Φ9. <i>l</i> =150	
1500	1000	1500	300	400	180×150	180×150	90×90	Φ13. <i>l</i> =210	
1650, 1800	1200	1800	300	400	180×150	180×150	90×90	Φ13. <i>l</i> =210	

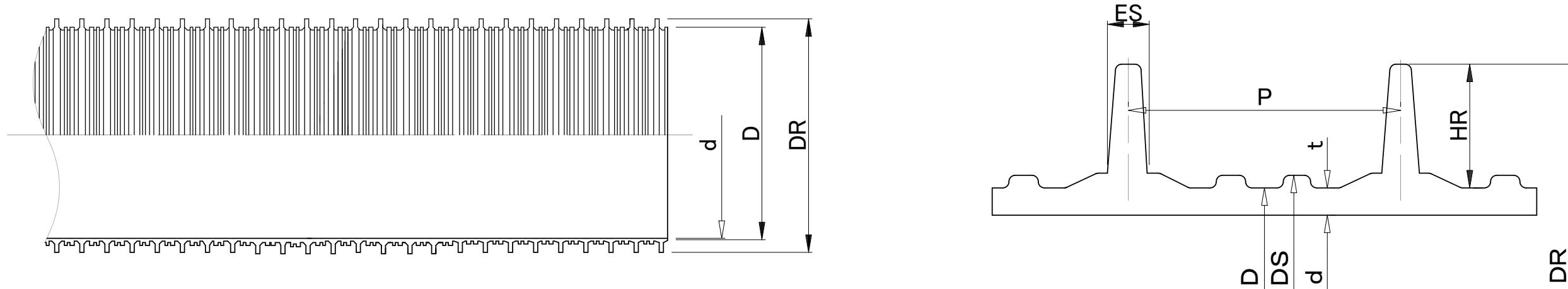


材 料 表 (100m当たり)

内径 D	参考値			クラッシャン (RC-40) (m³)	ボルト・ナット (角座金付) (本)
	横木材 (生松)	縦木材 (松正角)	くさび材 (松正角)		
	(m³)	(m³)	(m³)		
250~350	0.75	3.04	0.14	4.300	104.7
400	0.80	3.04	0.12	5.200	104.7
450~600	1.07	3.04	0.16	8.000	104.7
700~1000	2.53	4.79	0.40	17.200	106.4
1100~1200	3.70	4.79	0.56	24.400	106.4
1350	4.20	4.79	0.56	32.400	106.4
1500	5.99	7.03	0.80	38.400	108.1
1650~1800	7.16	7.03	0.80	47.800	108.1

注) ()は $\ell = 2000\text{mm}$ ヒューム管使用時の数値。

直管部共通寸法



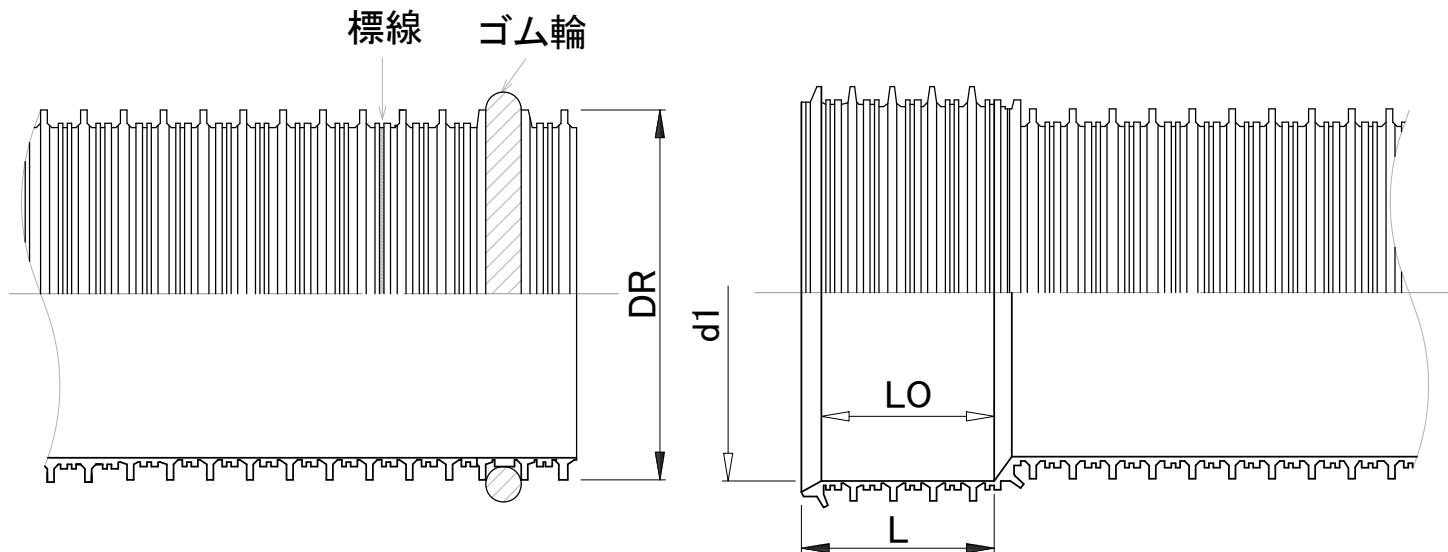
(単位:mm)

呼び径	シール部外径 DS		厚さ t		リブ間隔 P		標準値				参考	
	基準寸法	許容差	最小	許容差	基準寸法	許容差	外径D	リブ外径 DR	リブ高さ HR	リブ幅 ES	近似内径 d	1m当りの質量(kg)
150	157.5	±0.6	2.4	+0.8 0	19.1	±0.6	155.5	171.0	7.7	3.1	150	3.000
200	207.7	±0.7	2.4		25.4	±0.8	205.5	228.8	11.6	3.6	200	4.350
250	258.5	±0.9	2.7		30.5	±0.9	256.1	286.2	15.0	4.4	250	6.380
300	309.7	±1.0	3.0	+1.2 0	38.1	±1.1	307.1	343.6	18.2	5.4	300	9.020
350	360.2	±1.1	3.1		38.1	±1.1	357.4	400.6	21.6	5.9	350	12.030
400	411.0	±1.3	3.3	+1.4 0	38.1	±1.1	407.6	448.4	20.4	5.8	400	13.860
450	461.8	±1.4	3.5		38.1	±1.1	457.8	502.0	22.1	6.8	450	17.360

特記事項

- 注) 1. 外径及びリブ外径は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値及びリブ外径測定値の平均値をいう。
 2. 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm³で測定したものである。
 3. リブ根元部分の詳細形状については、規定しない。

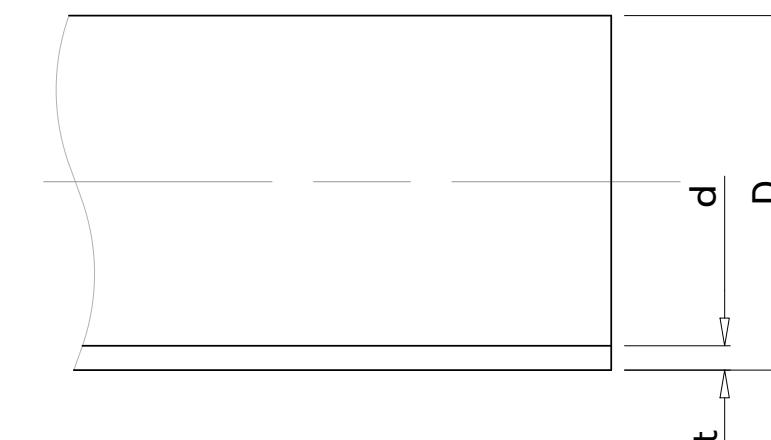
下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
 規格図(1) <直管>
 (JSWAS K-13)



直管、異形管受口及びゴム輪差し口共通寸法

(単位:mm)

呼び径	差し口部	受口部			
		リブ外径 DR (標準値)	受口内径 d1 (最小)	平行部長さ Lo (最小)	受口長さ L (標準値)
150	171.0	171.7	90	100	61.3
200	228.8	229.7	100	115	61.9
250	286.2	287.3	115	140	69.2
300	343.6	344.9	135	170	77.8
350	400.6	402.1	135	170	77.8
400	448.4	450.2	135	170	77.8
450	502.0	504.0	135	170	77.8



副管用90度支管直管部共通寸法

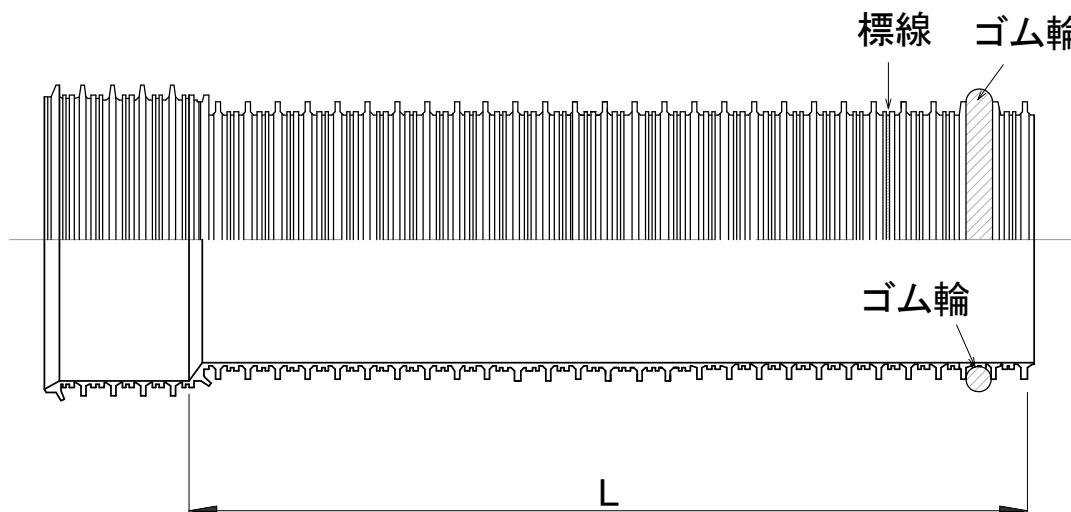
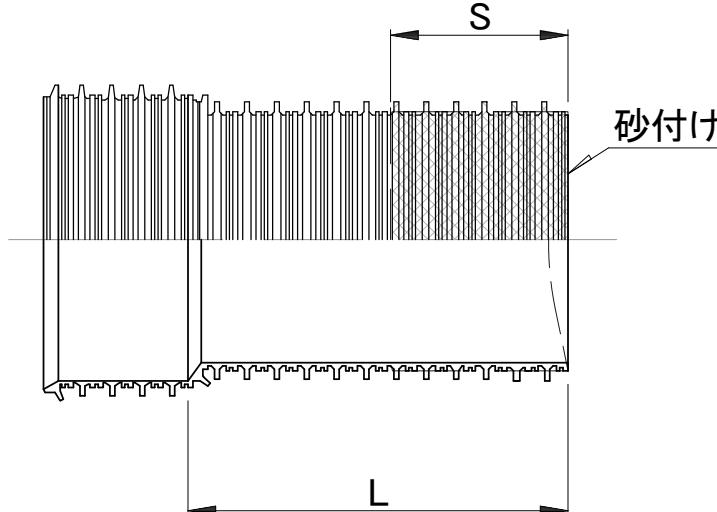
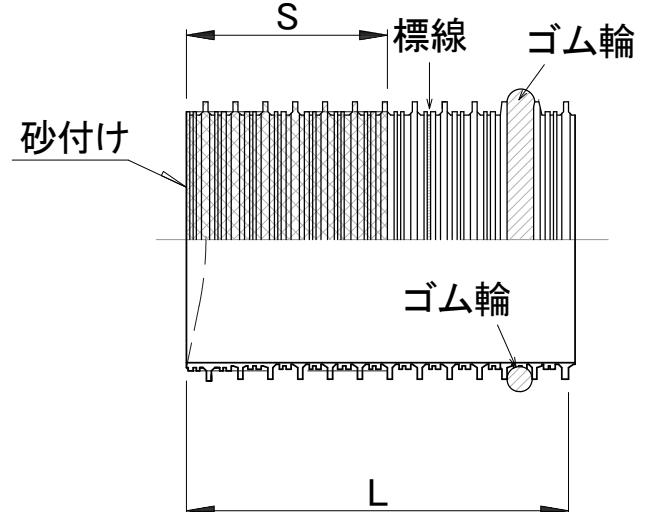
(単位:mm)

呼び径	外 径 D		厚 さ t		参 考	
	基準寸法	許容差	最 小	許容差	内径d	1m当りの質量(kg)
150	165.0	±0.6	5.1	+0.8	154.0	3.941
200	216.0	±0.7	6.5	+1.0	202.0	6.572
250	267.0	±0.9	7.8	+1.2	250.2	9.758
300	318.0	±1.0	9.2	+1.4	298.2	13.701
350	370.0	±1.2	10.5	+1.4	347.6	18.051
400	420.0	±1.3	11.8	+1.6	394.8	23.059
450	470.0	±1.5	13.2	+1.8	441.8	28.875

- 注) 1. 受口部内径 d_1 は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。
 2. ゴム輪の形状は、規定しない。
 3. ゴム輪差し口でのゴム輪取付け位置は、管端より第2番目と3番目のリブの間とする。
 4. 標線位置は、呼び径150の場合は管端より第6番目と第7番目のリブの間、
 呼び径200以上の場合は第5番目と第6番目のリブの間とする。
 5. 接合長さ e は、平均部長さ L_o (最小) - (1.5 × リブ間隔 P)として算出したものである。

- 注) 1. 外径 D とは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値の平均値をいう。
 2. 表中1m当りの質量は、密度 1.43 g/cm^3 で計算したものである。
 3. 本表は、JIS K 6741 の管(呼び径100~450)と同一である。

片受け直管(略号PRP)

上流用マンホール継手(略号MR-PRP)
及び副管分岐用マンホール継手
(略号MRL-PRP)下流用マンホール継手
(略号MSA-PRP)

片受け直管寸法表

(単位:mm)

呼び径	L
150	4000 ⁺³⁰ ₋₁₀
200	4000 ⁺³⁰ ₋₁₀
250	4000 ⁺⁴⁰ ₋₁₀
300	
350	
400	
450	

上流用マンホール継手
及び副管分岐用マンホール継手寸法表

(単位:mm)

呼び径	L		S (参考)
	MR-PRP	MRL-PRP	
150			
200	500 ⁺³⁰ ₋₁₀	1000 ⁺³⁰ ₋₁₀	
250			
300			
350	500 ⁺⁴⁰ ₋₁₀	1000 ⁺⁴⁰ ₋₁₀	
400			
450			

下流用マンホール継手寸法表

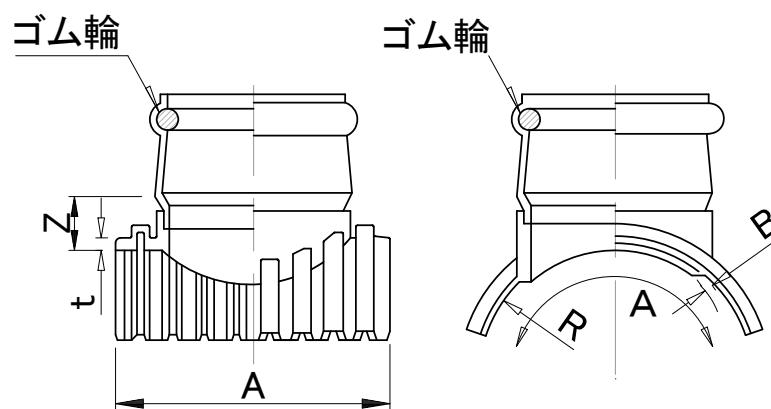
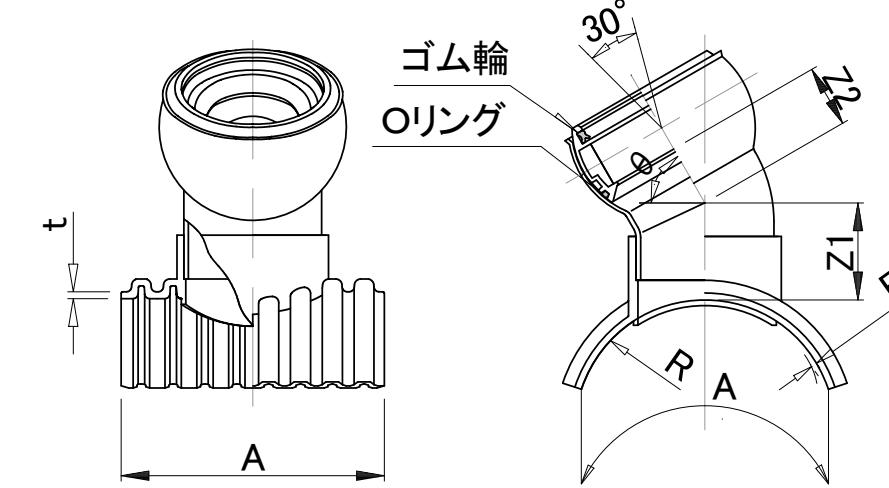
(単位:mm)

呼び径	L	S (参考)
150		
200	500 ⁺³⁰ ₋₁₀	
250		
300		
350	500 ⁺⁴⁰ ₋₁₀	
400		
450		

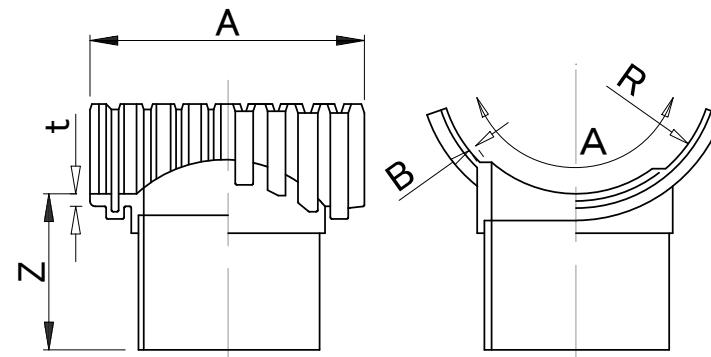
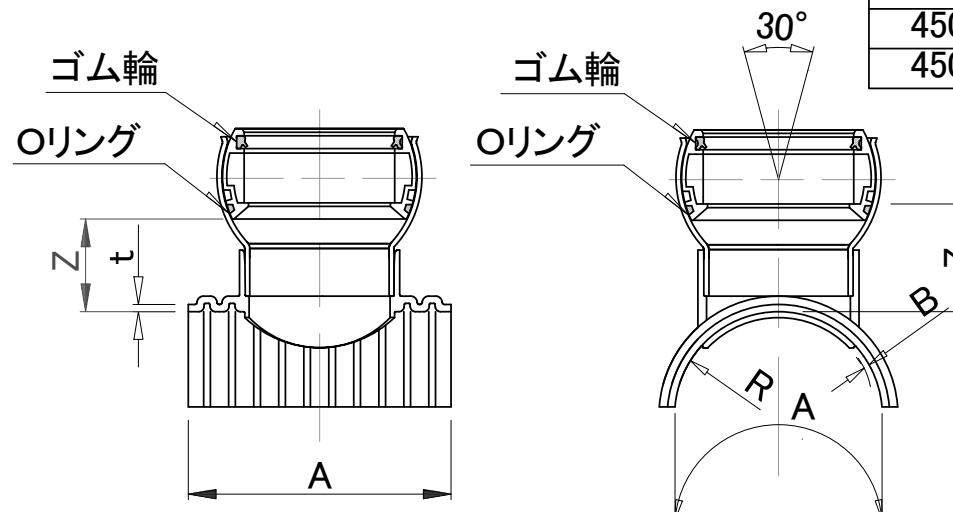
特記事項

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
規格図(3)
(JSWAS K-13)

90度支管(取付管用)(略号90SVR-PRP)

リブ60度自在支管(略号60SVRF-PRP)
リブ45度自在支管(略号45SVRF-PRP)

副管用90度支管(略号VS-PRP)

リブ90度自在支管(取付管用)
(略号90SVRF-PRP)90度支管(取付管用)寸法表
(単位:mm)

呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R	
200-150	73	255	4.6	4	104	
250-150	76	250	5.0		129	
250-200	91	310			155	
300-150	80	300	5.5		180	
300-200	95	315			206	
350-150	83	285	5.8		231	
350-200	98	315				
400-150	86	285	6.5			
400-200	101	315				
450-150	89	285	6.7			
450-200	104	315				

注) 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
2. Zの許容差は、±15mmとする。
3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。
4. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は規定しない。

副管用90度支管寸法表

(単位:mm)

呼び径	Z	A (最小)	B (最大)	t (最小)	R	
200-150	163	255	4.6	4	104	
250-150	166	250	5.0		129	
250-200	201	310			155	
300-150	170	300	5.5		180	
300-200	205	315			206	
350-150	173	285	5.8		231	
350-200	208	315				
400-200	211	315	6.5			
450-200	214	315				

注) 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。

2. Zの許容差は、±10mmとする。

3. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。

4. サドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

90度、60度、45度自在支管寸法表

(単位:mm)

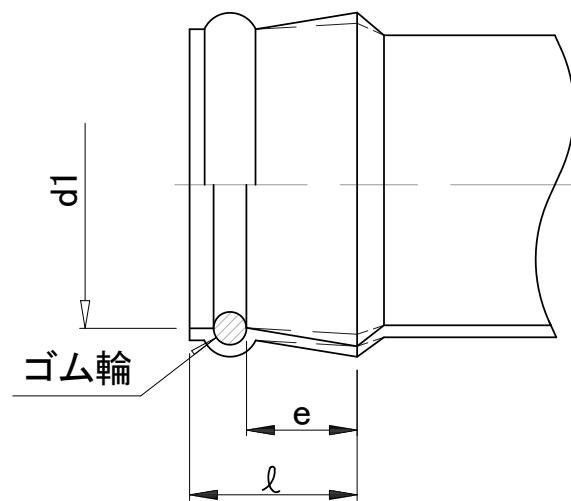
呼び径	自在支管					A	R	B	t
	90度		60度θ)		45度θ)				
	Z (最小)	Z1 (最小)	Z2 (最小)	Z1 (最小)	Z2 (最小)				
200-150	65	62	50	75	68	255	104	4.6	4
250-150	70	65	50	78	68	250			
250-200	75	70	86	88	93	310			
300-150	75	68	50	82	68	300			
300-200	80	73	86	92	93	315			
350-150	75	71	50	85	68	285			
350-200	80	76	86	95	93	315			
400-150	80	74	50	83	98	285			
400-200	85	79	86	90	123	315			
450-150	80	77	50	86	101	285			
450-200	85	82	86	93	126	315			

注) 1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。

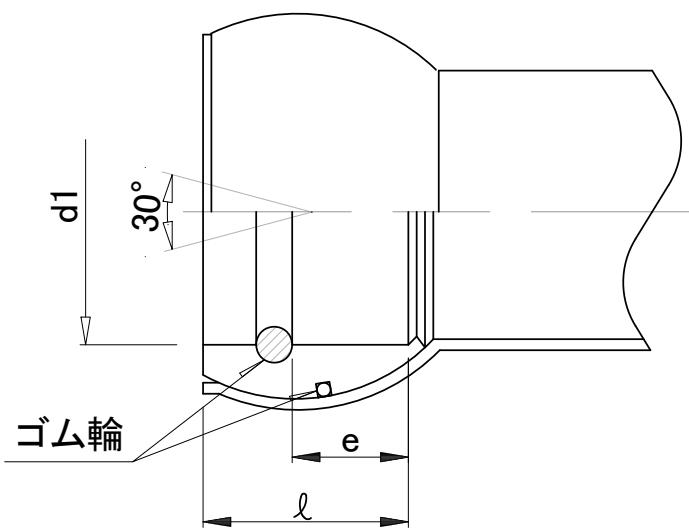
2. Rは標準値を示すものであり、許容差は規定しない。

3. ゴム輪の形状及びサドルと短管の接合部の詳細は、規定しない。

取付管形



取付管形(自在)



90度支管、自在支管ゴム輪受口共通寸法

(単位:mm)

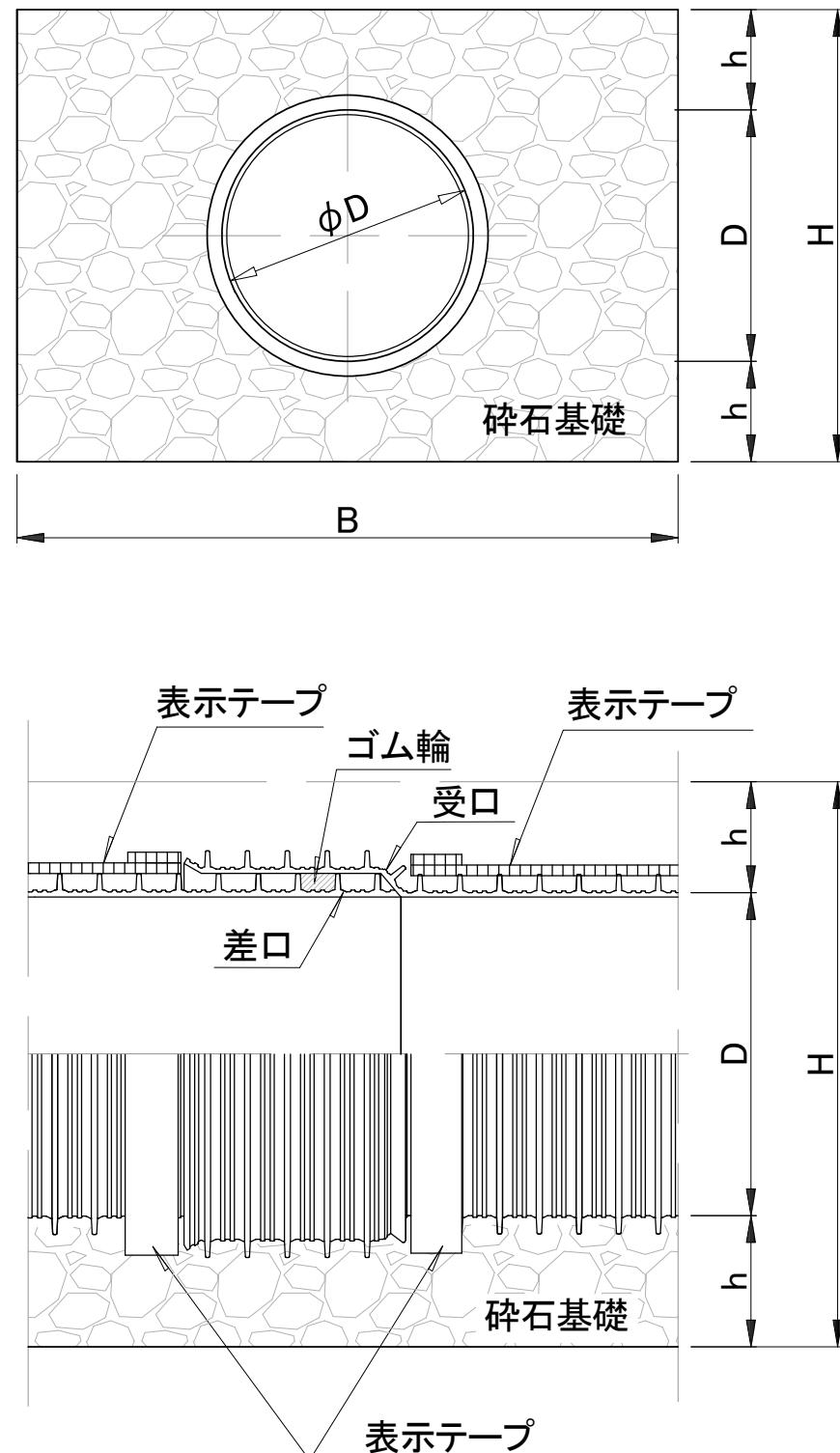
呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

(単位:mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
150	165.7	58	120
200	216.9	69	145

- 注) 1. 破線で示す形状にすることもできる。
 2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状については、規定しない。
 3. 受口内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。

- 注) 1. ゴム輪の形状、ゴム周辺部の形状及び摺動部周辺の形状については、規定しない。
 2. 受口内径 d1 は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。



寸法及び材料表

(100m当たり)

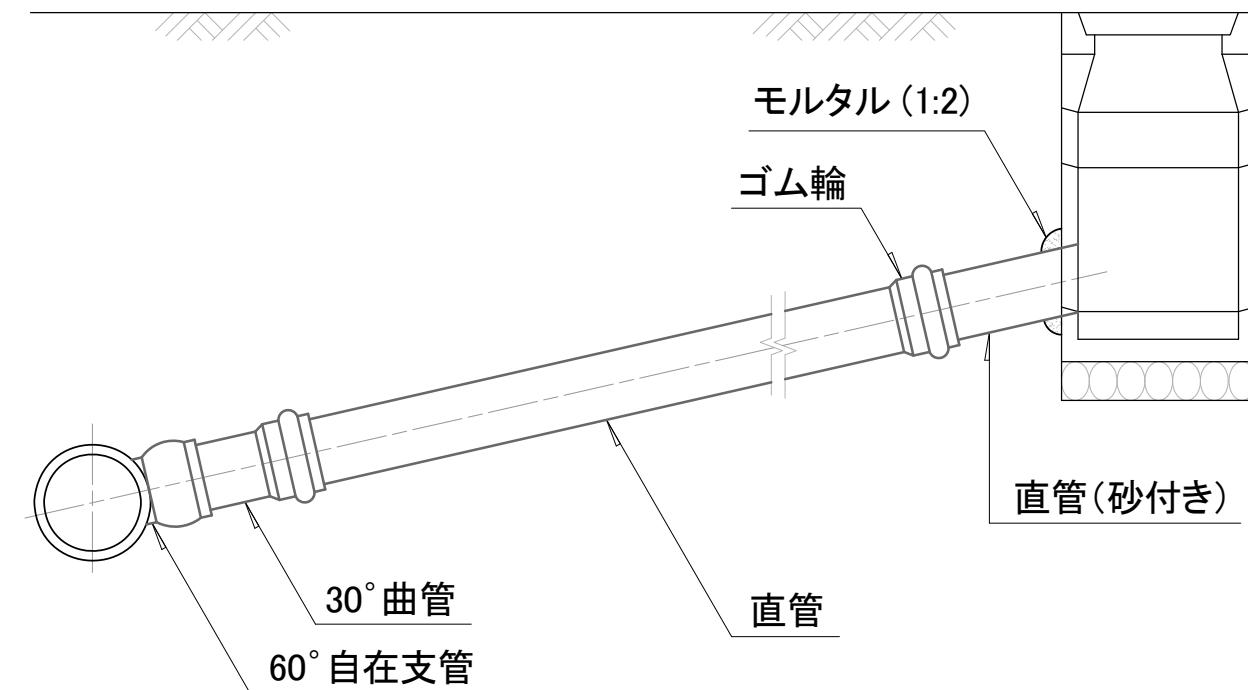
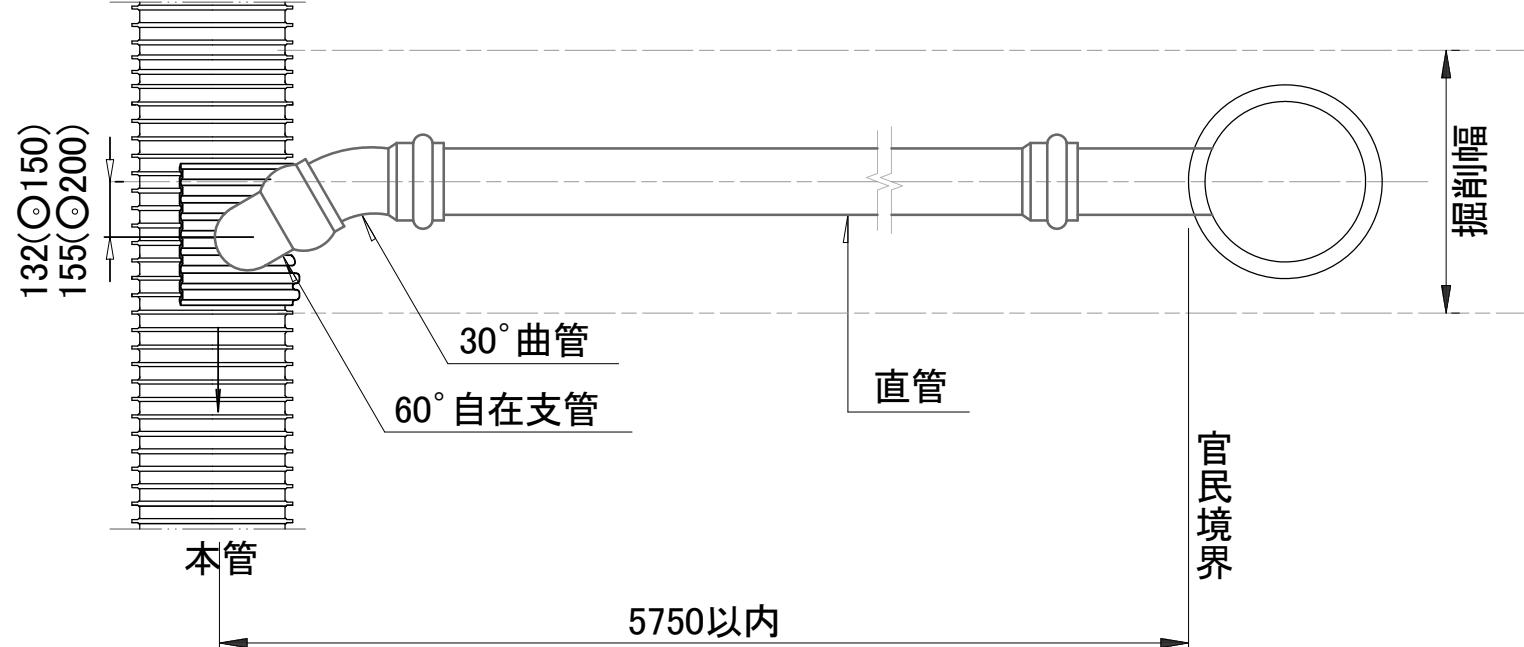
種類	呼び径	管 厚 t (mm)	外 径 D(参考) (mm)	h (mm)	H (mm)	掘削幅 B (mm)	碎石基礎 (m ³)
下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	150	2.4 ^{+0.8} ₋₀	155.5	100	355.5	(750)	24.8
	200	2.4 ^{+0.8} ₋₀	205.5	100	405.5	800	29.1
	250	2.7 ^{+0.8} ₋₀	256.1	100	456.1	850	33.6
	300	3.0 ^{+1.2} ₋₀	307.1	100	507.1	900	38.2
	350	3.1 ^{+1.2} ₋₀	357.4	100	557.4	950	42.9
	400	3.3 ^{+1.4} ₋₀	407.6	100	607.6	1000	47.7
	450	3.5 ^{+1.4} ₋₀	457.8	100	657.8	1050	52.6

特記事項

- 注1) $\phi 150\text{mm}$ 、 $\phi 200\text{mm}$ は原則として使用しない。
注2) 基礎形状は碎石を基本とする。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
布設図
(呼び径150mm～450mm)

本管(リブ付硬質塩化ビニル) – 取付管(硬質塩化ビニル)

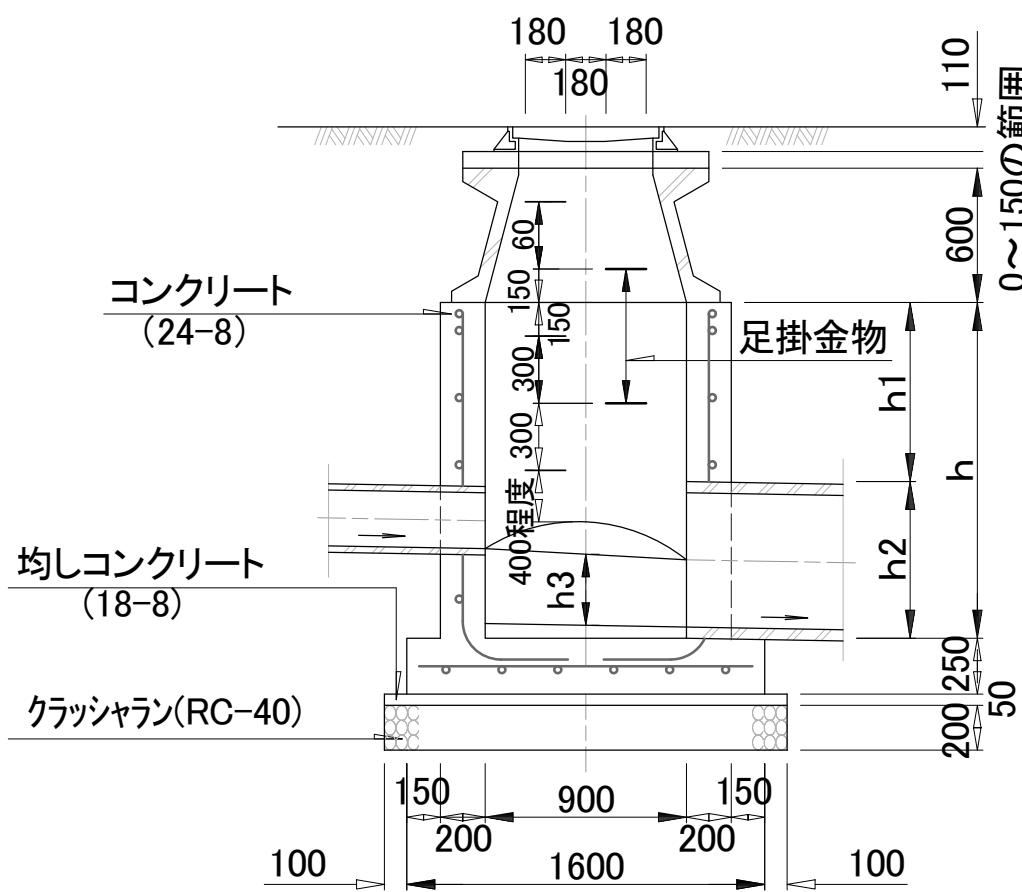


特記事項

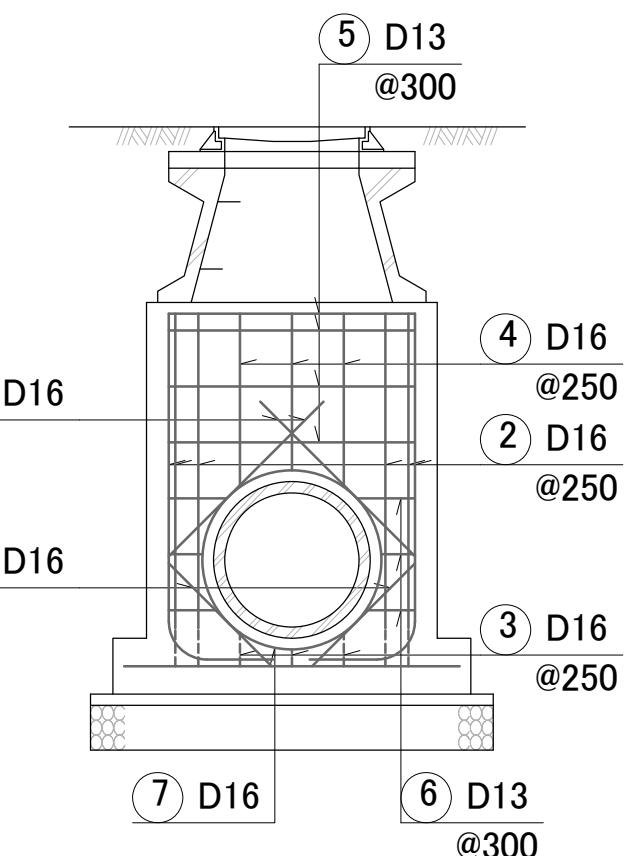
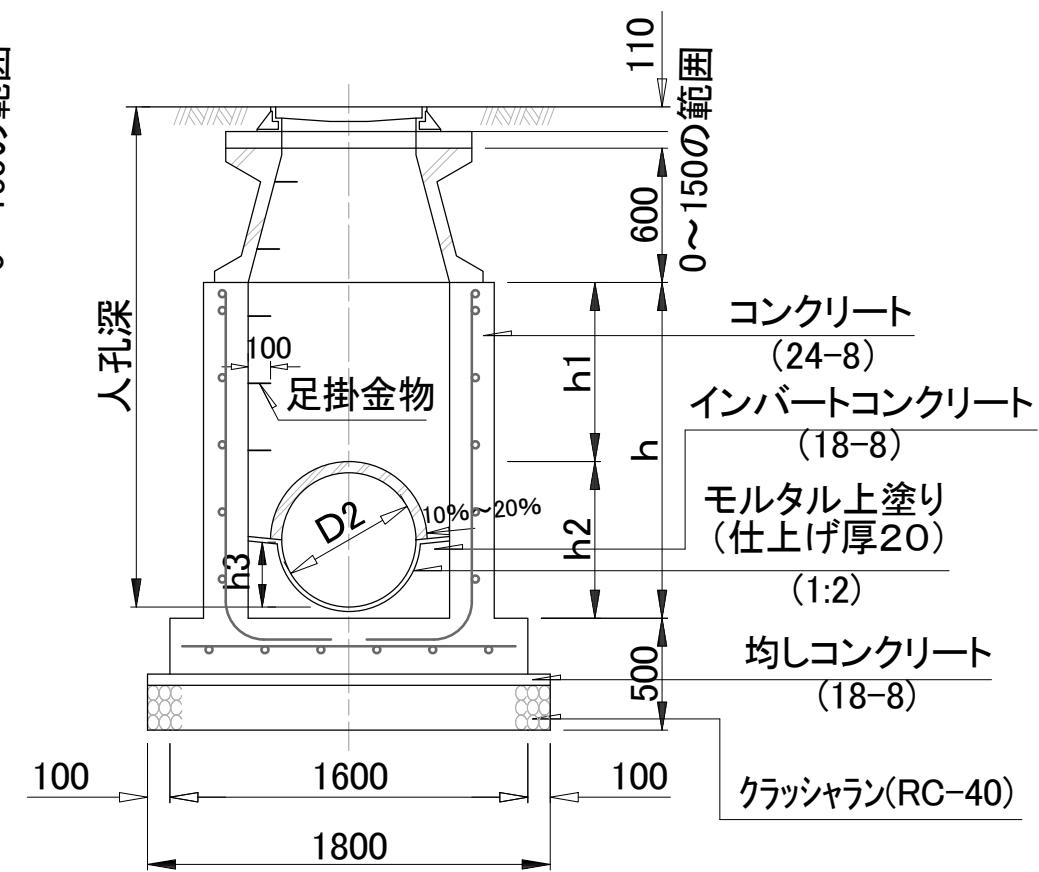
注)雨水樹取付管布設についても上図に準ずる。

下水道用リブ付硬質塩化ビニル管
取付管布設図

縦断面図

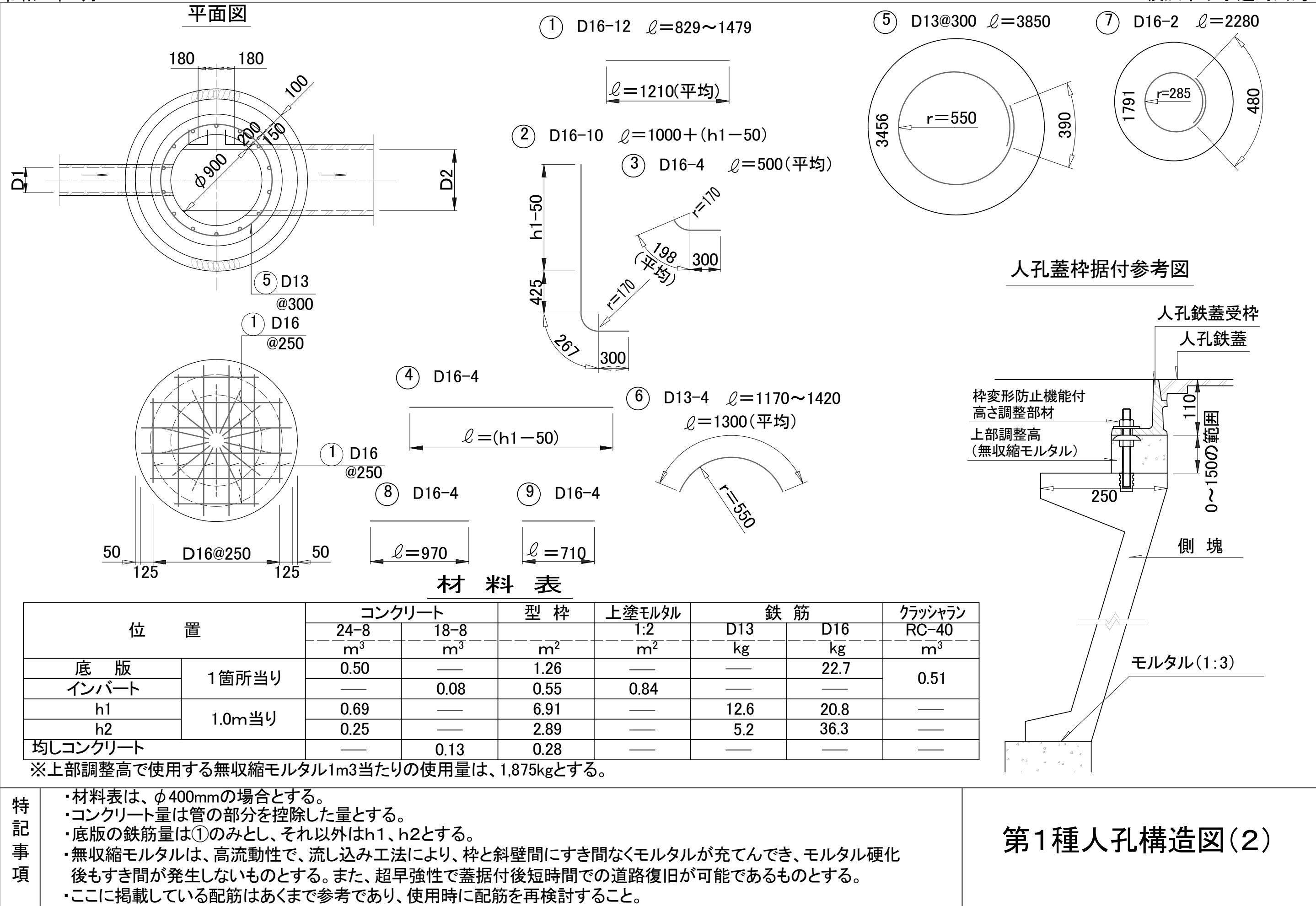


横断面図

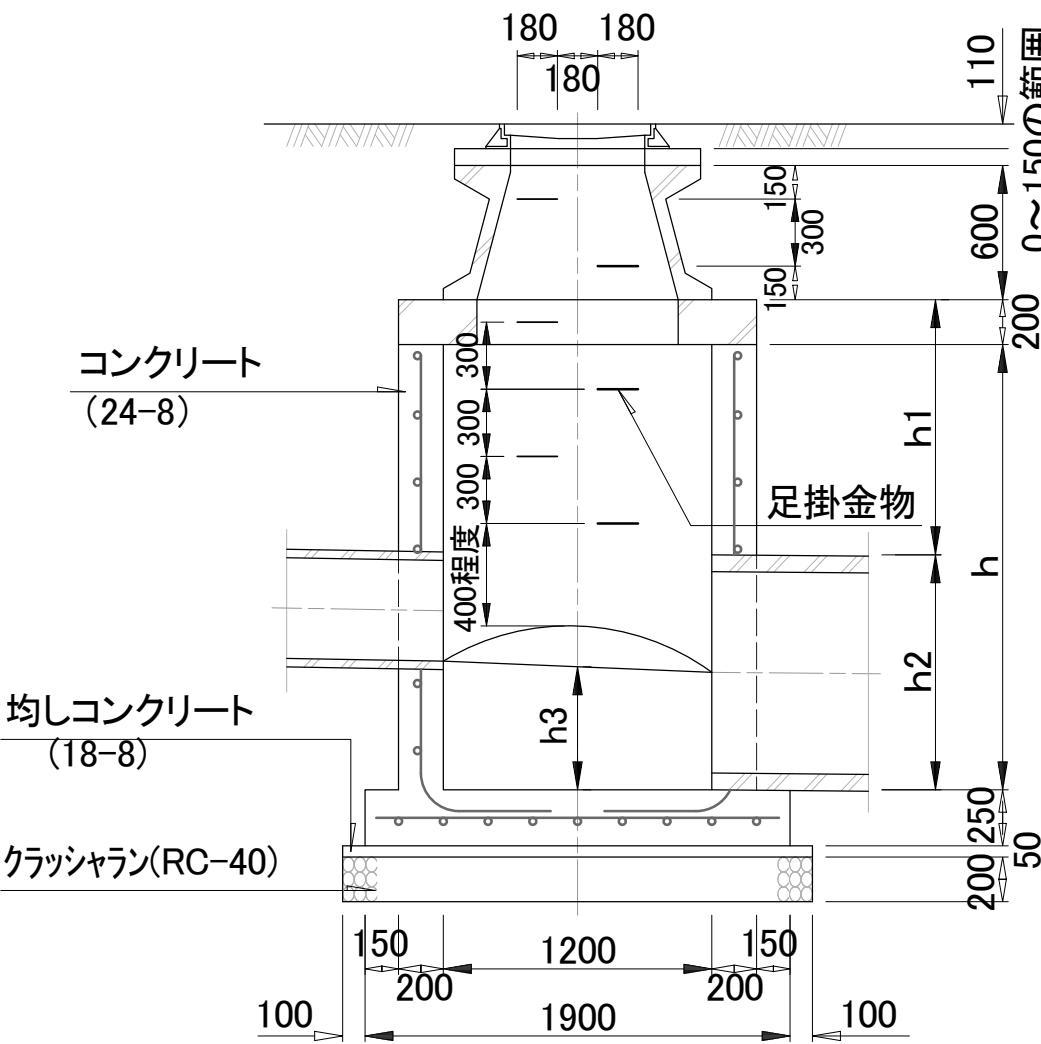
特
記
事
項

足掛け金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛け金物は設けなくてよい。
h3(インバート高さ)は下流管管径の1/2とする。
・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

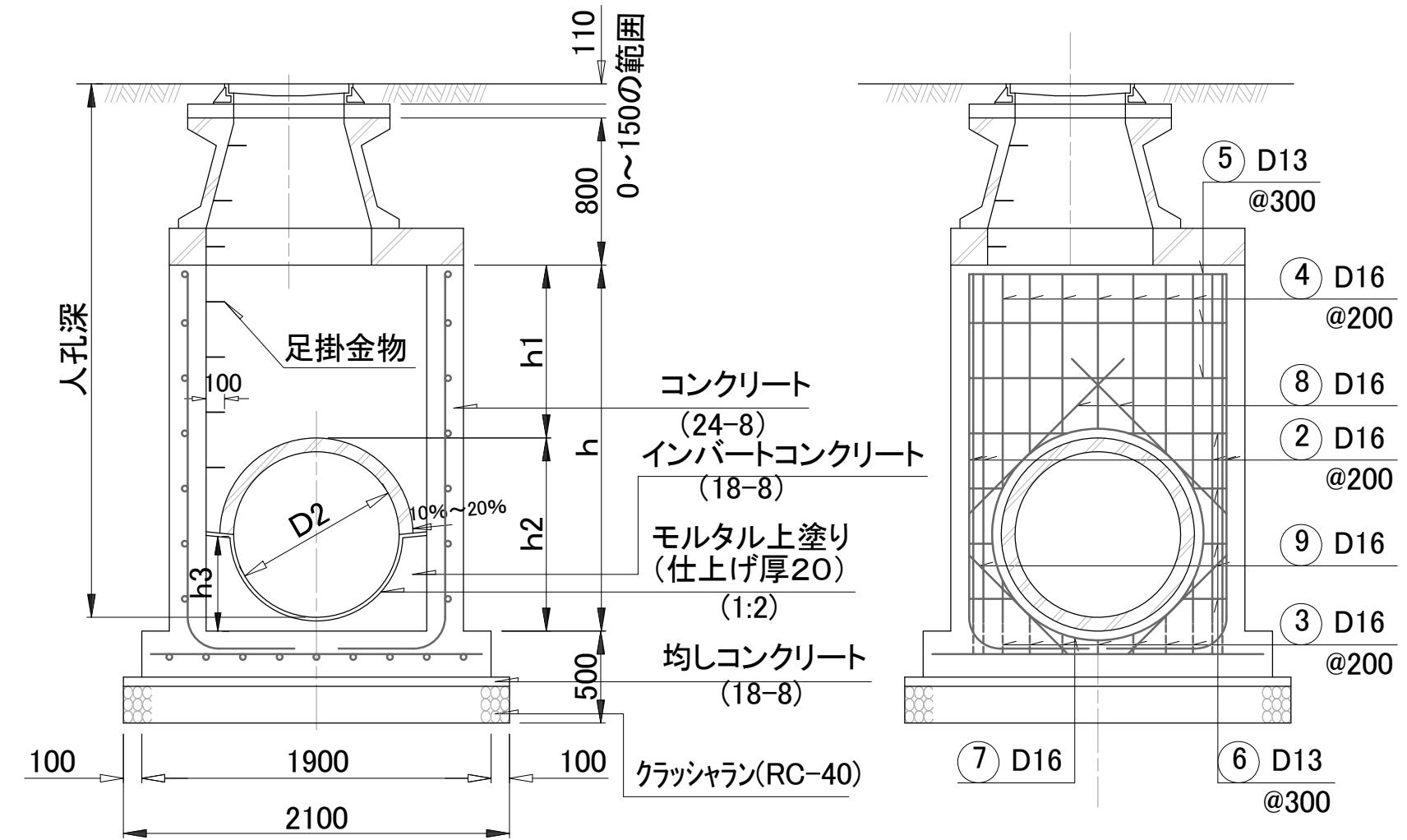
第1種人孔構造図(1)



縦断面図



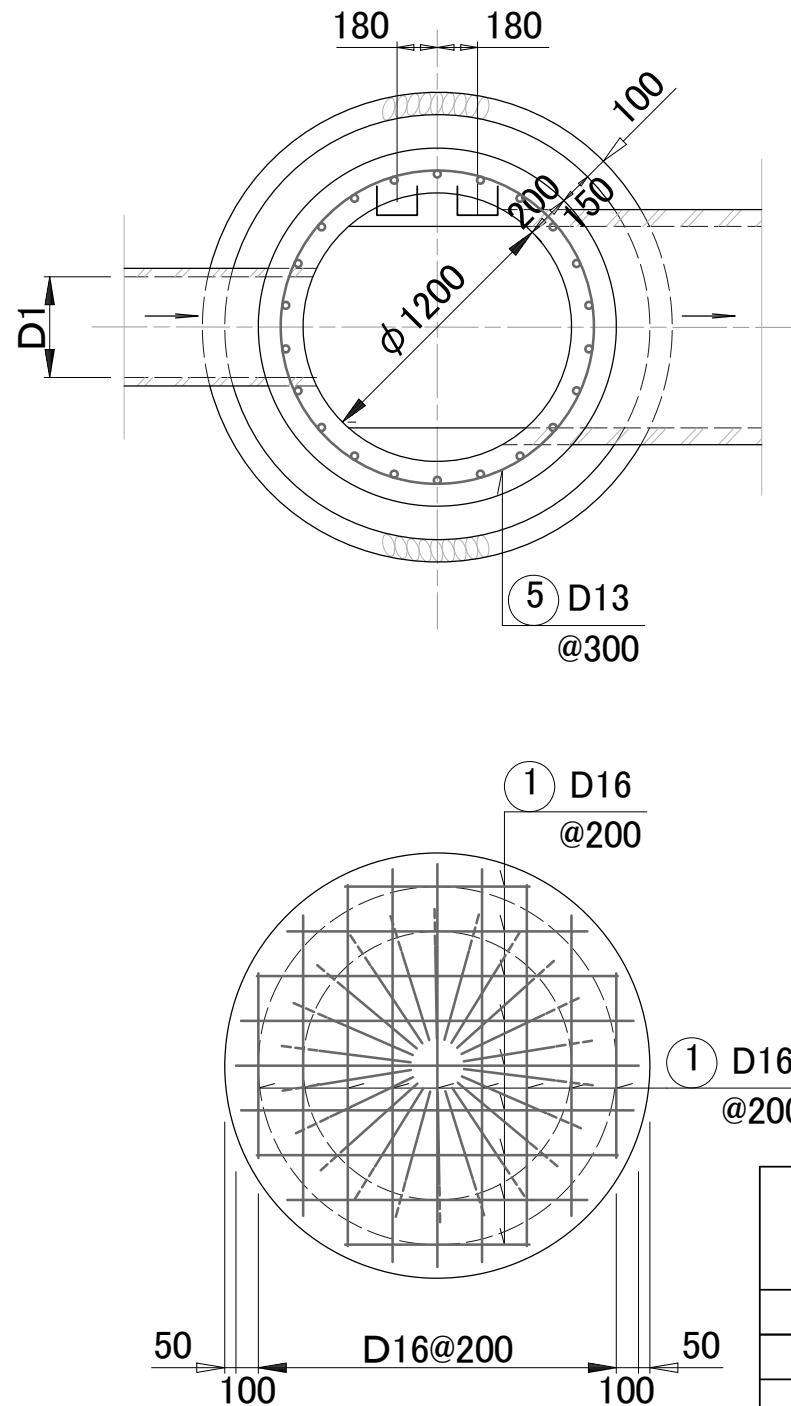
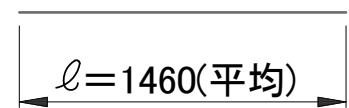
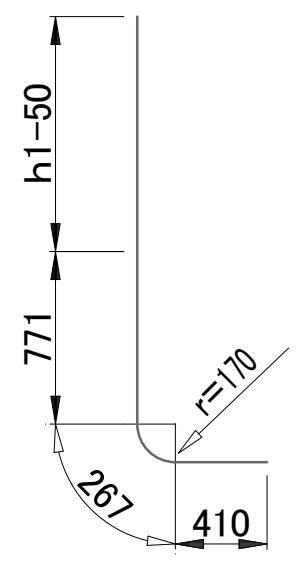
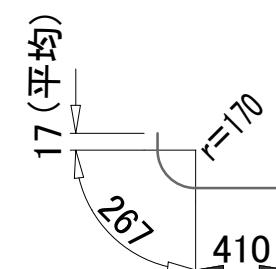
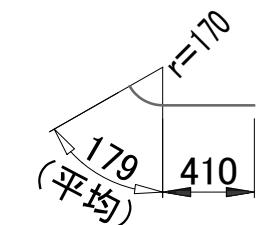
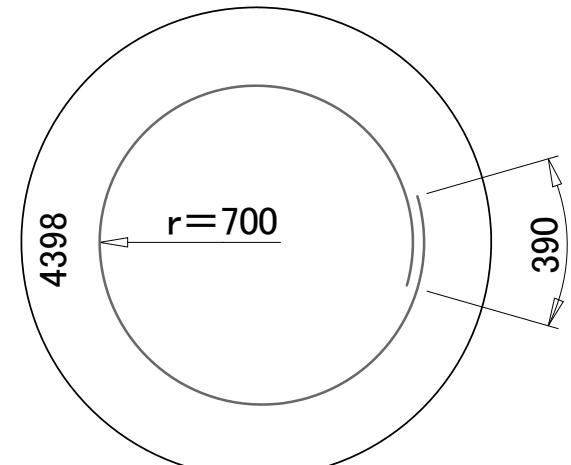
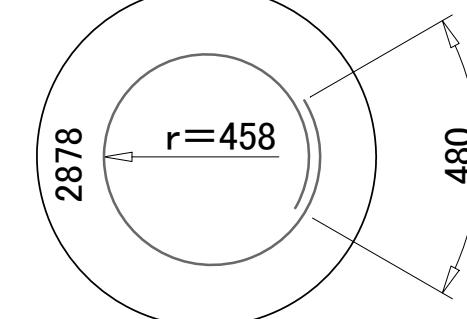
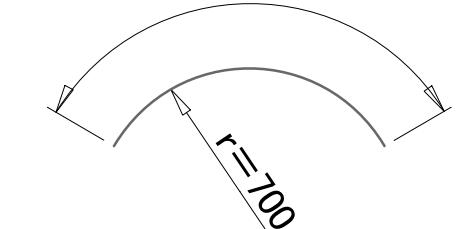
横断面図



特 記 事 項	<p>足掛け金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛け金物は設けない。 h_3(インバート高さ)は下流管管径の1/2とする。 ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。</p>	<h2>第2種人孔構造図(1)</h2>
------------------	--	----------------------

参考図2-3

平面図

① D16-18 $\ell=1342\sim1800$ ② D16-14 $\ell=1450+(h_1-50)$ ③-1 D16-4 $\ell=700$ (平均)③-2 D16-4 $\ell=590$ (平均)⑤ D13@300 $\ell=4790$ ⑦ D16-2 $\ell=3360$ ⑥ D13-6 $\ell=1292\sim1652$
 $\ell=1460$ (平均)⑧ D16-4
⑨ D16-4

材 料 表

位 置	コンクリート		型 枠	上塗モルタル	鉄 筋		クラッシャン
	24-8 m ³	18-8 m ³			D13 kg	D16 kg	
底 版	1箇所当り	0.71	—	1.49	—	—	41.0
インバート		—	0.24	1.24	1.58	—	0.69
h1	1.0m当り	0.88	—	8.80	—	15.7	32.6
h2		0.50	—	6.08	—	8.7	65.3
均しコンクリート	—	0.17	0.33	—	—	—	—

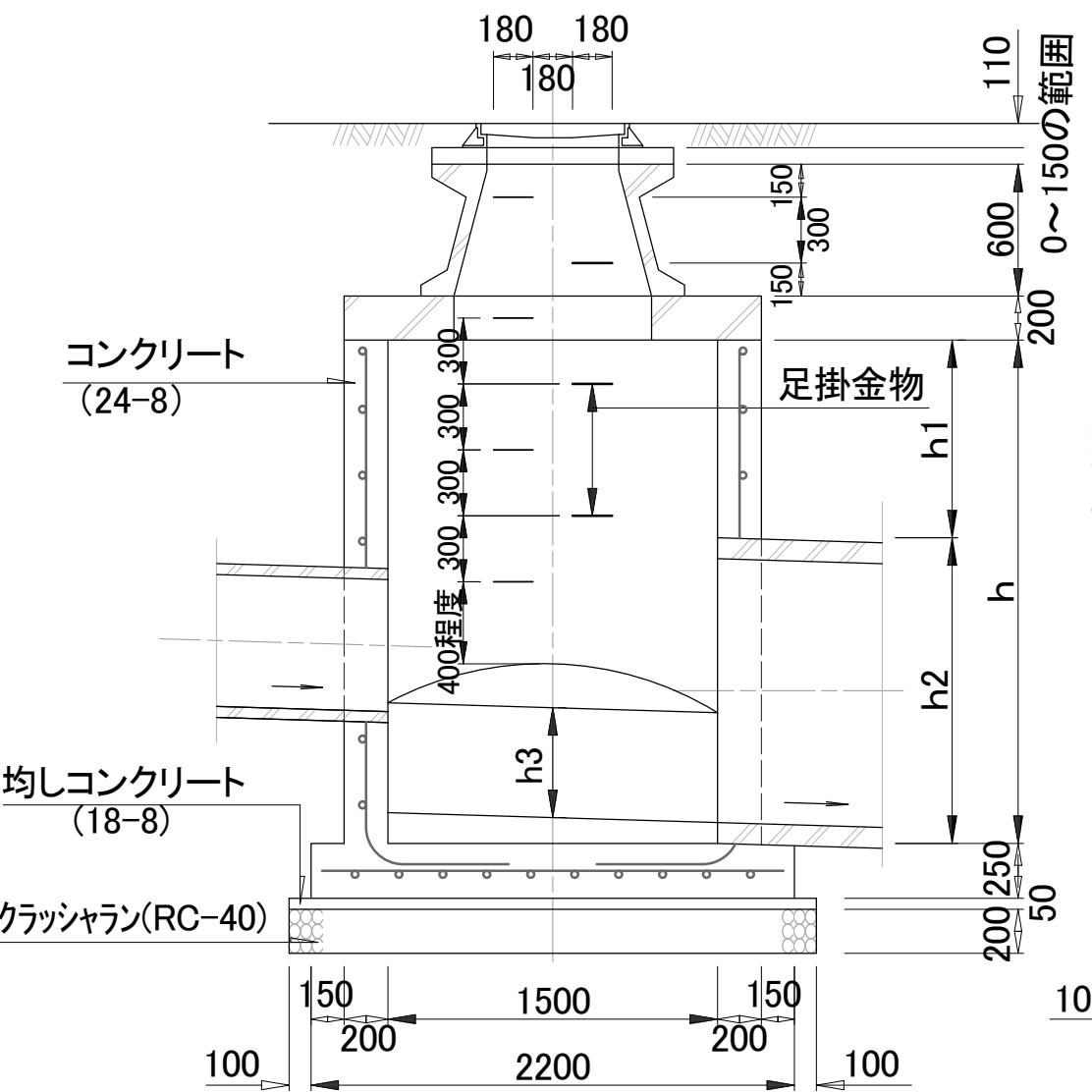
※上部調整高で使用する無収縮モルタル1m³当たりの使用量は、1,875kgとする。

特 記 事 項

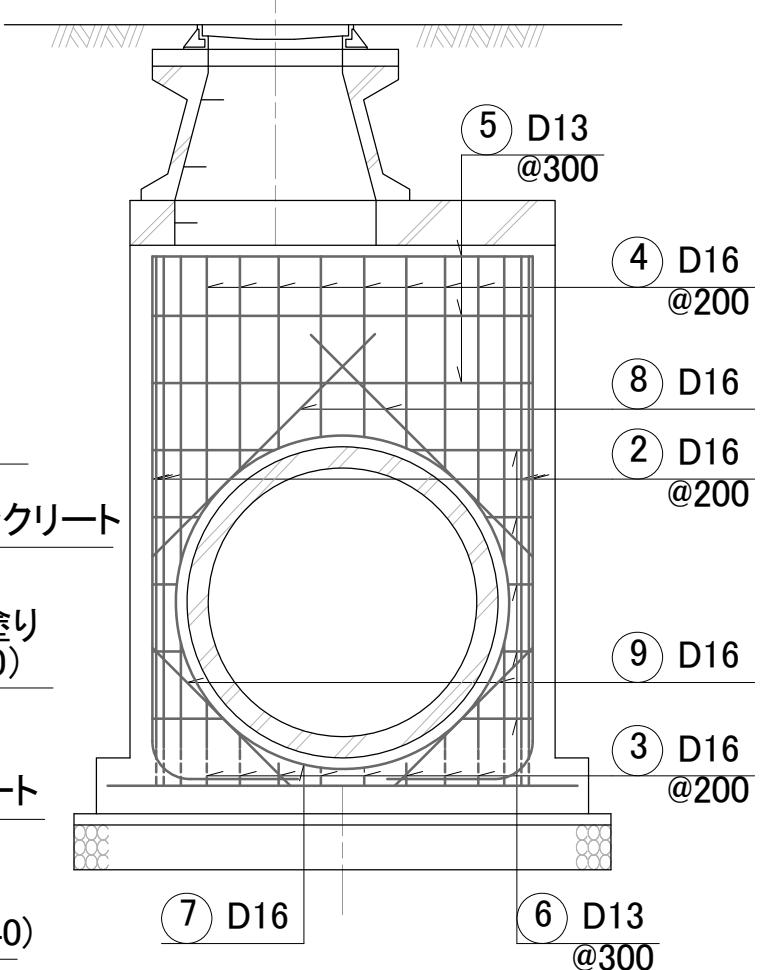
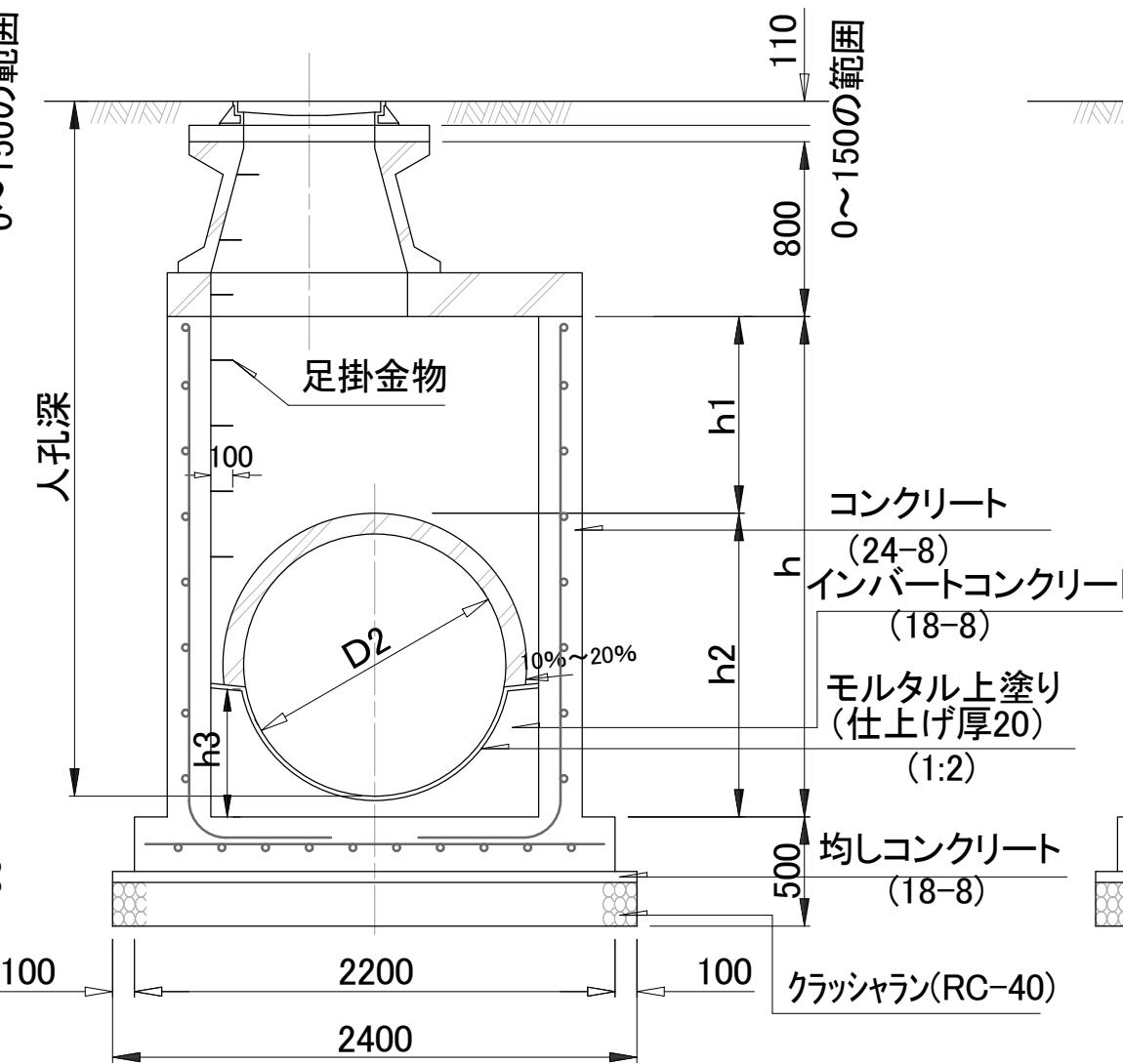
- 材料表は、φ 700mmの場合とする。
- コンクリート量は管の部分を控除した量とする。
- 底版の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
- 無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
- ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第2種人孔構造図(2)

縦断面図

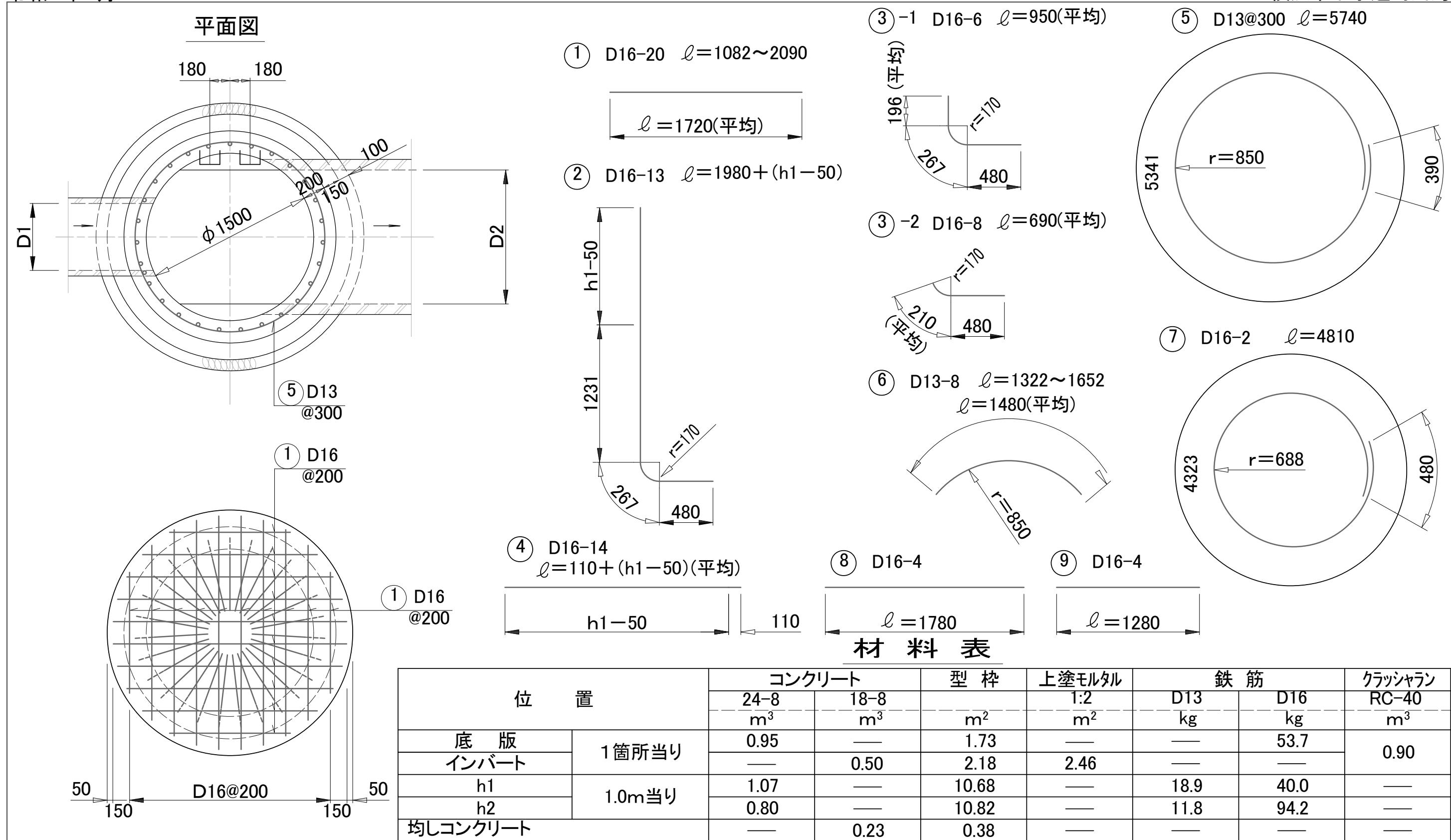


横断面図



特 記 事 項	<p>足掛け金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛け金物は設けなくてよい。 h_3(インバート高さ)は下流管管径の1/2かつ500mm以内とする。 ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。</p>
	第3種人孔構造図(1)

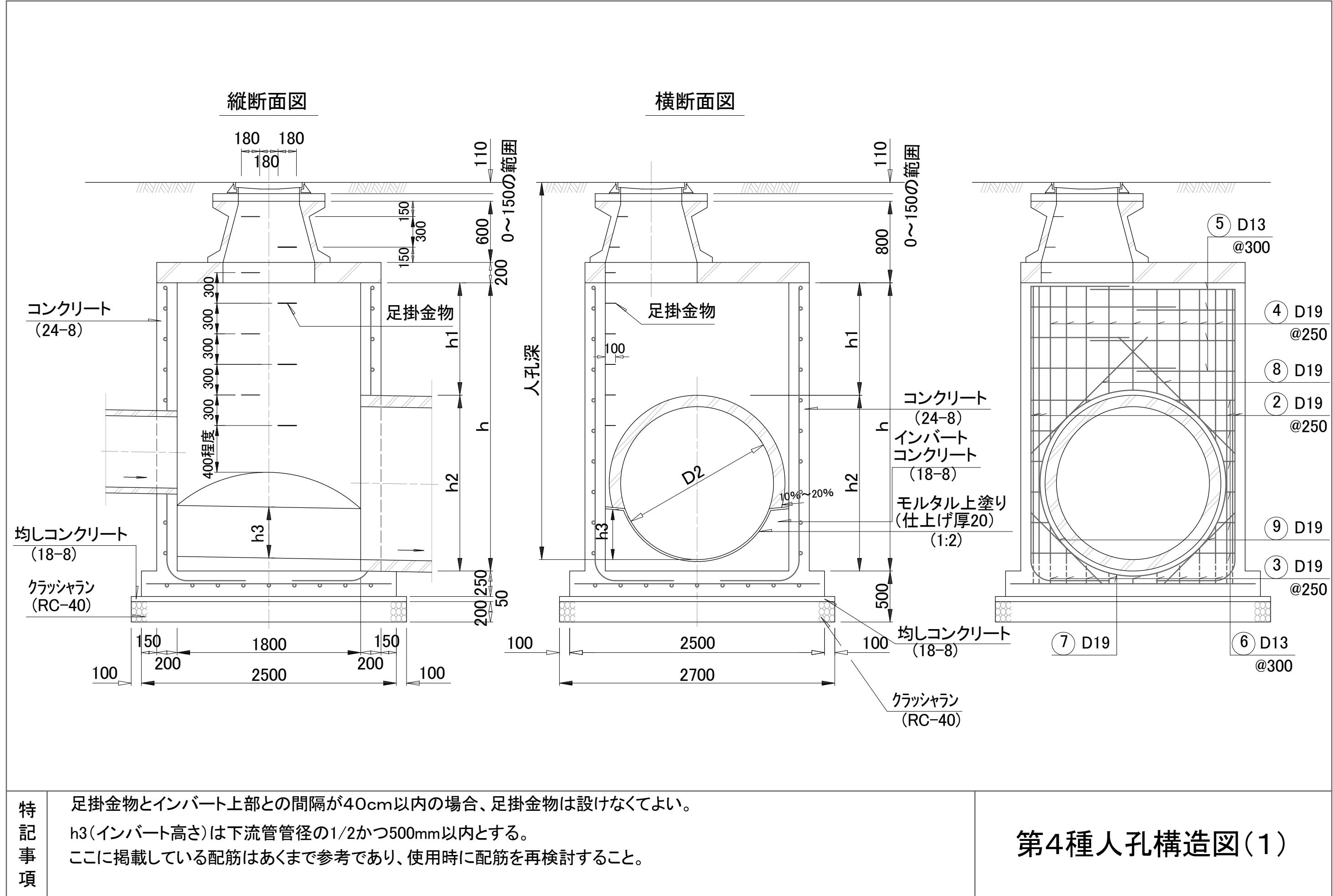
参考図2-5

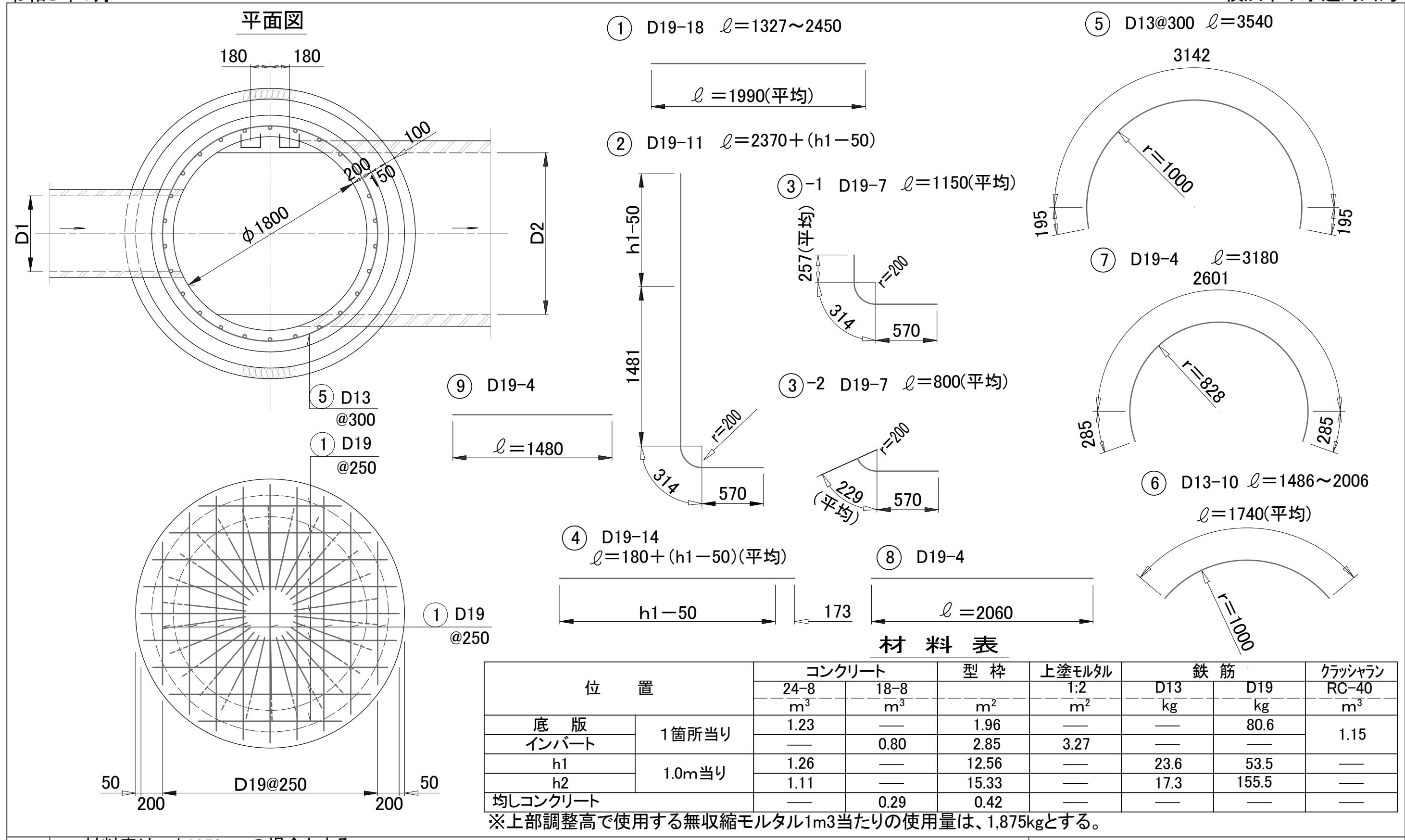


※上部調整高で使用する無収縮モルタル1m³当たりの使用量は、1,875kgとする。

特記事項	・材料表は、 $\phi 1100\text{mm}$ の場合とする。
	・コンクリート量は管の部分を控除した量とする。
	・底版の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
	・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
	・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第3種人孔構造図(2)

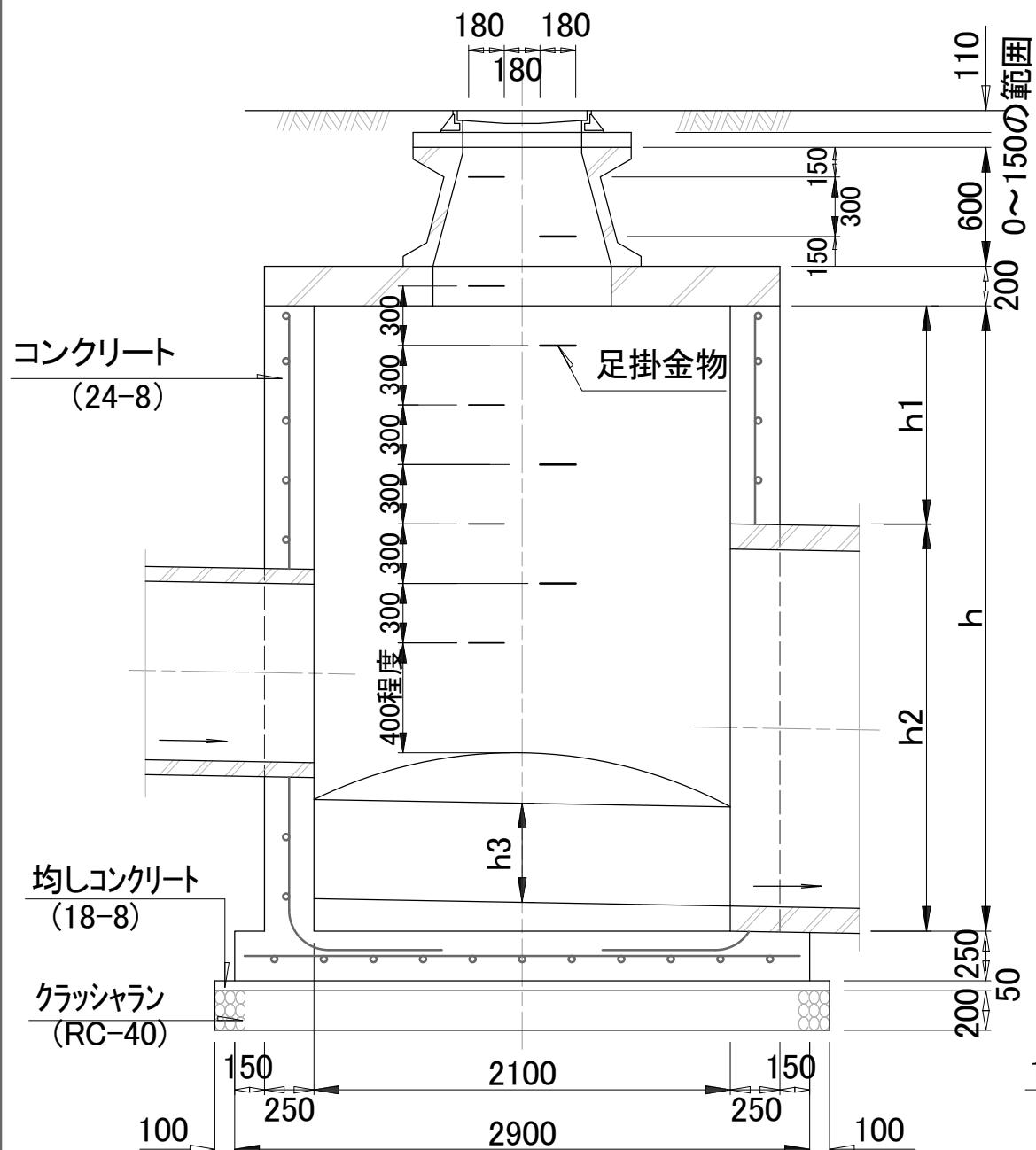




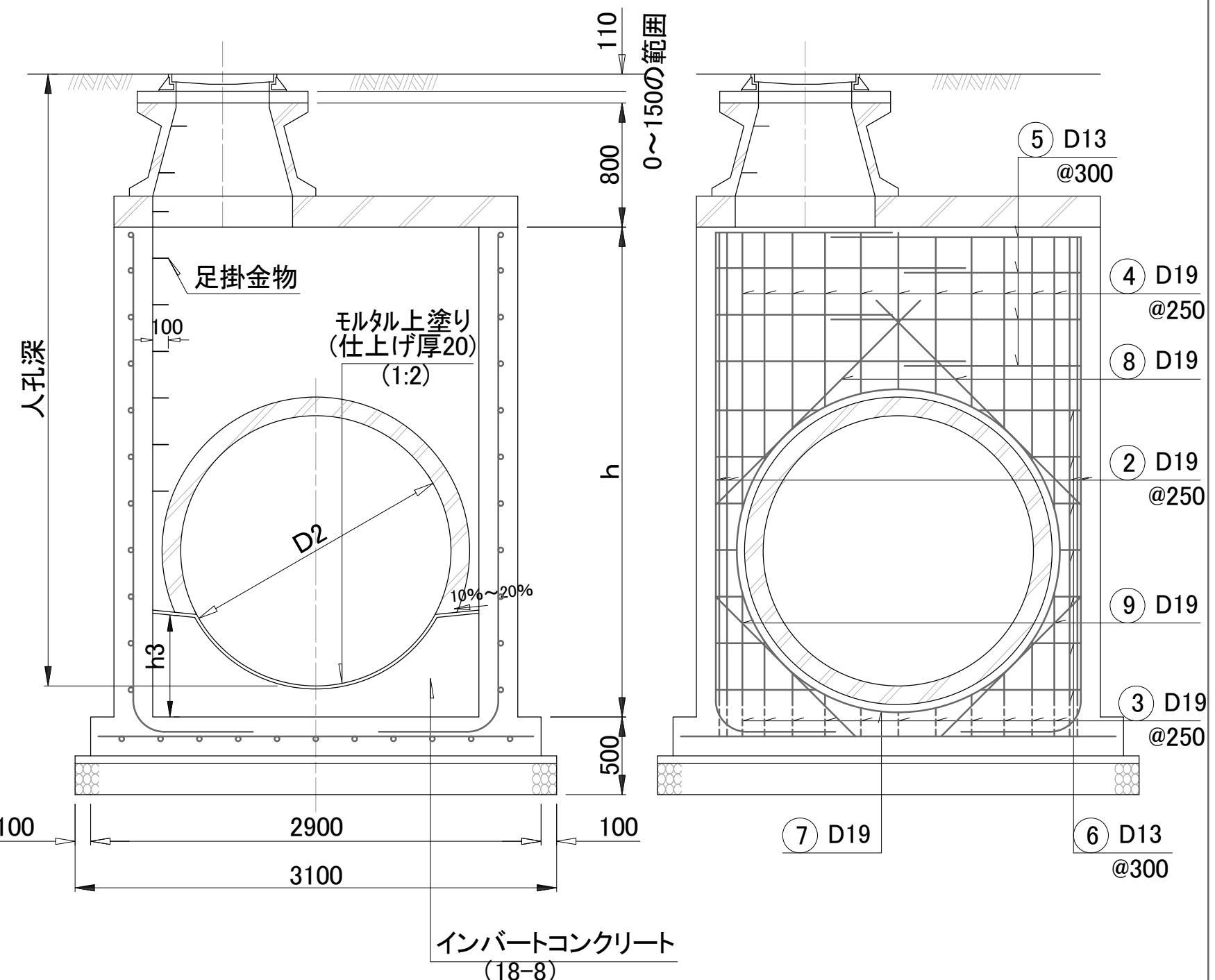
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 材料表は、Φ1350mmの場合とする。 コンクリート量は管の部分を控除した量とする。 底版の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。 無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。 ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。
------	--

第4種人孔構造図(2)

縦断面図



横断面図

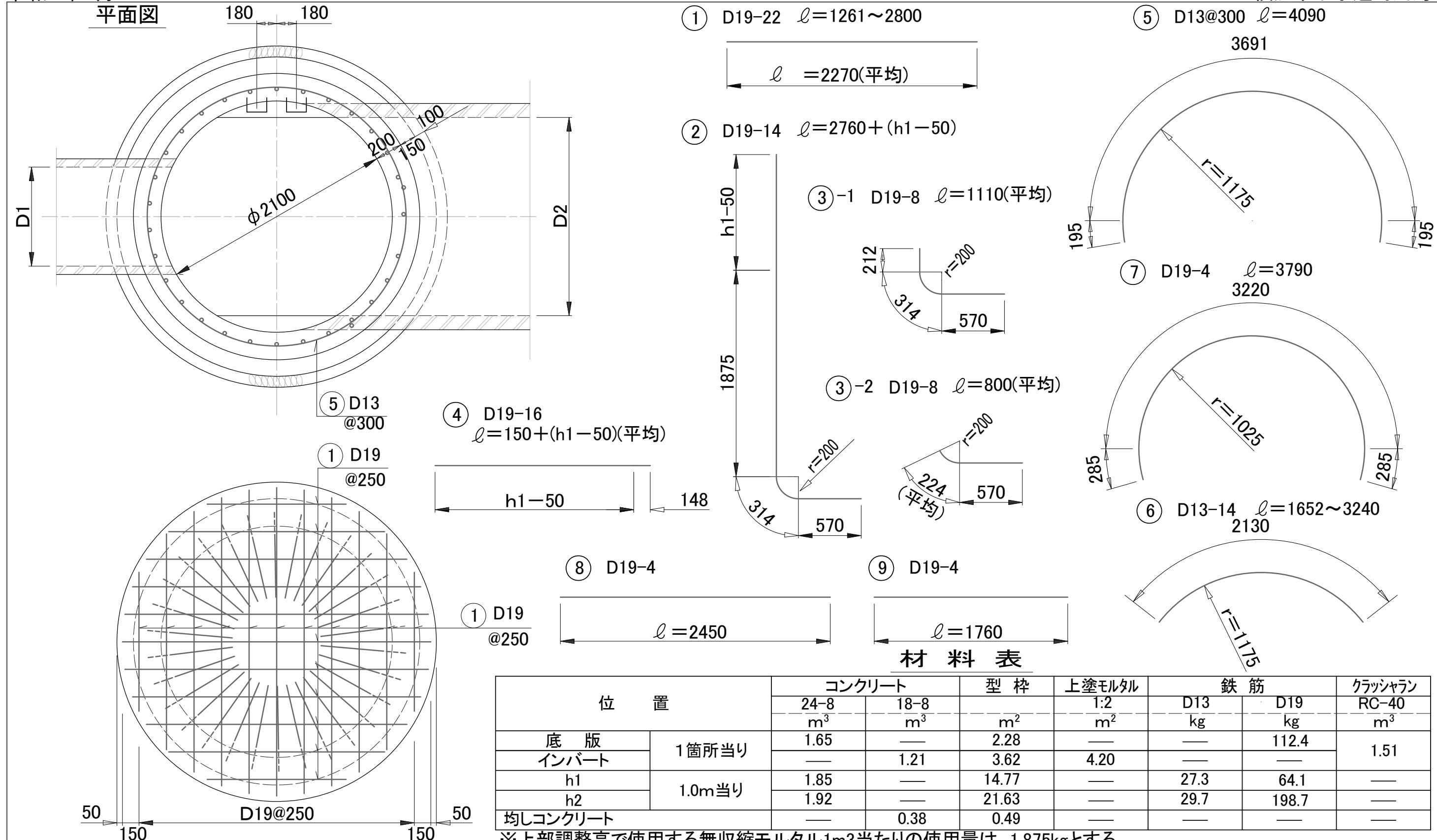
特
記
事
項

足掛け金物とインバート上部との間隔が40cm以内の場合、足掛け金物は設けなくてよい。
h3(インバート高さ)は下流管管径の1/2かつ500mm以内とする。
ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第5種人孔構造図(1)

令和8年1月

横浜市下水道河川局

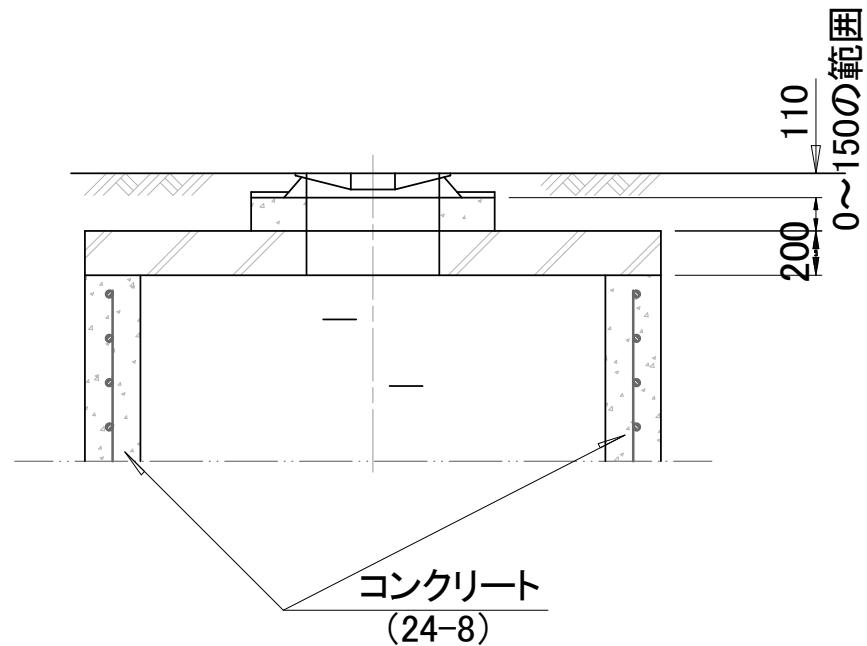


特記事項

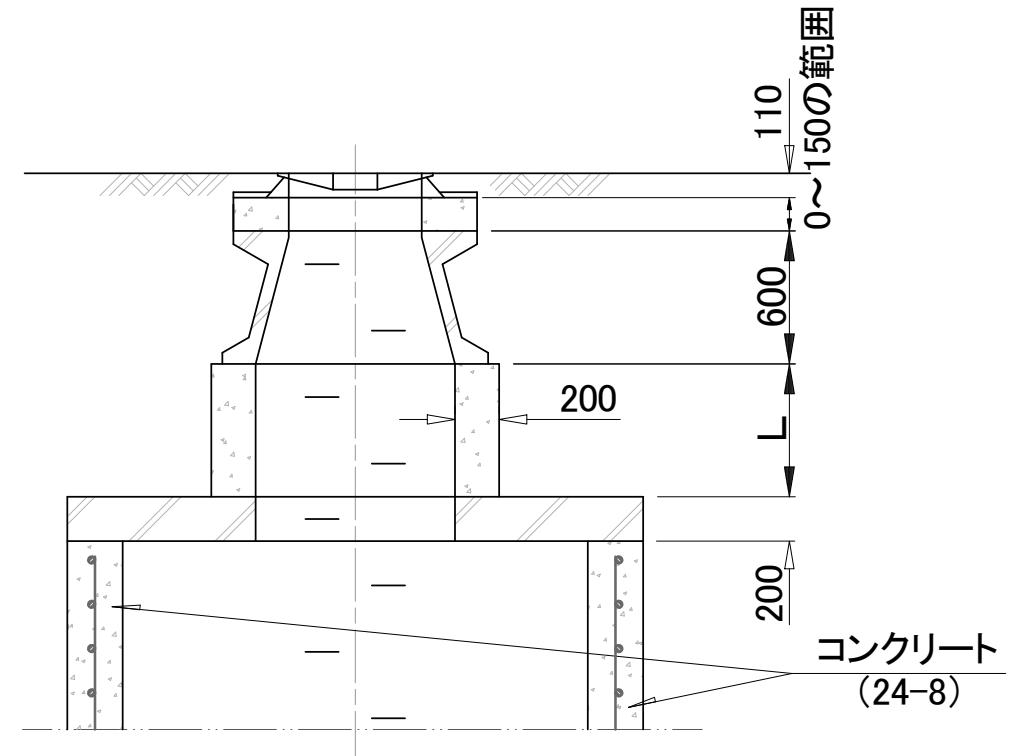
- ・材料表は、φ1650mmの場合とする。
- ・コンクリート量は管の部分を控除した量とする。
- ・底版の鉄筋量は①のみとし、それ以外はh1、h2とする。
- ・無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。
- ・ここに掲載している配筋はあくまで参考であり、使用時に配筋を再検討すること。

第5種人孔構造図(2)

第1種B型～第5種B型人孔



第2種C型～第5種C型人孔

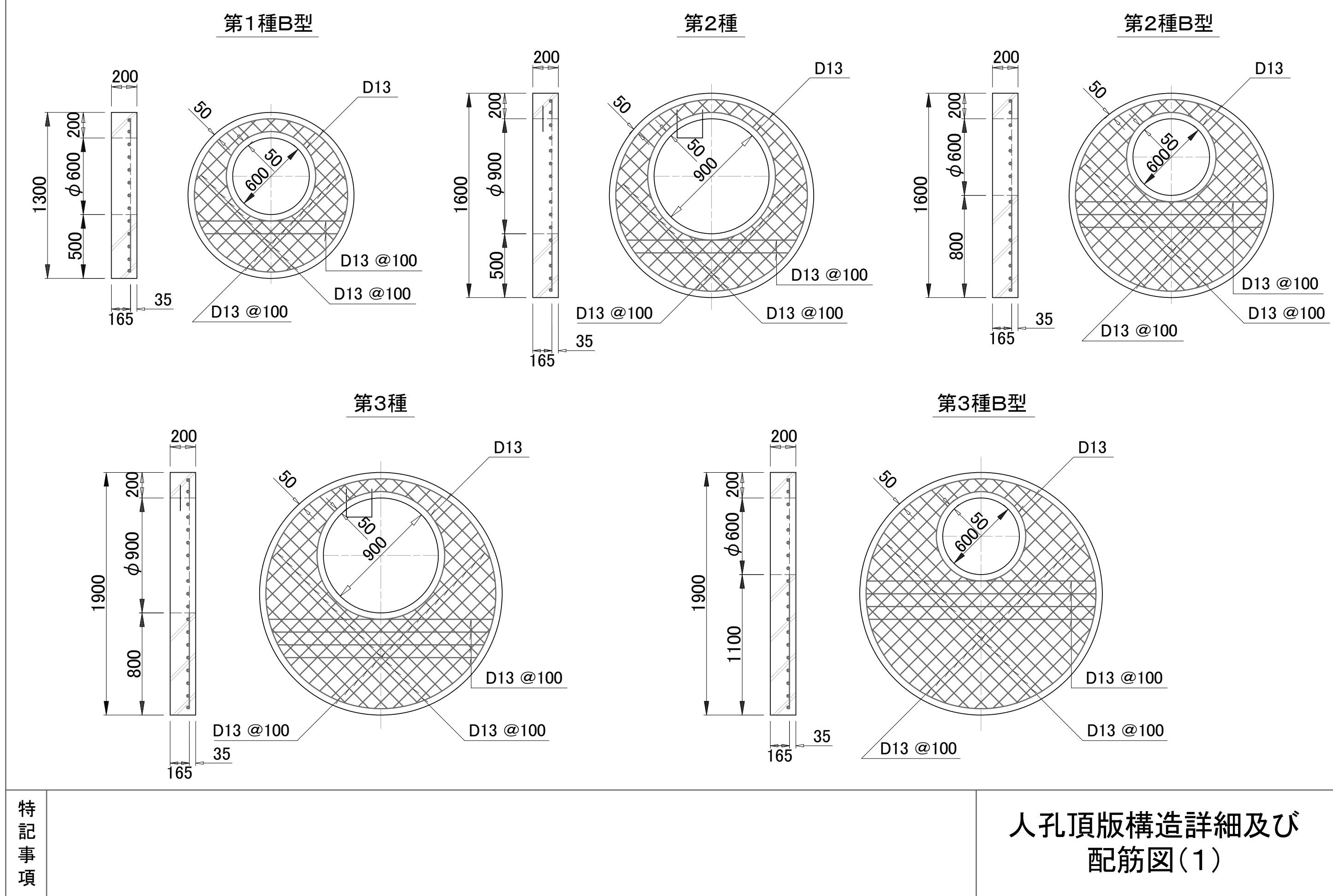


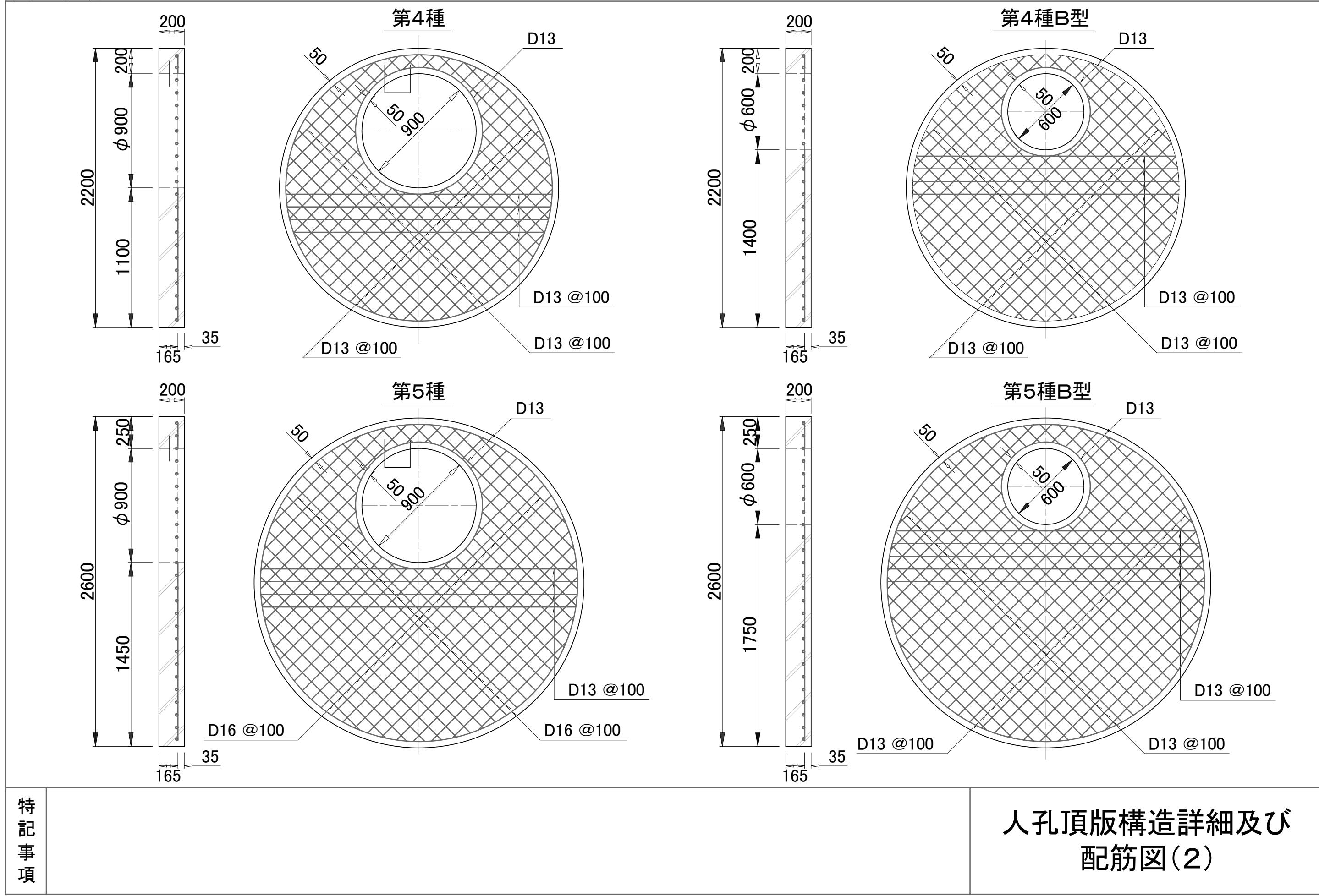
材 料 表 (L部1.0m当り)

材 料 種 類	材 料	コンクリート	型 枠
	18-8 (m ³ /m)	(m ² /m)	
第2種C型～第5種C型人孔	0.69	6.91	

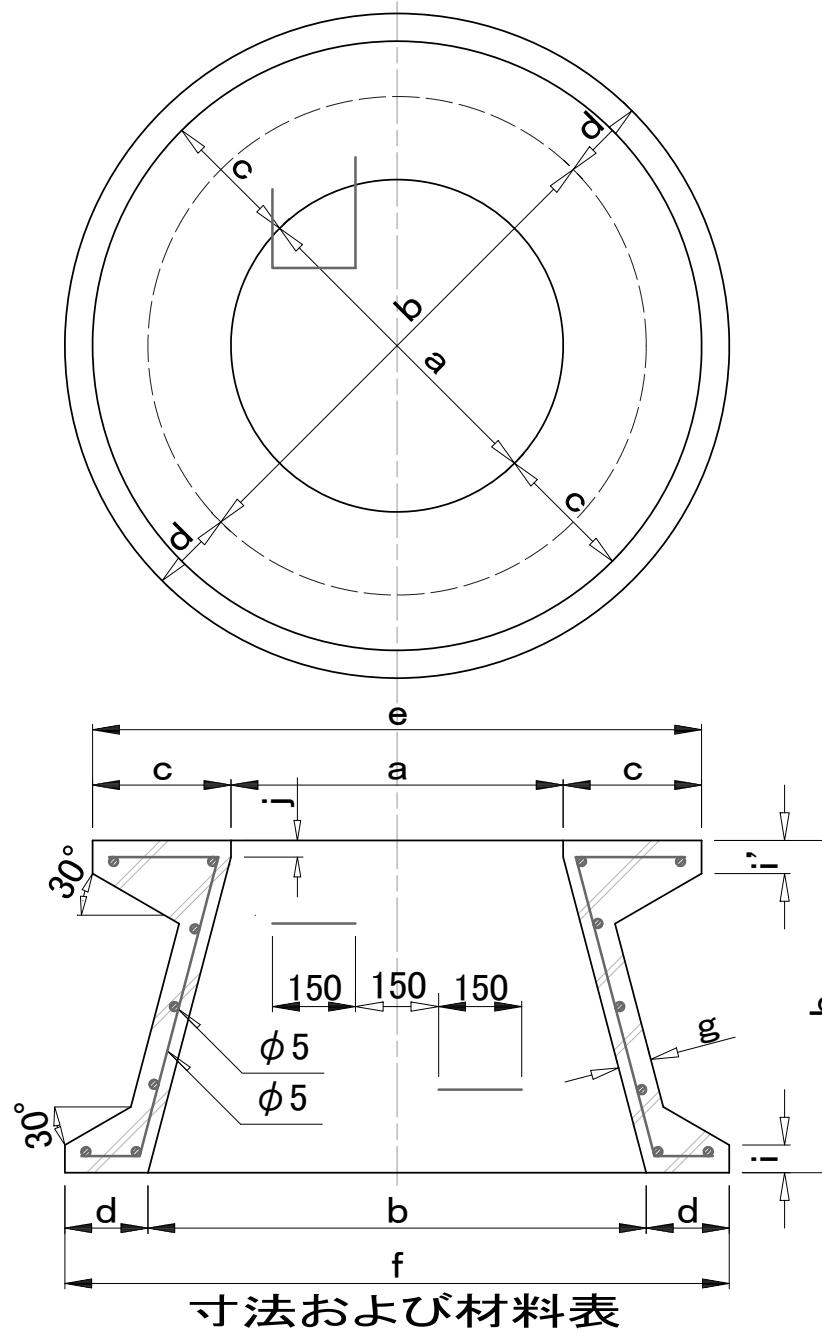
特
記
事
項

B型・C型人孔構造図





参考図2-13

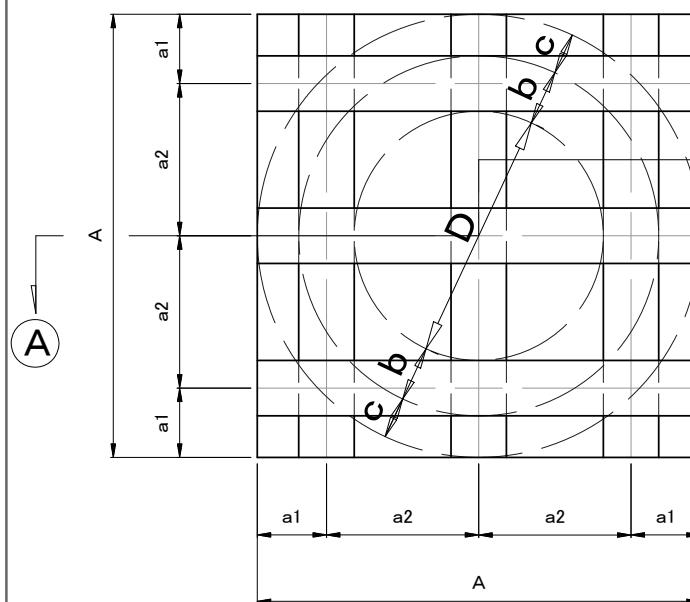


種別	寸法 (mm)												配筋			
	a	b	c	d	e	f	g	h	i	i'	j	らせん鉄筋	縦鉄筋			
												径(mm)	巻数	径(mm)	数	
600A	600	900	250	150	1100	1200	60	300	50	60	30	5.0	6	5.0	20	
600B	600	900	250	150	1100	1200	60	450	50	60	30	5.0	7	5.0	20	
600C	600	900	250	150	1100	1200	60	600	50	60	30	5.0	9	5.0	20	

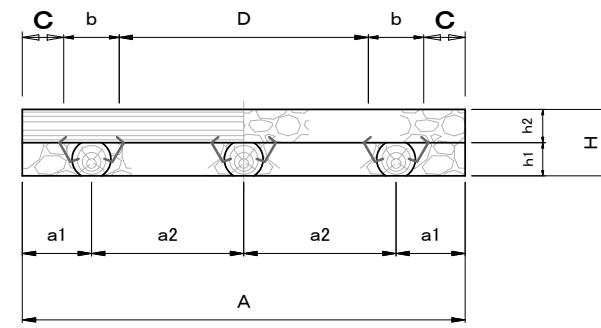
特記事項

人孔側塊構造図
(JIS A 5372)

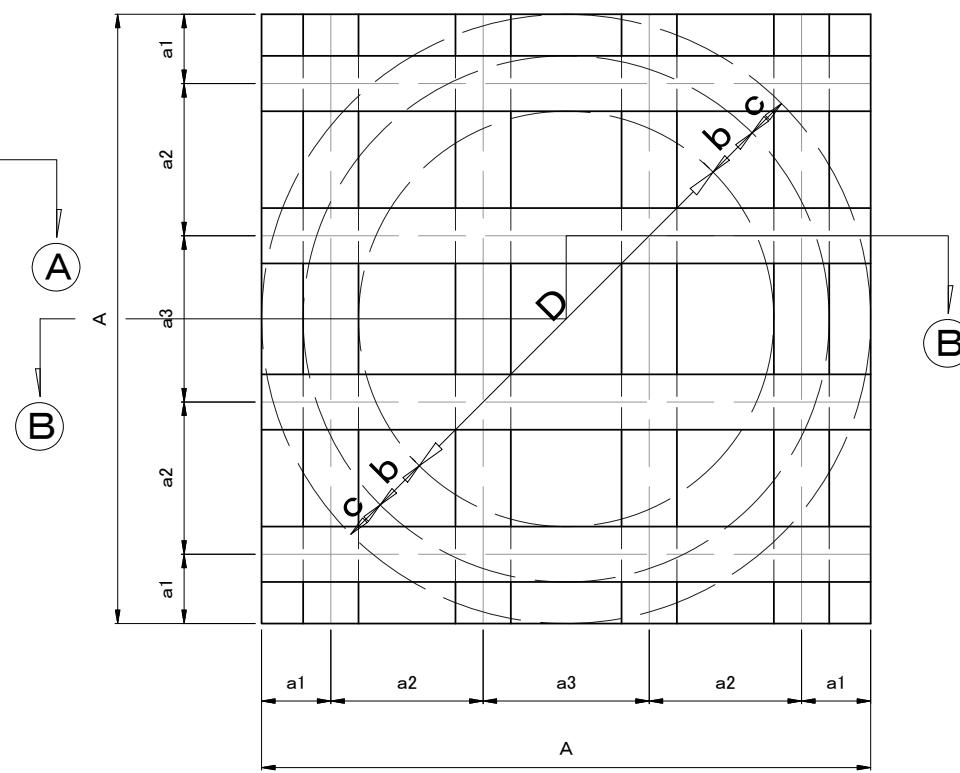
第1種、第2種人孔



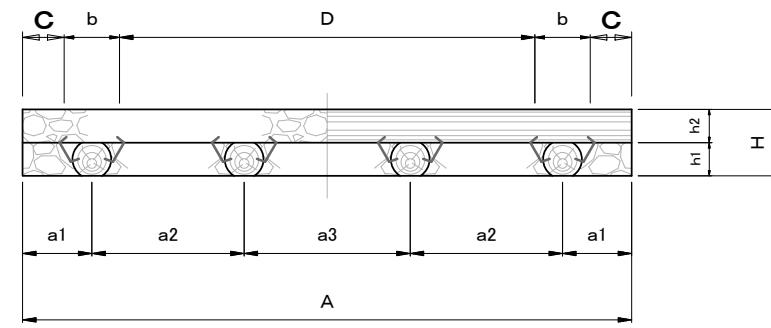
(A)-(A)断面



第3種～第5種人孔



(B)-(B)断面



寸法表

(単位:mm)

種別	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種
D	900	1200	1500	1800	2100
b	200	200	200	200	250
c	150	150	150	150	150
A	1600	1900	2200	2500	2900
a1	250	250	250	250	250
a2	550	700	550	660	800
a3	---	---	600	680	800
H	240	240	240	240	240
h1	120	120	120	120	120
h2	120	120	120	120	120

材 料 表

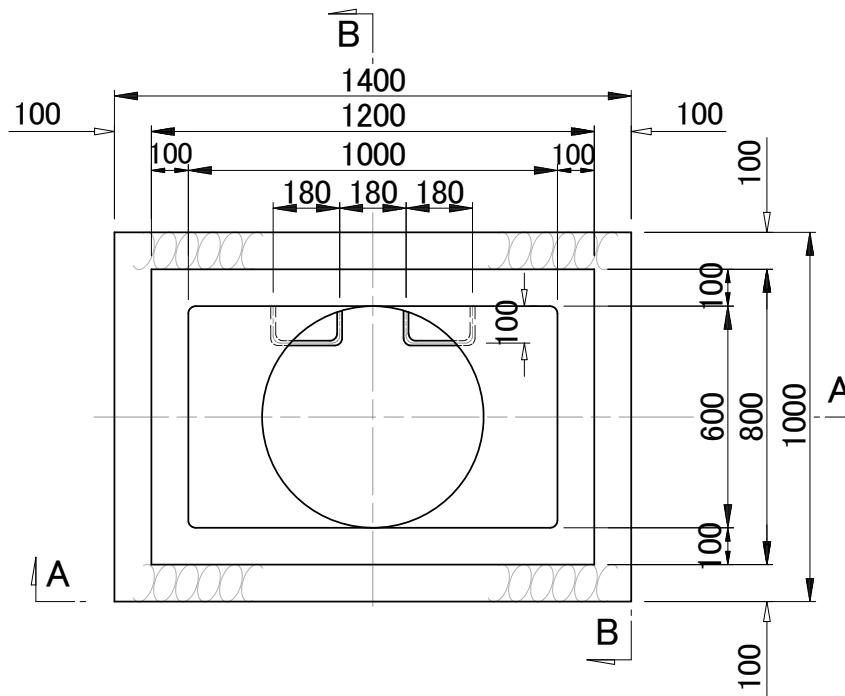
種別	第1種	第2種	第3種	第4種	第5種
井桁 (m ³)	0.31	0.37	0.57	0.65	0.75
かすがい Φ12,L=180 (個)	18	18	32	32	32
クラッシュラン (RC-40) (m ³)	0.30	0.50	0.59	0.85	1.27

特記事項

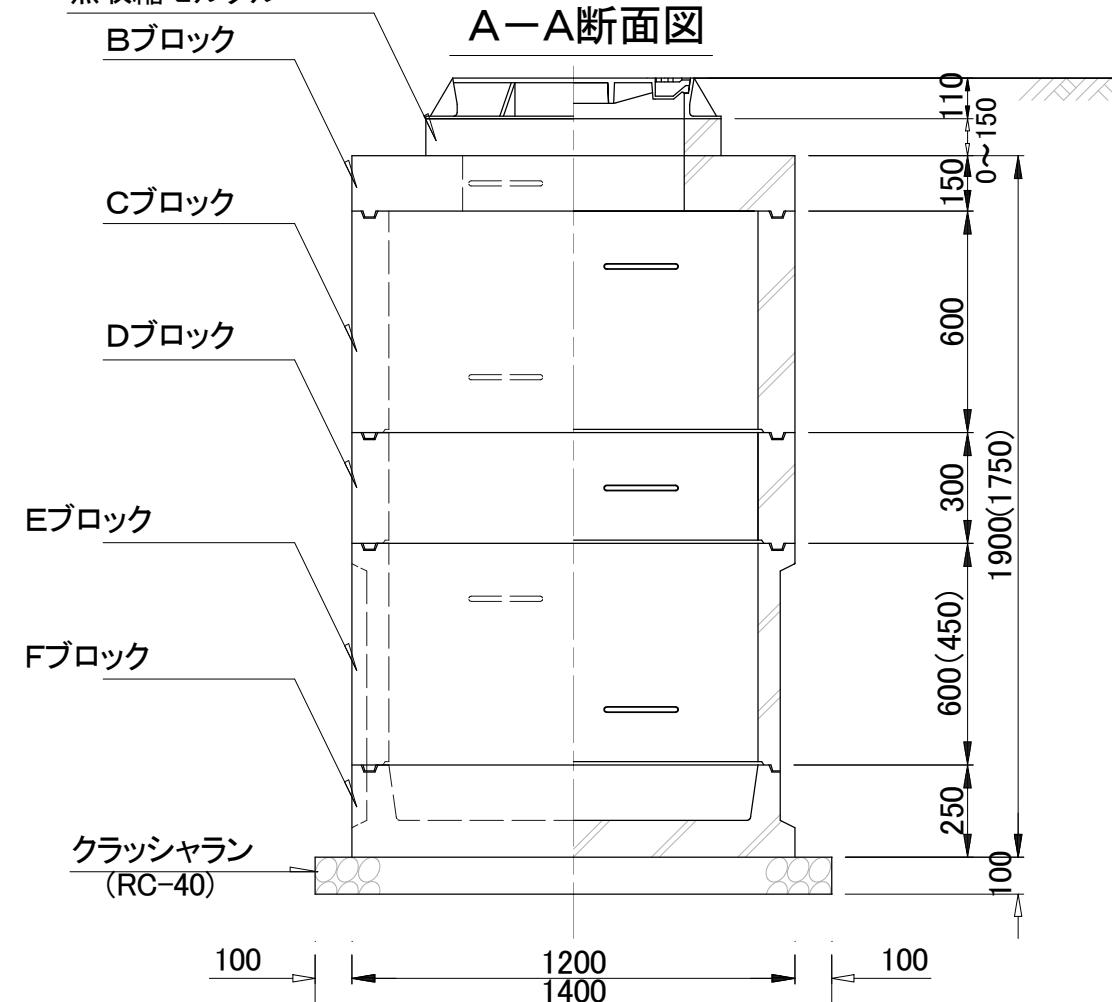
組立人孔については別途考慮すること。
はしご胴木基礎の延長として使用する。

人孔井桁基礎構造図

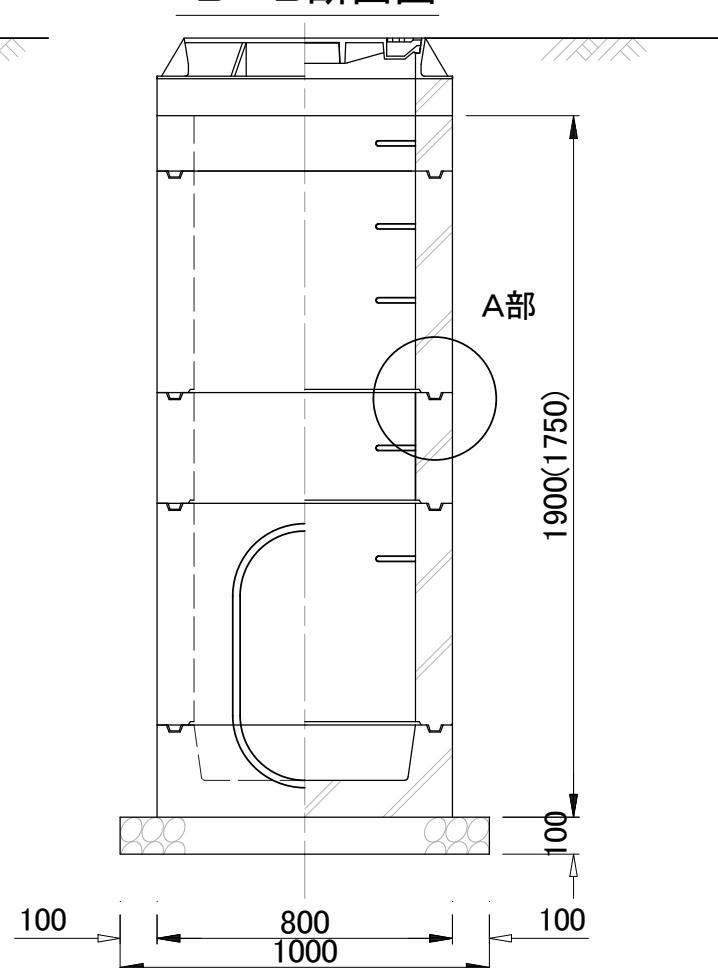
平面図



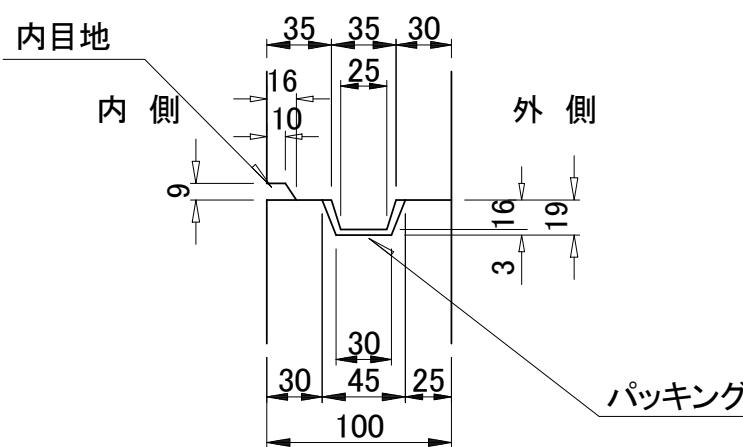
無収縮モルタル



B-B断面図



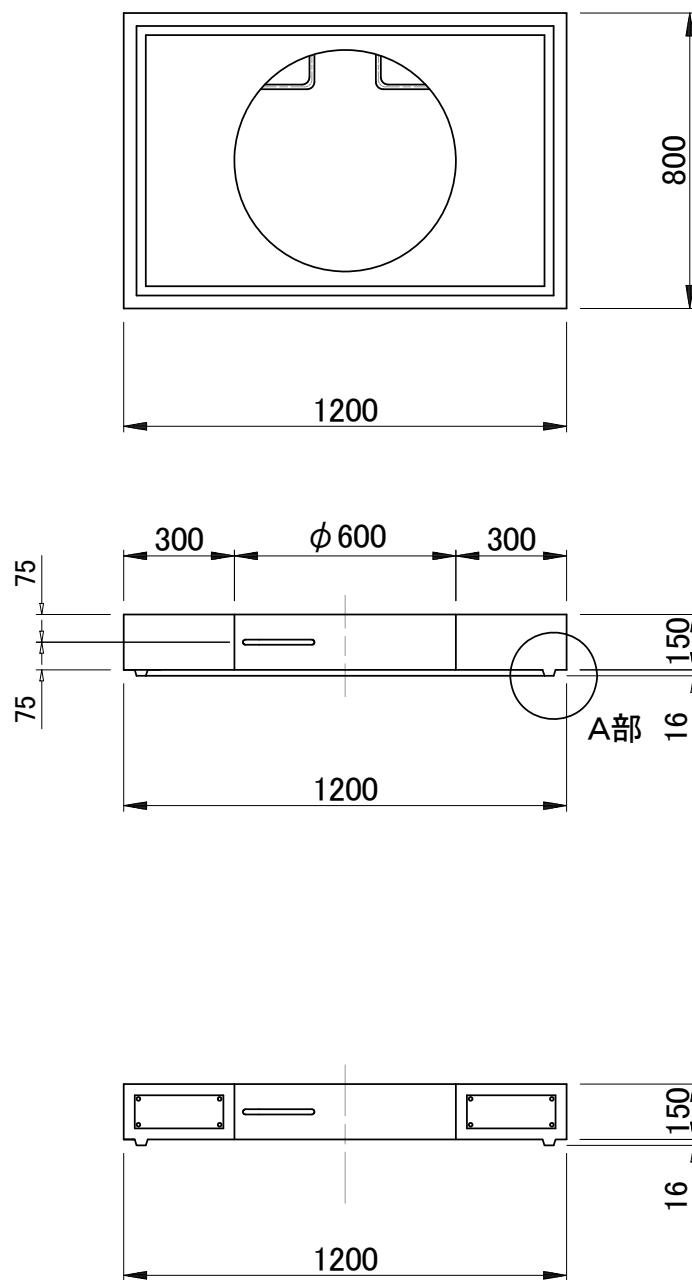
A部ジョイント詳細図

特
記
事
項

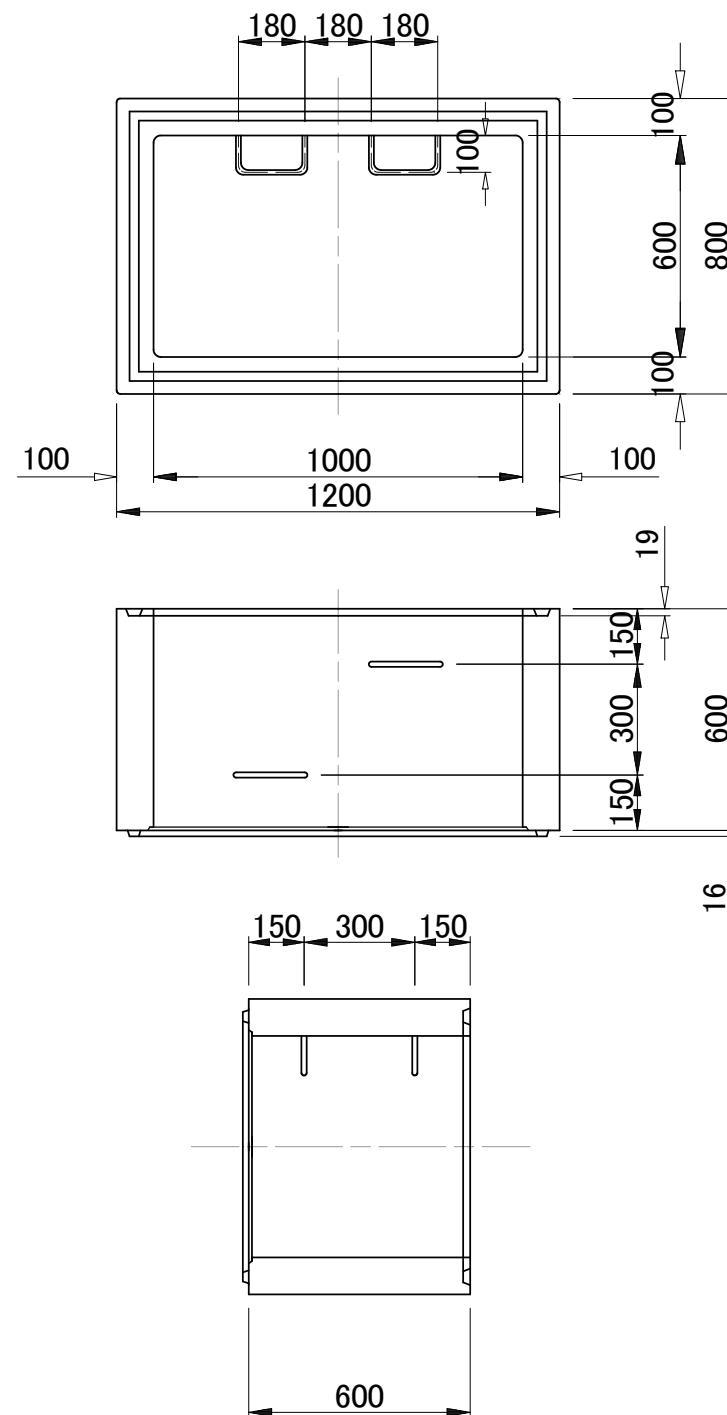
無収縮モルタルは、高流動性で、流し込み工法により、枠と斜壁間にすき間なくモルタルが充てんでき、モルタル硬化後もすき間が発生しないものとする。また、超早強性で蓋据付後短時間での道路復旧が可能であるものとする。

角型組立人孔構造図
(1000mm × 600mm)(1)

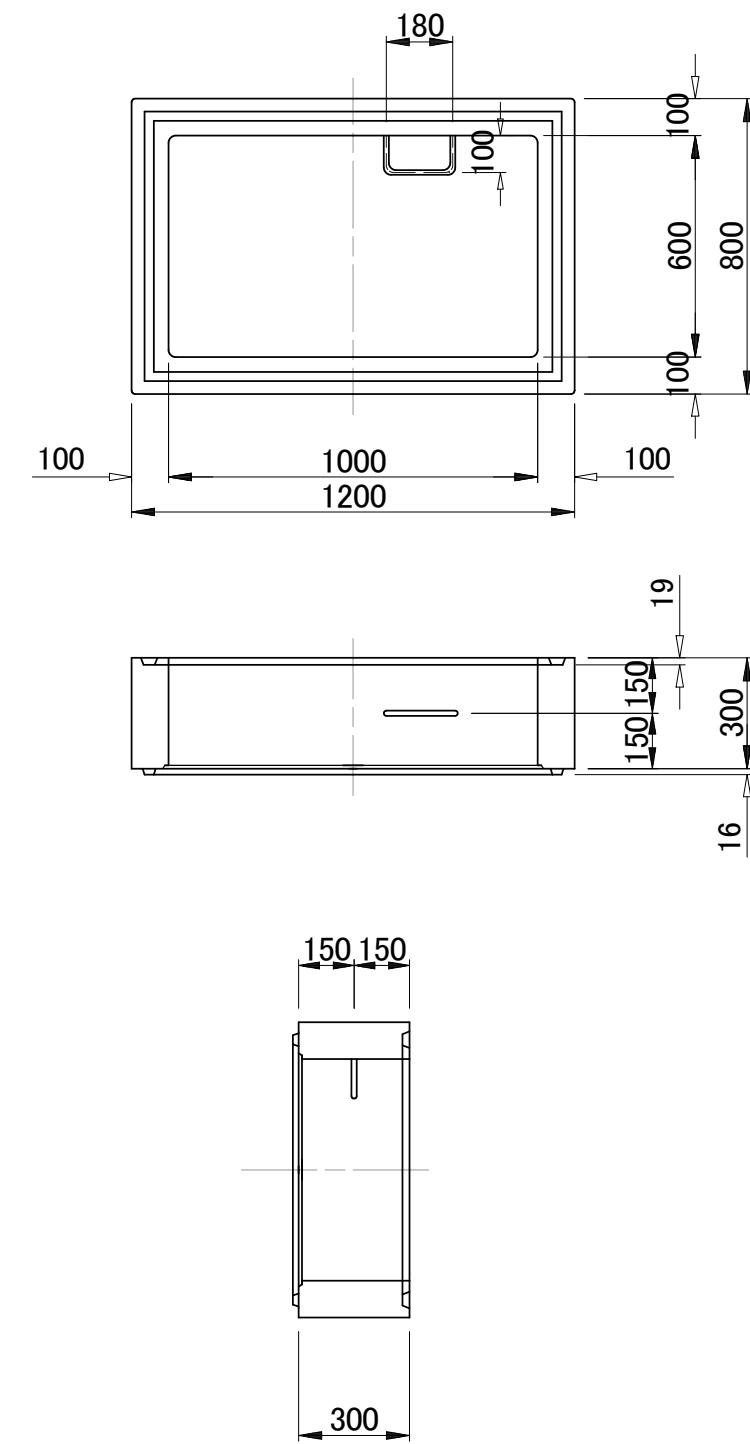
Bブロック構造図



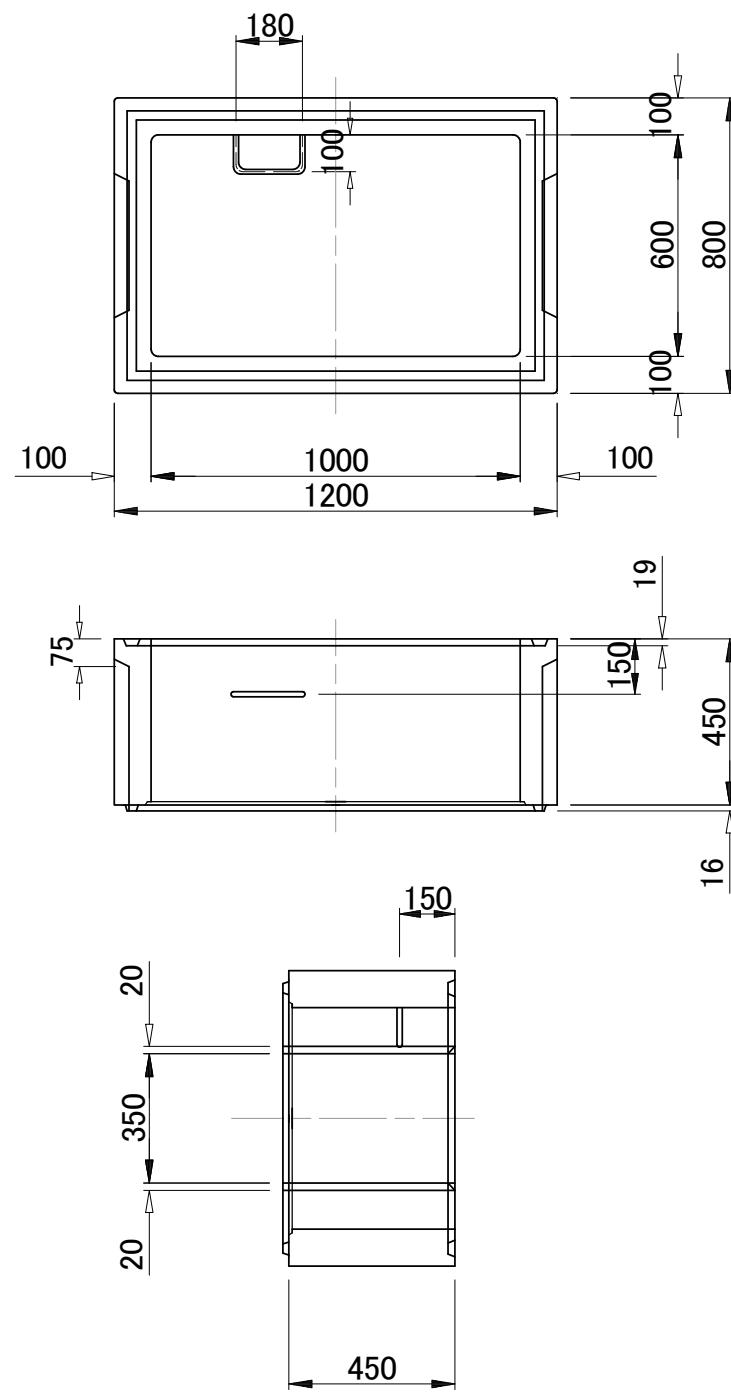
Cブロック構造図



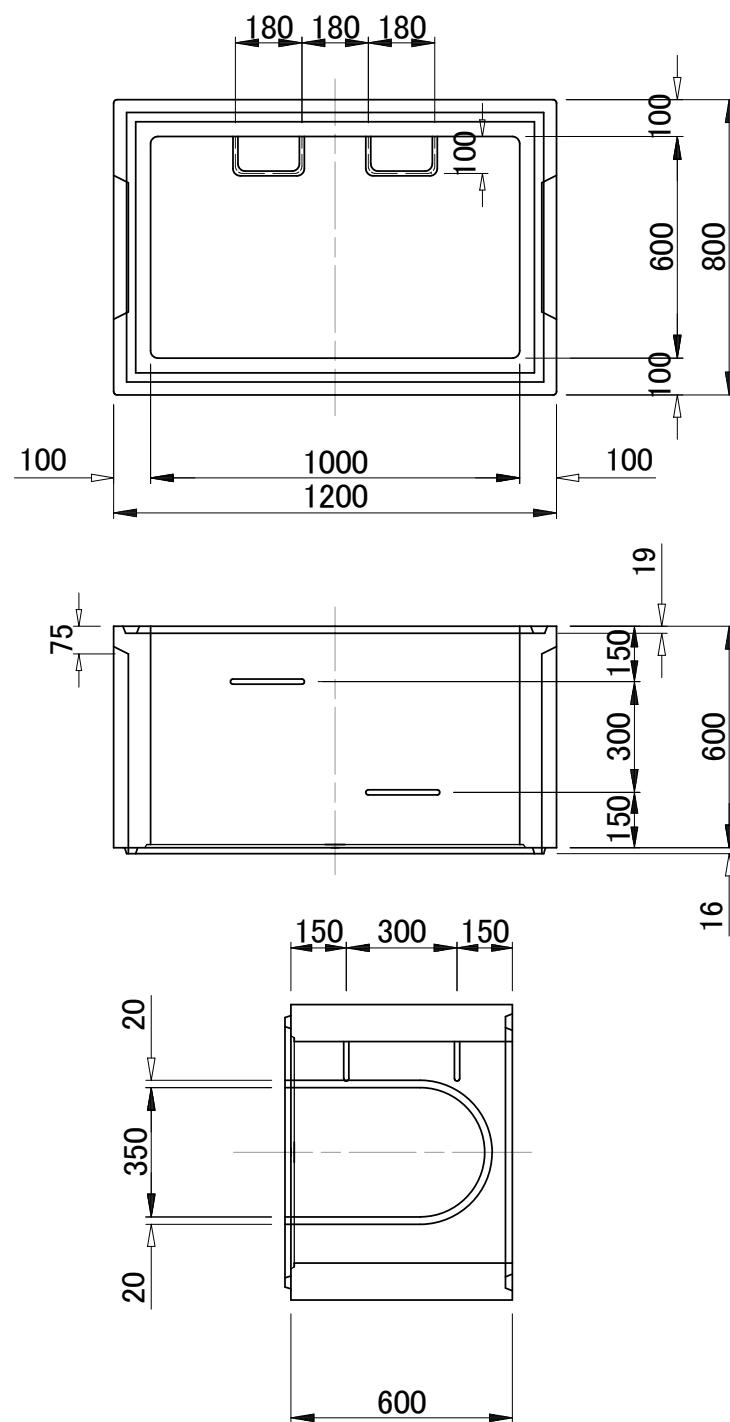
Dブロック構造図

特
記
事
項角型組立人孔構造図
(1000mm × 600mm) (2)

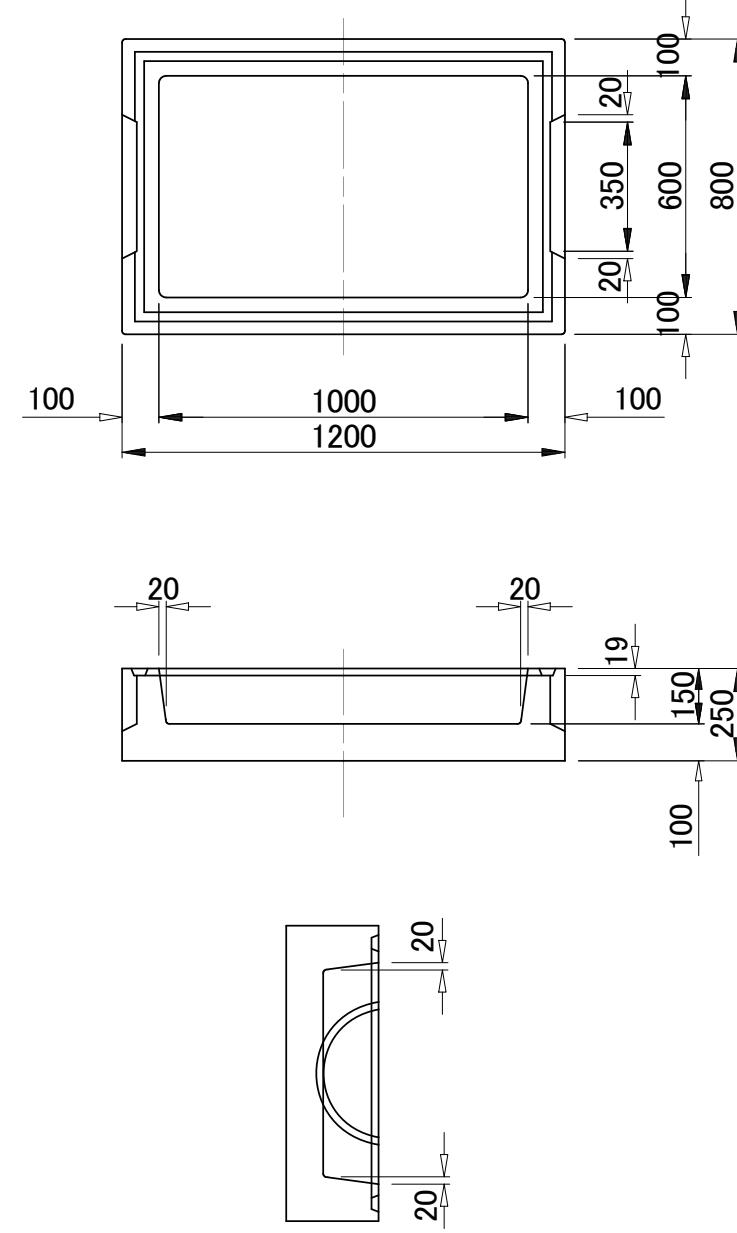
Eブロック構造図 H=450

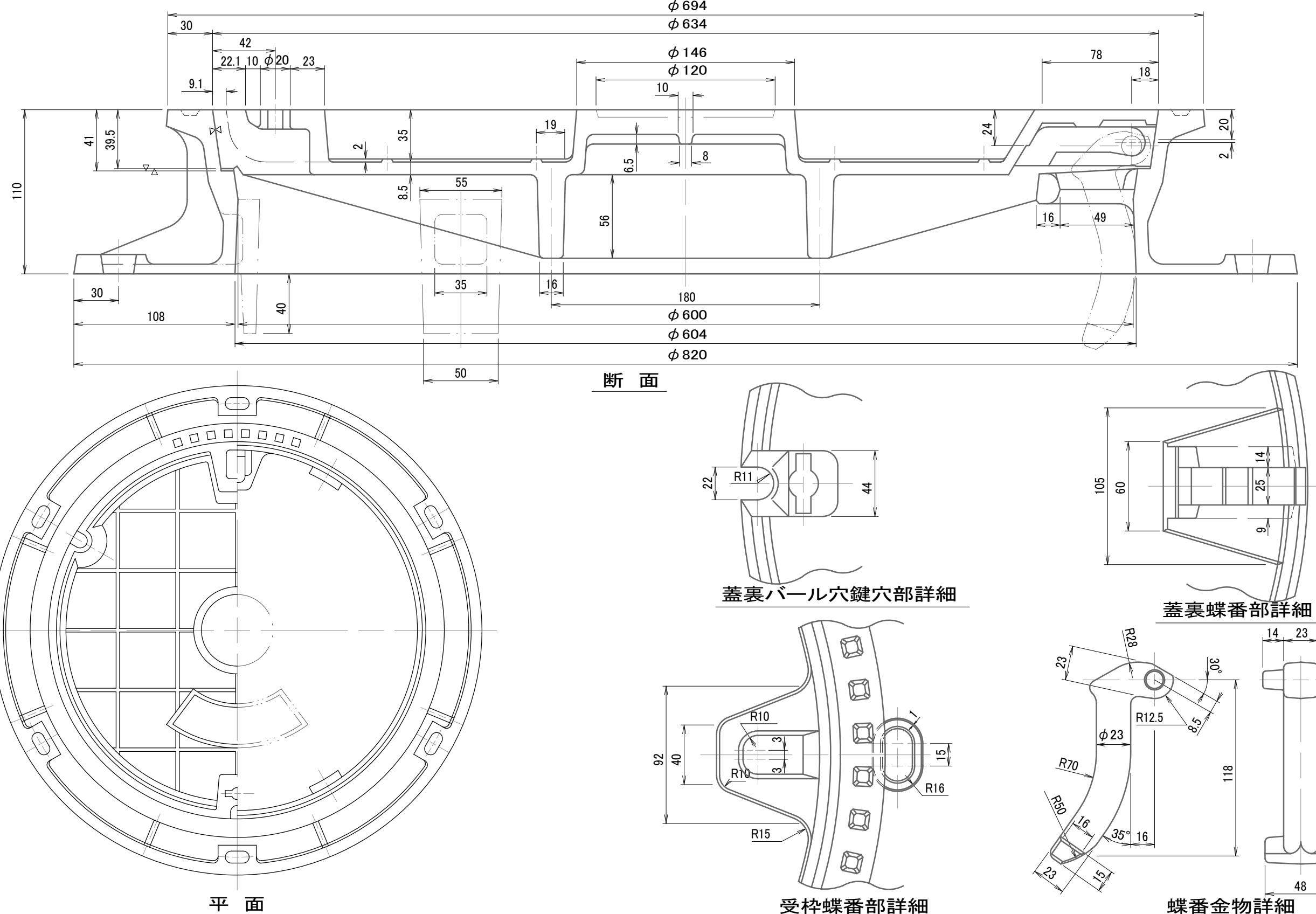


Eブロック構造図 H=600



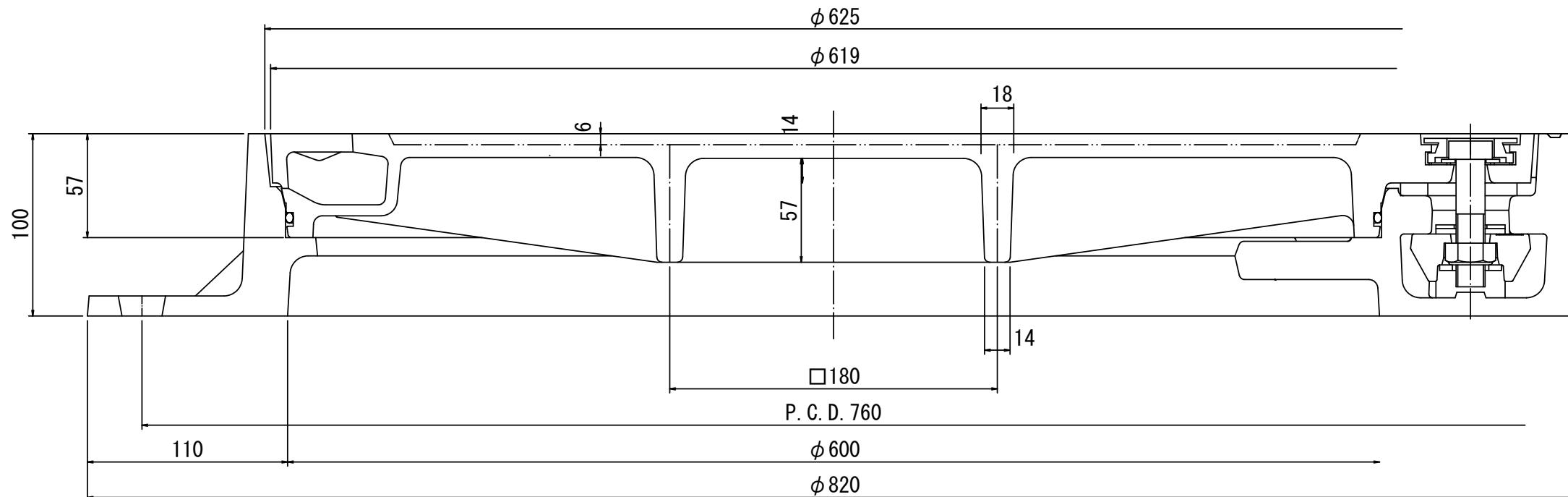
Fブロック構造図



特
記
事
項

材質	蓋FCD700 受枠FCD600
載荷重	T-14 i=0.4

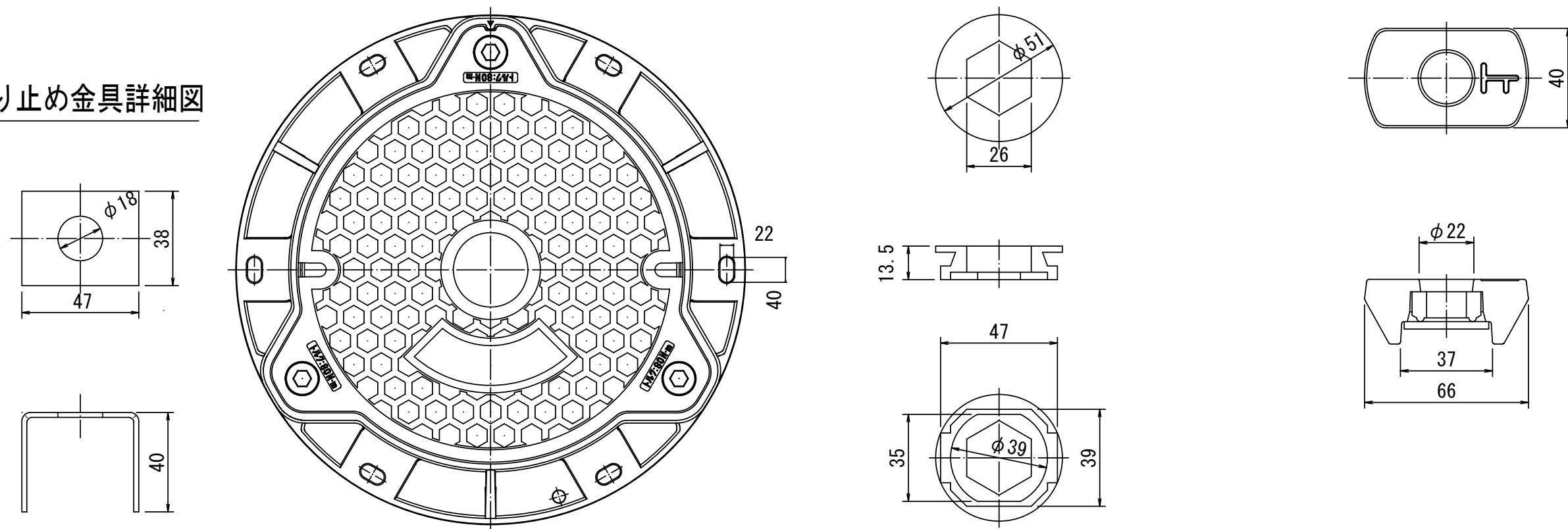
人孔ダクトイル蓋構造図
(φ600mm)カラ一化粧用



ゴムキャップ詳細図

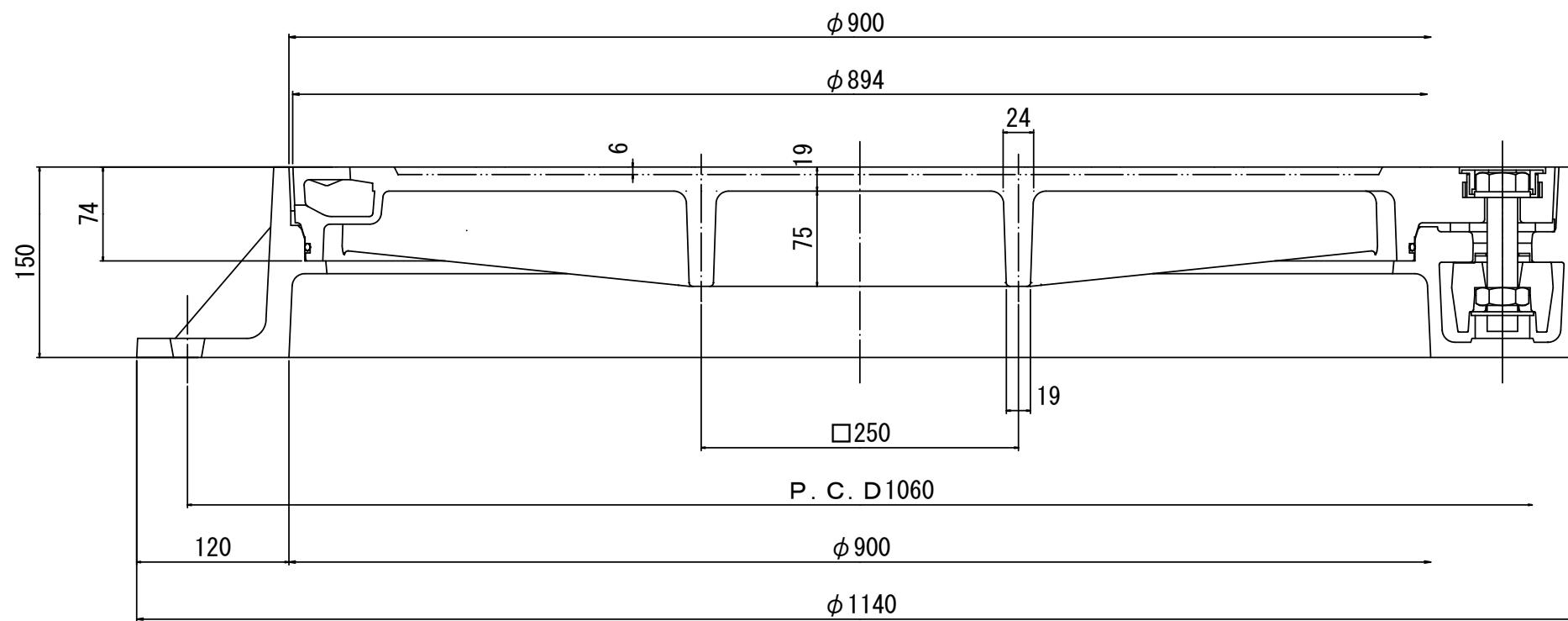
浮上り防止金具詳細図

回り止め金具詳細図

特
記
事
項

材質	蓋FCD700 受枠FCD600	内圧	0.4MPa (4.0kgf/cm ²)
載荷量	T-25 i=0.4	質量	109.7kg

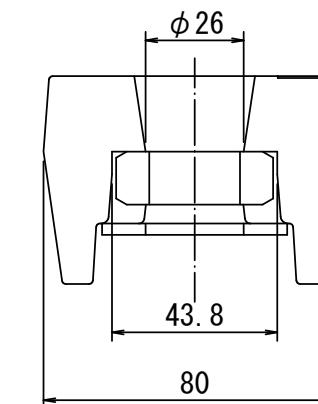
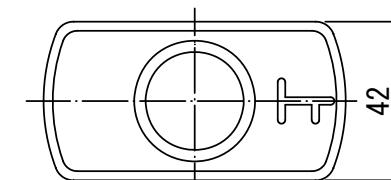
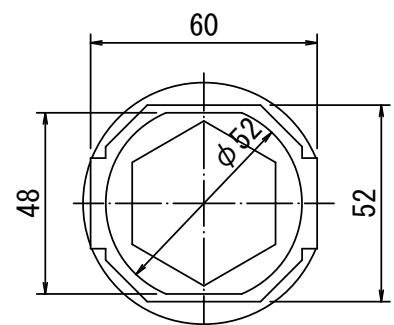
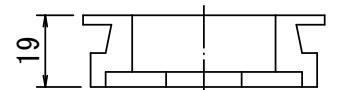
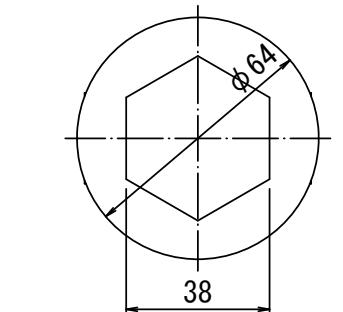
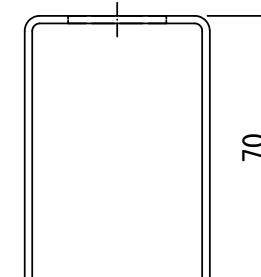
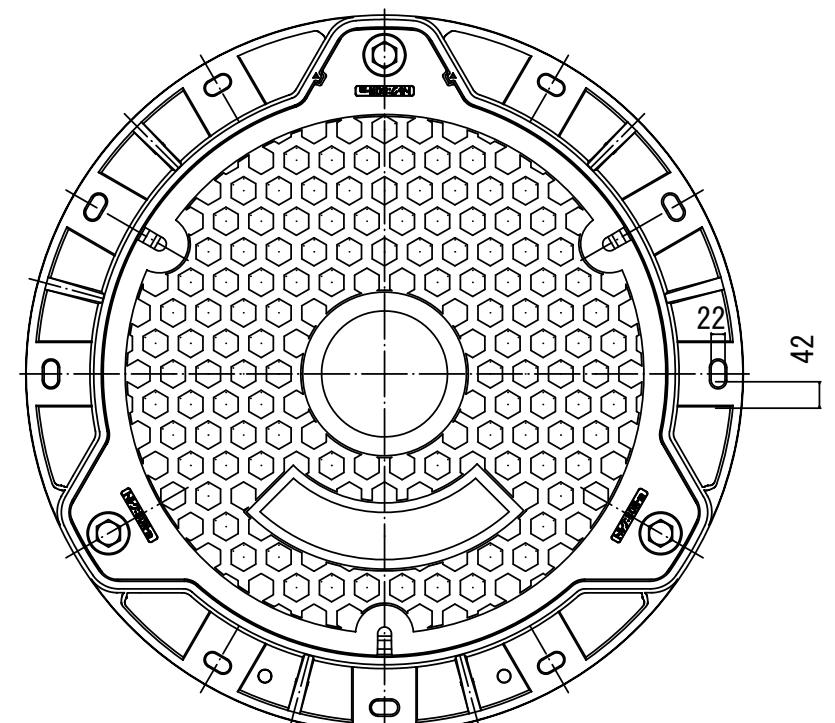
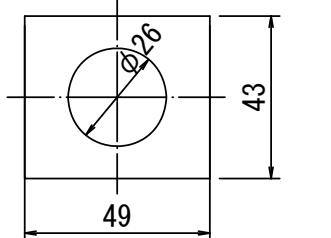
人孔グクタイル密閉蓋構造図
(φ 600mm、4.0kg/cm²対応)



ゴムキャップ詳細図

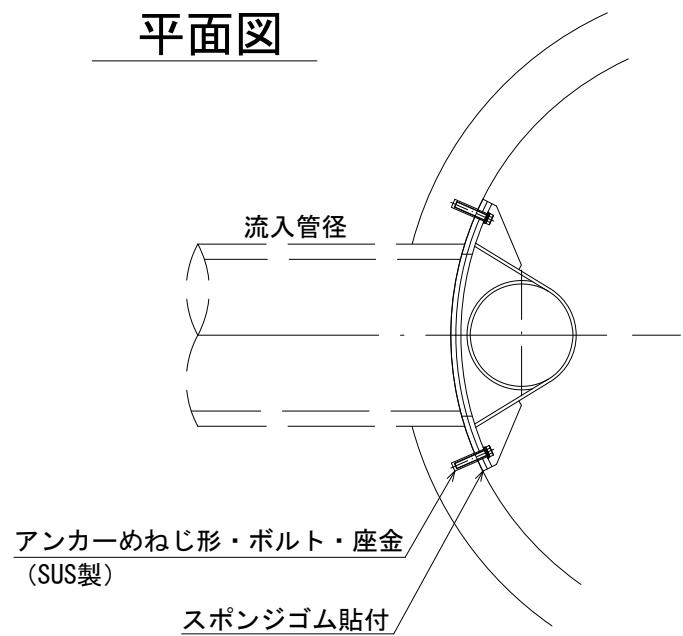
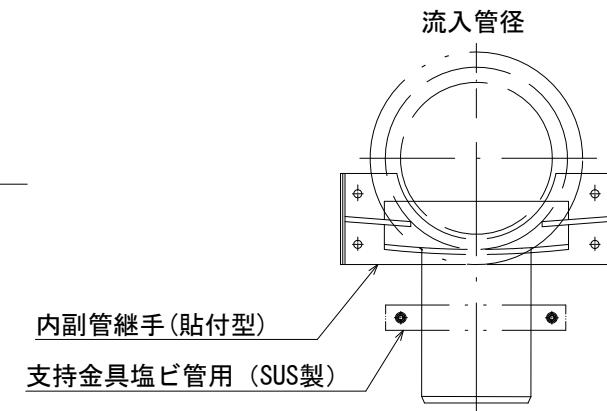
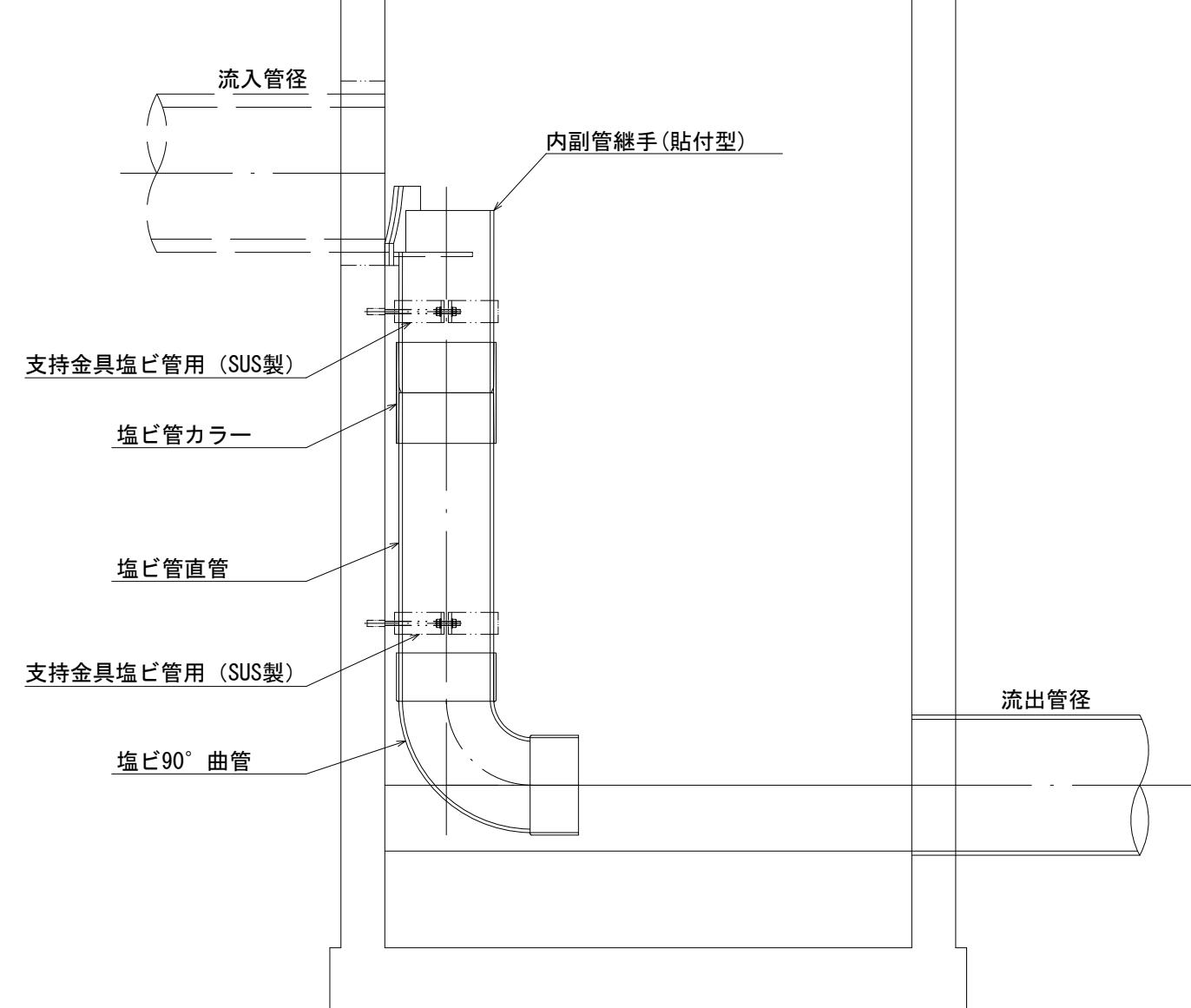
浮上り防止金具詳細図

回り止め金具詳細図

特
記
事
項

材質	蓋FCD700 受枠FCD600	内圧	0.4MPa (4.0kgf/cm ²)
載荷量	T-25 i=0.4	質量	271.4kg

人孔グクタイル密閉蓋構造図
(φ900mm、4.0kg/cm²対応)

平面図断面図(1)断面図(2)

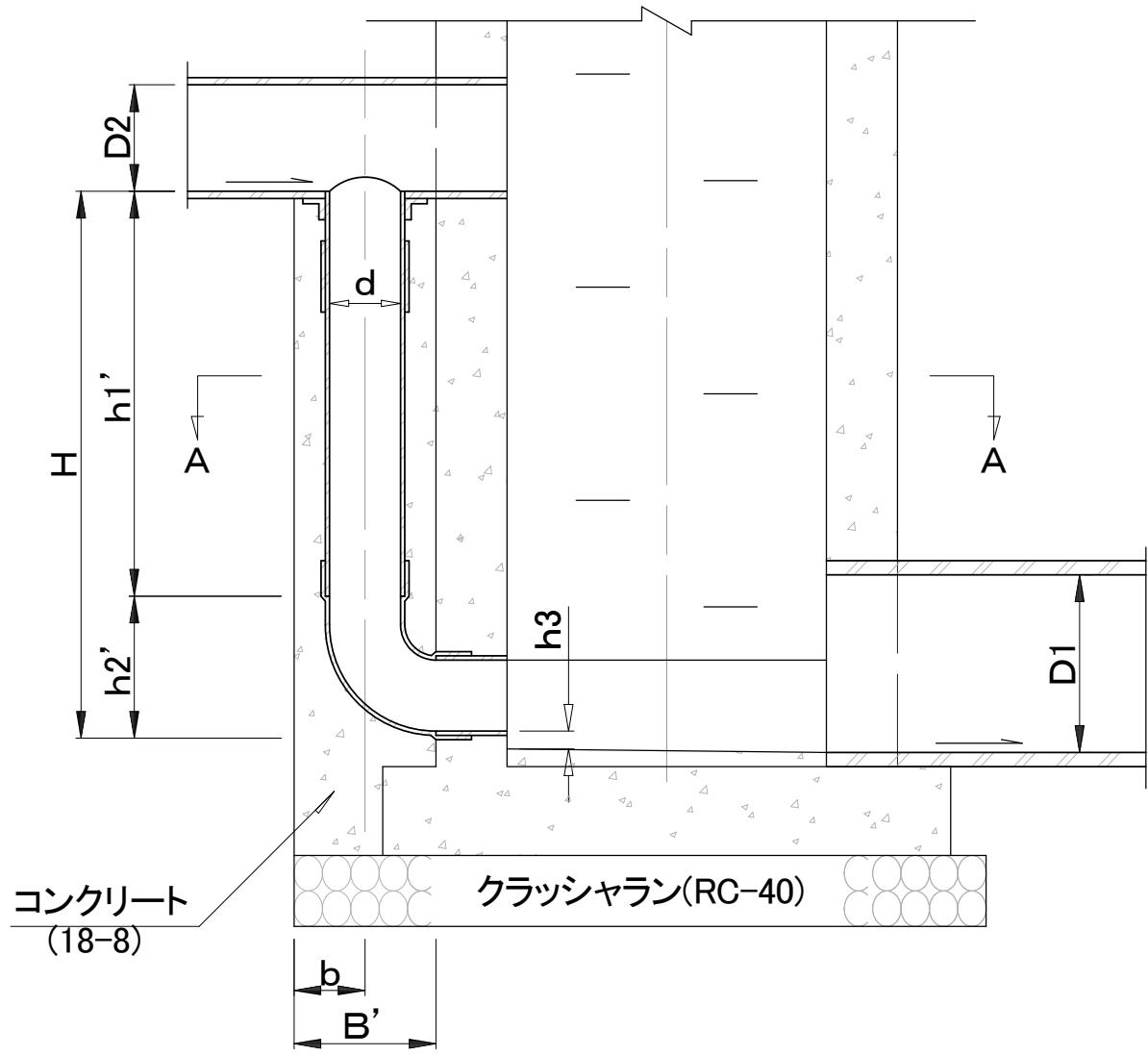
副管の長さ	支持金具の数	副管の支持間隔
1.5m以下	2	
1.5m超~3.0m以下	3	
3.0m超~4.5m以下	4	
4.5m超~6.0m以下	5	
6.0m超~7.5m以下	6	
7.5m超~9.0m以下	7	
1.5m以下		

特
記
事
項

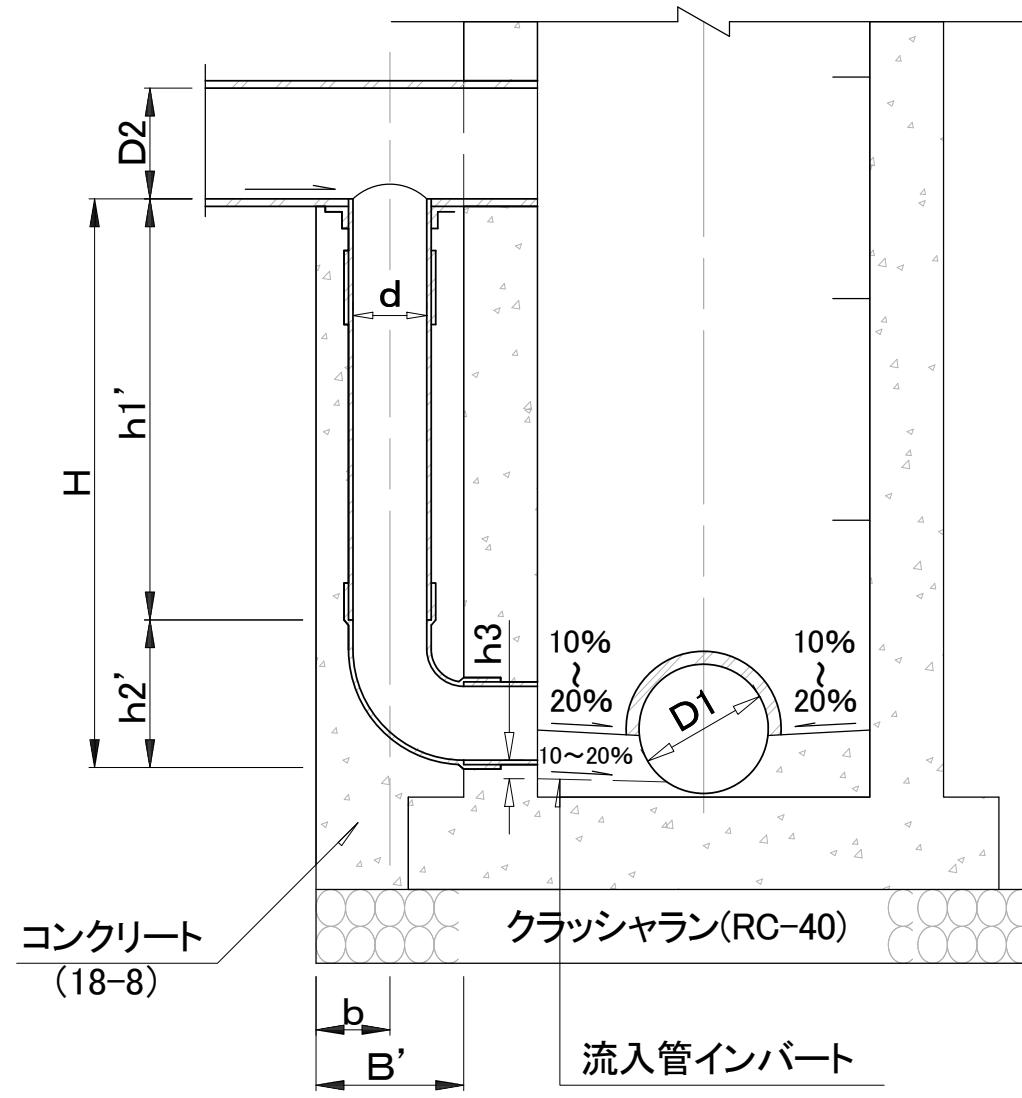
副管をマンホール内に搬入する際、足掛金物やその他施設に干渉しない直径550mmのスペースが必要となります。
支持金具の固定位置は、施工条件等を考慮して決定します。
支持金具のボルトは副管重量を支える強度はありません。

人孔副管[硬質塩化ビニル管]
内副管構造図(省スペース型)

断面図(1)

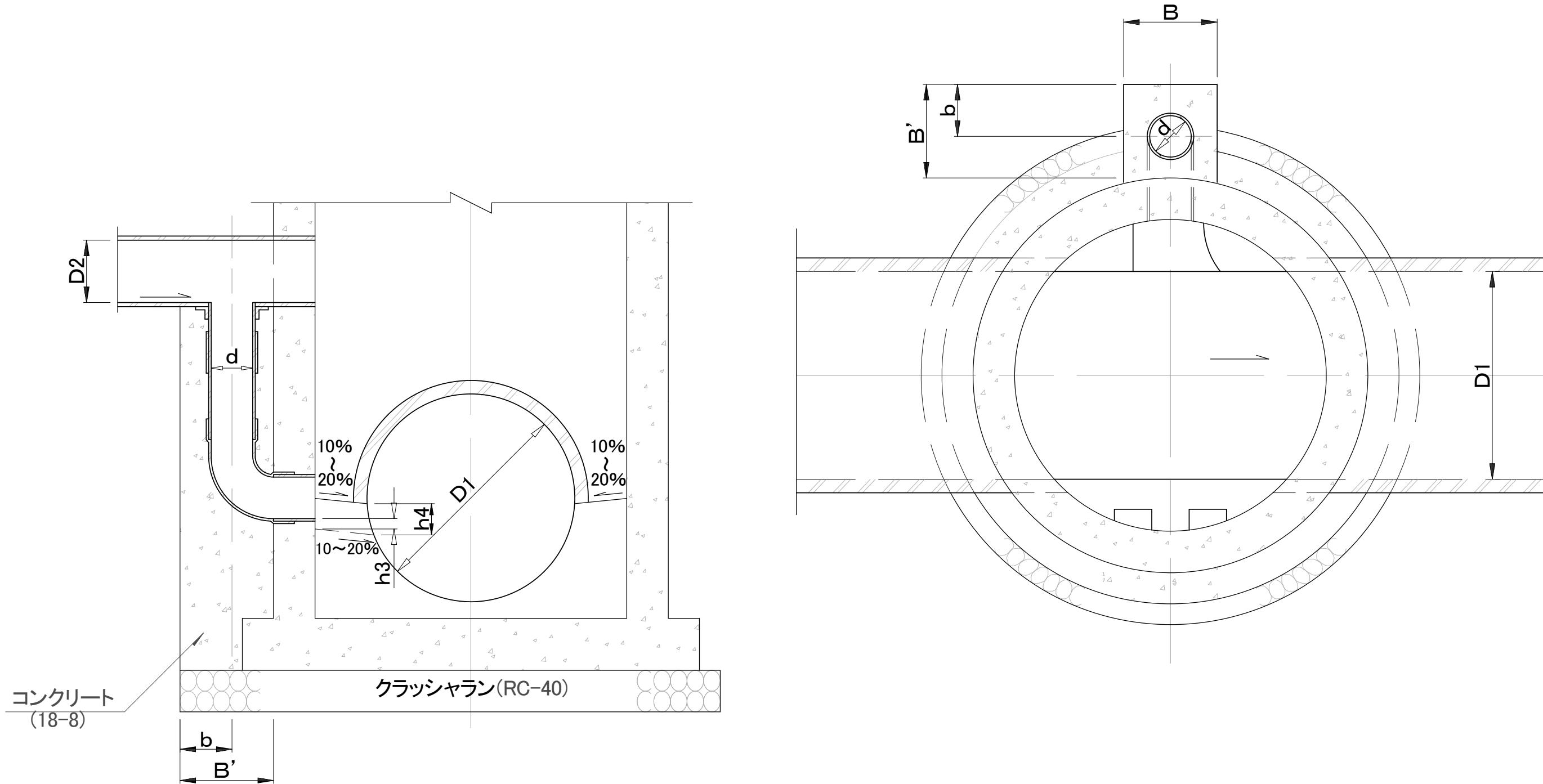


断面図(2)

特
記
事
項

h_3 は5cmの段差を確保する。但し、段差が5cm以上確保できる場合は、副管管頂とインバート天端を一致させる。

人孔副管[硬質塩化ビニル管]
構造図(1)

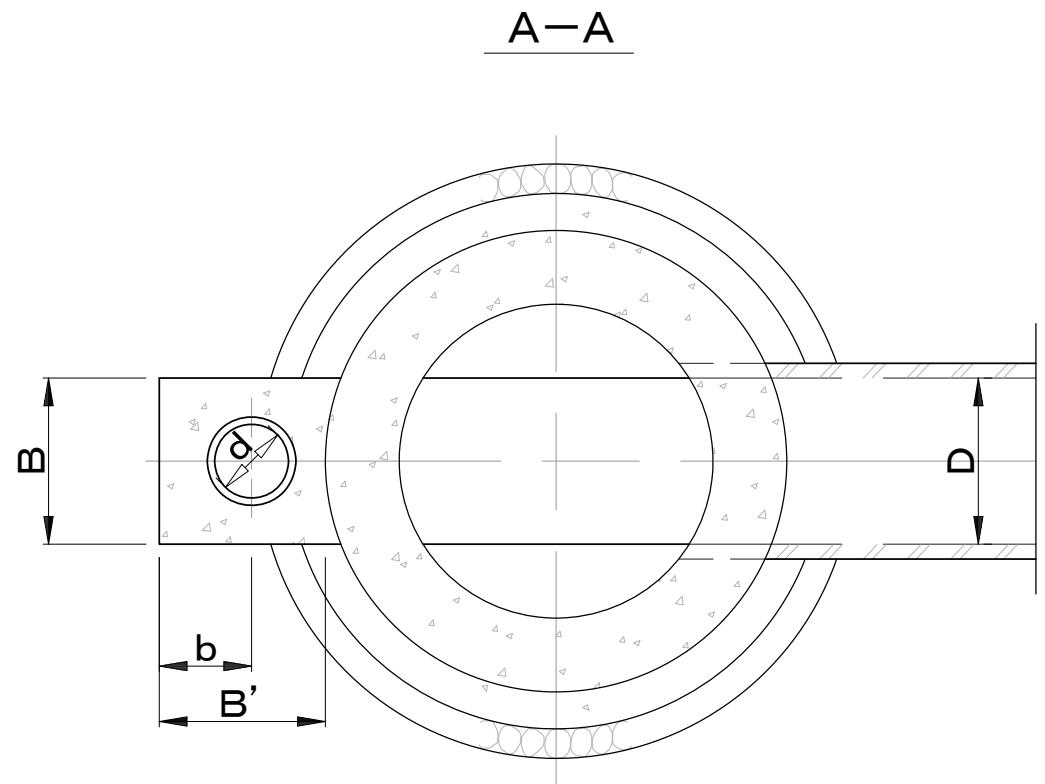
特
記
事
項

1. h_4 は流入管径 D_2 の $1/2$ とする。
2. インバート天端と上流管底の差が、60cm以上の場合に副管をつける。
3. h_3 は5cmの段差を確保する。但し、段差が5cm以上確保できる場合は、副管頂とインバート天端を一致させる。

**人孔副管[大口径管用]
構造図(2)**

副管断面選定基準

(単位:mm)



本管の内径	副管径d
Φ200以下	150
Φ250~Φ350	200
Φ400~Φ500	250
Φ600以上	300

寸法表

(単位:mm)

副管径d	B	B'	b	h2'
150	400	400	200	295
200	450	450	250	346
250	500	500	275	400
300	550	550	300	450

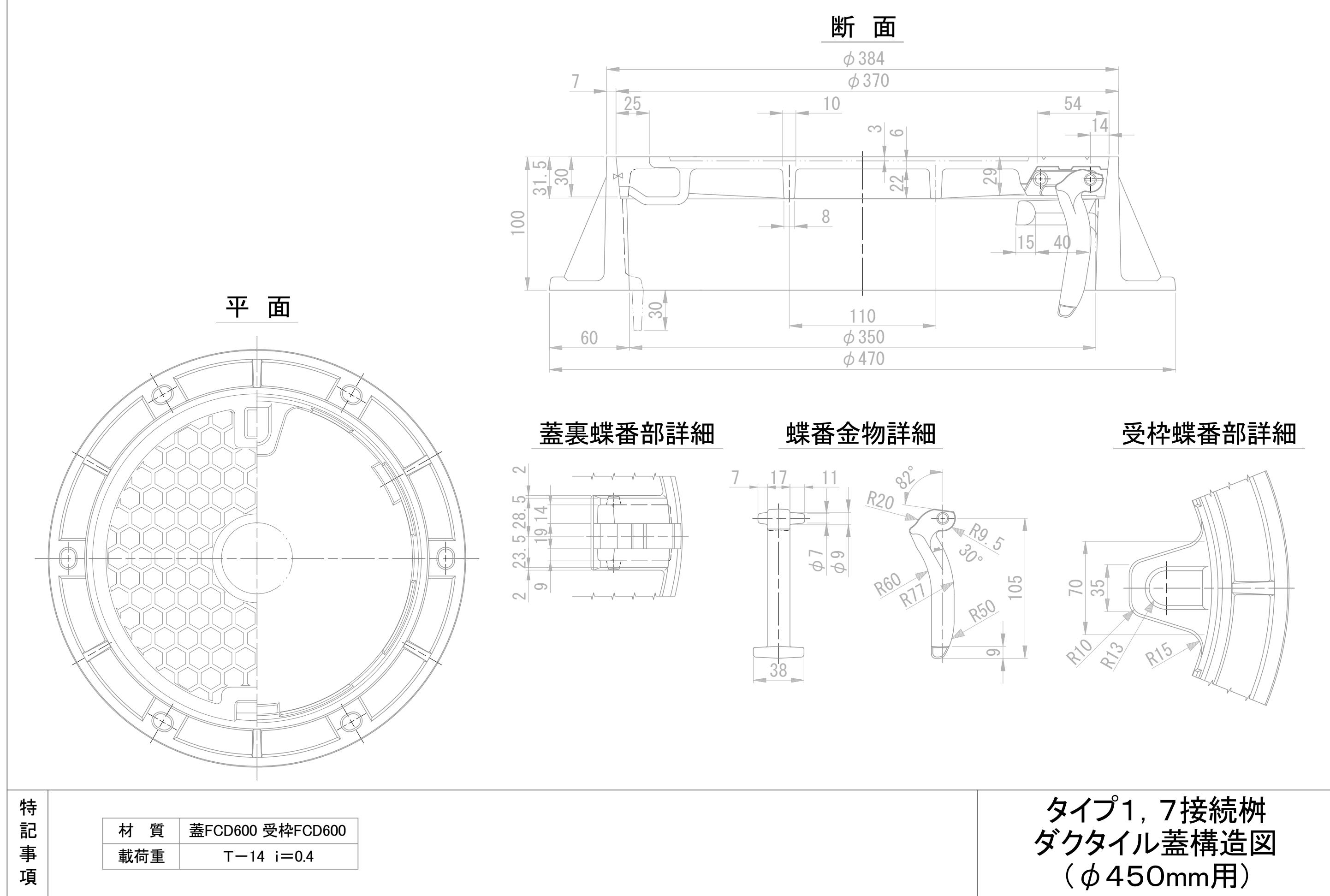
材 料 表

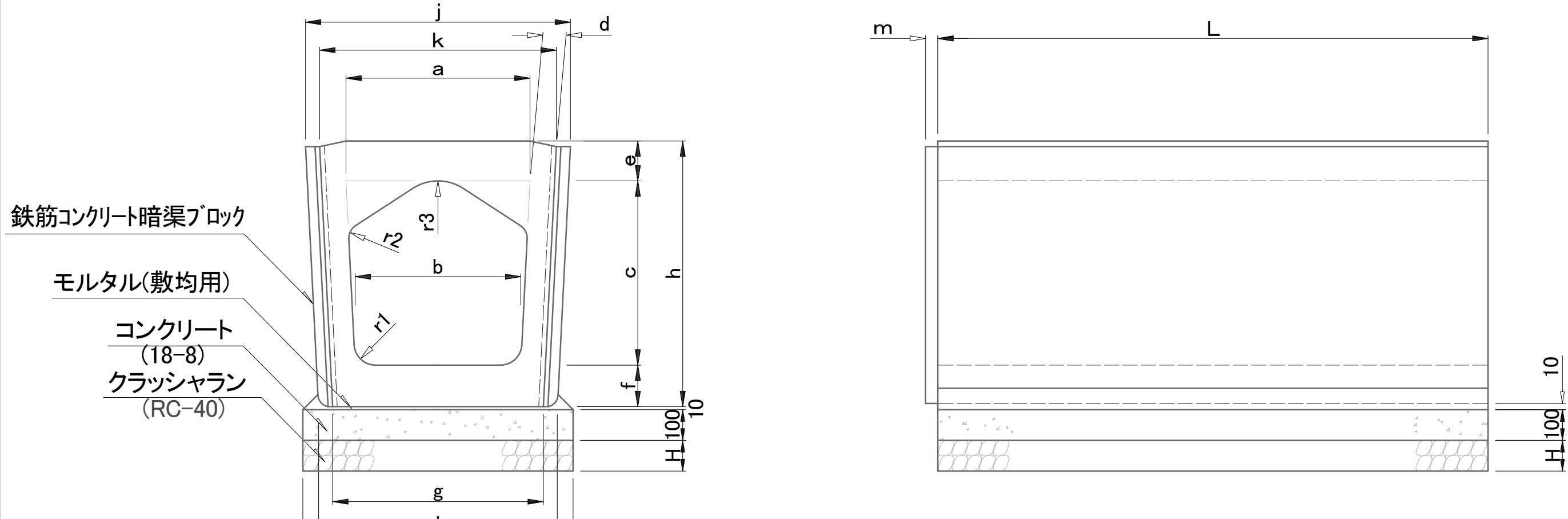
(1箇所当たり)

種別	副管管種			
	硬質塩化ビニル管			
	150	200	250	300
クラッシャラン(RC-40) (m ³)	0.016			
コンクリート(m ³) (18-8)	曲管部 h2'	0.066	0.093	0.124
	直管部 h1' (1.0m当たり)	0.139	0.166	0.194
型枠 (m ²)	曲管部 h2'	0.579	0.730	0.900
	直管部 h1' (1.0m当たり)	1.200	1.350	1.500

特
記
事
項

人孔副管構造図(3)





材 料 表 (10m当たり)					
呼び名	暗渠ブロック(m)	モルタル (m³)	コンクリート(m³)	クラッシャラン(m³)	型枠 (m²)
	TYPE II	敷均用	(18-8)	(RC-40)	均し型枠
600	10.000	0.103	0.880	0.880	2.000

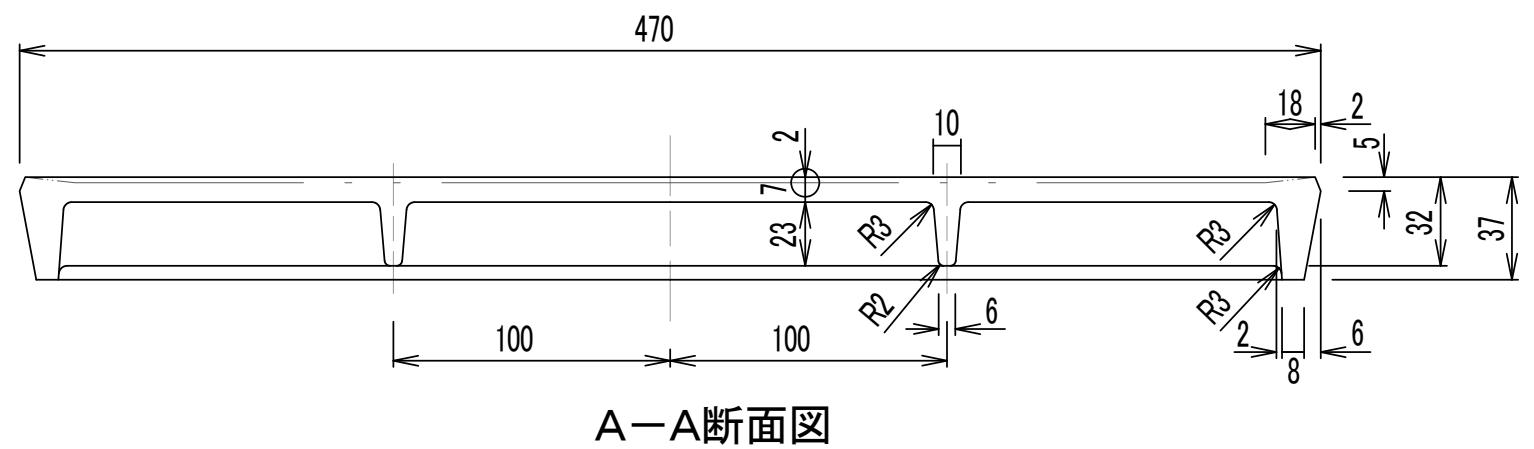
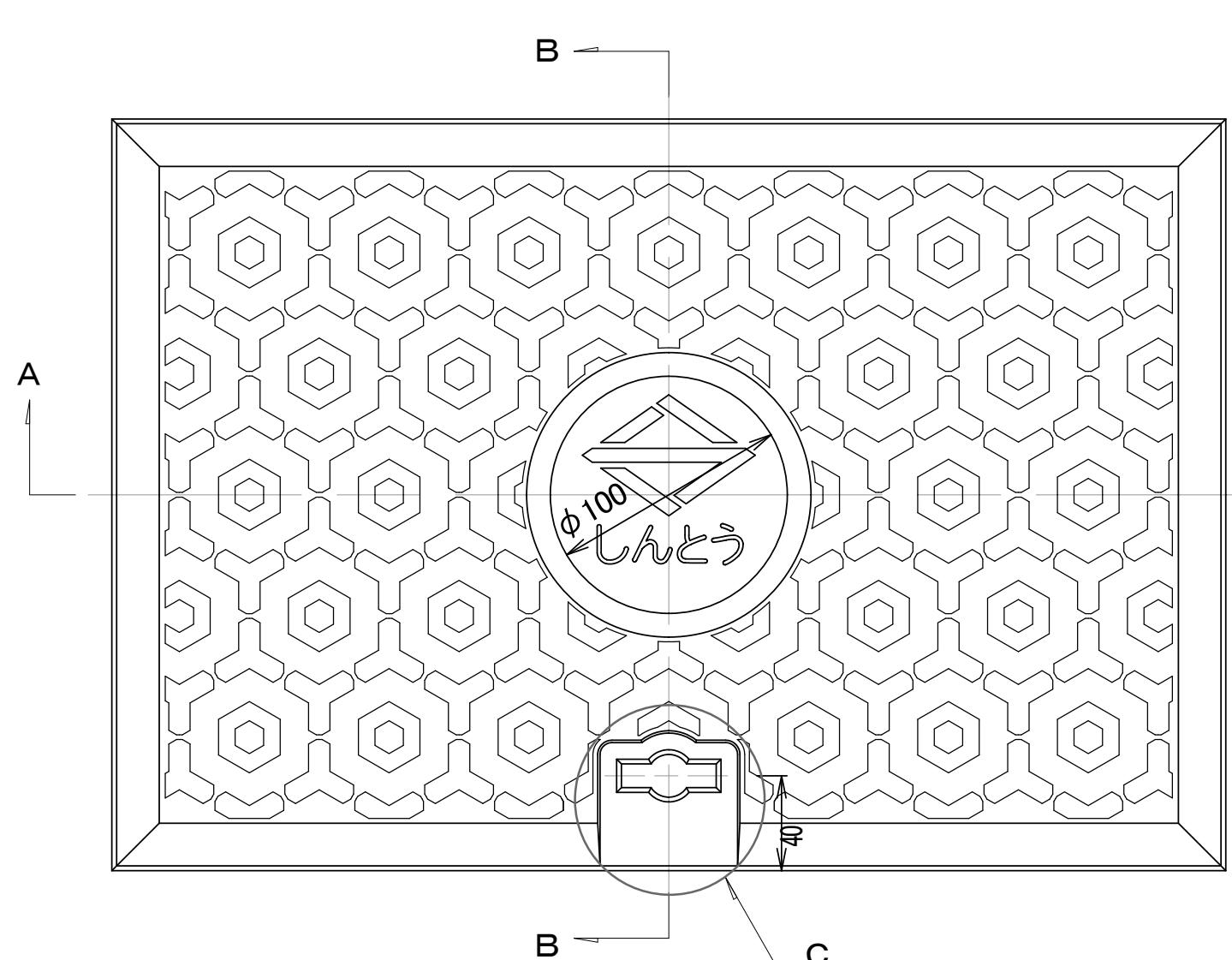
寸 法 表

(単位:mm)

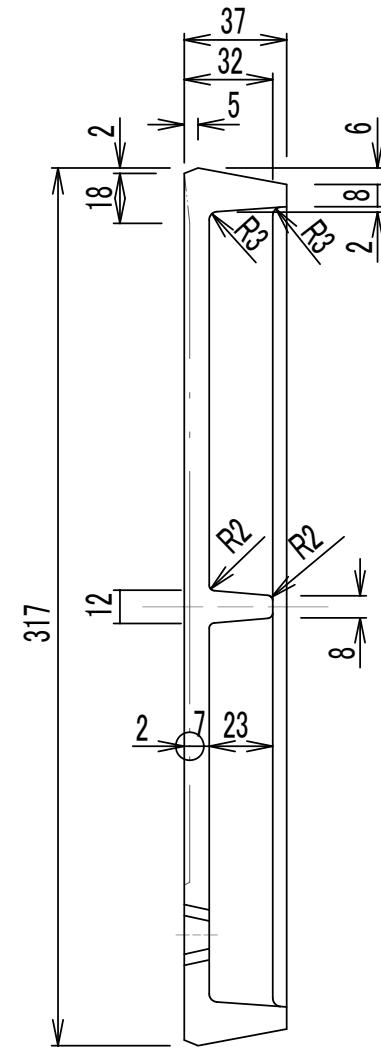
呼び名	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	L	m	r1	r2	r3	B	H	参考質量(kg)
600	600	540	600	80	130	135	690	865	775	865	772	1000	20	70	50	150	880	100	780

特記事項

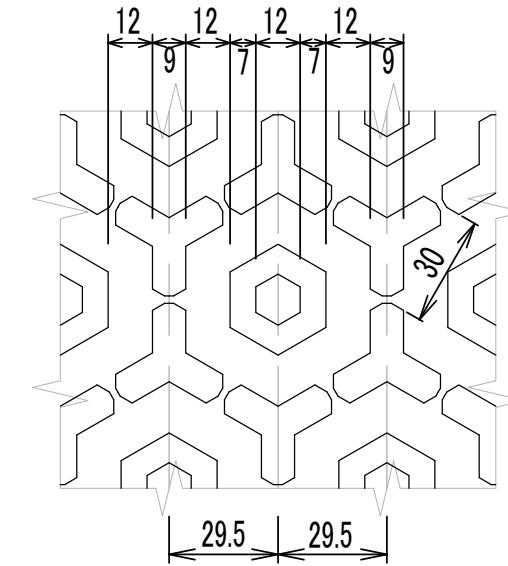
横断暗渠布設図T-14
(神奈川県コンクリート製品
共同組合型 TYPE II・呼び名600)



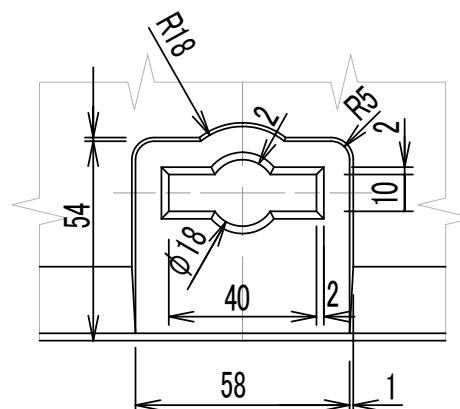
A-A断面図



B-B断面図



模様詳細図



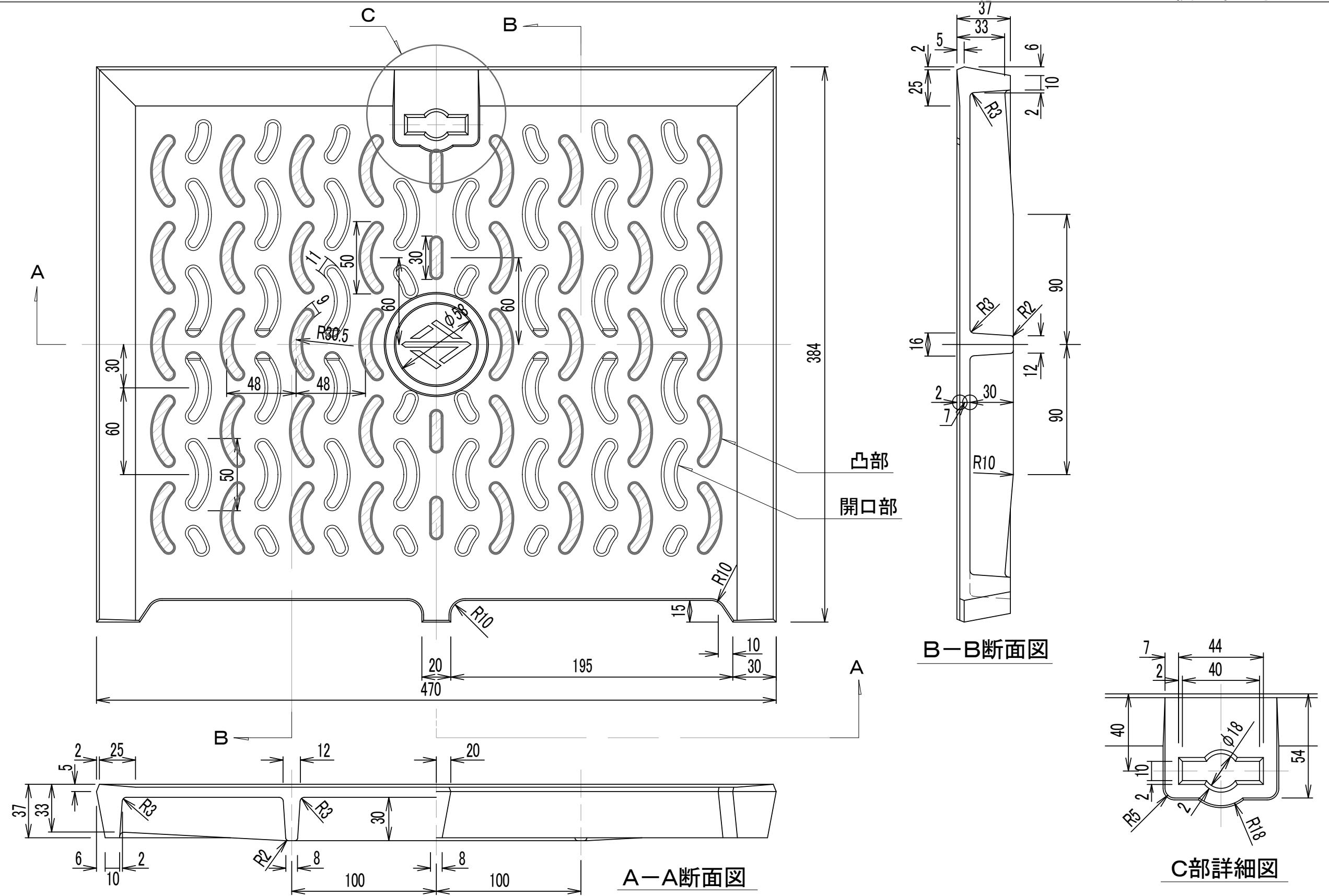
C部詳細図

特
記
事
項

注)蓋裏にメーカー名、製造年、材質を記入する。

材質	FCD600
載荷重	T-14 i=0.4

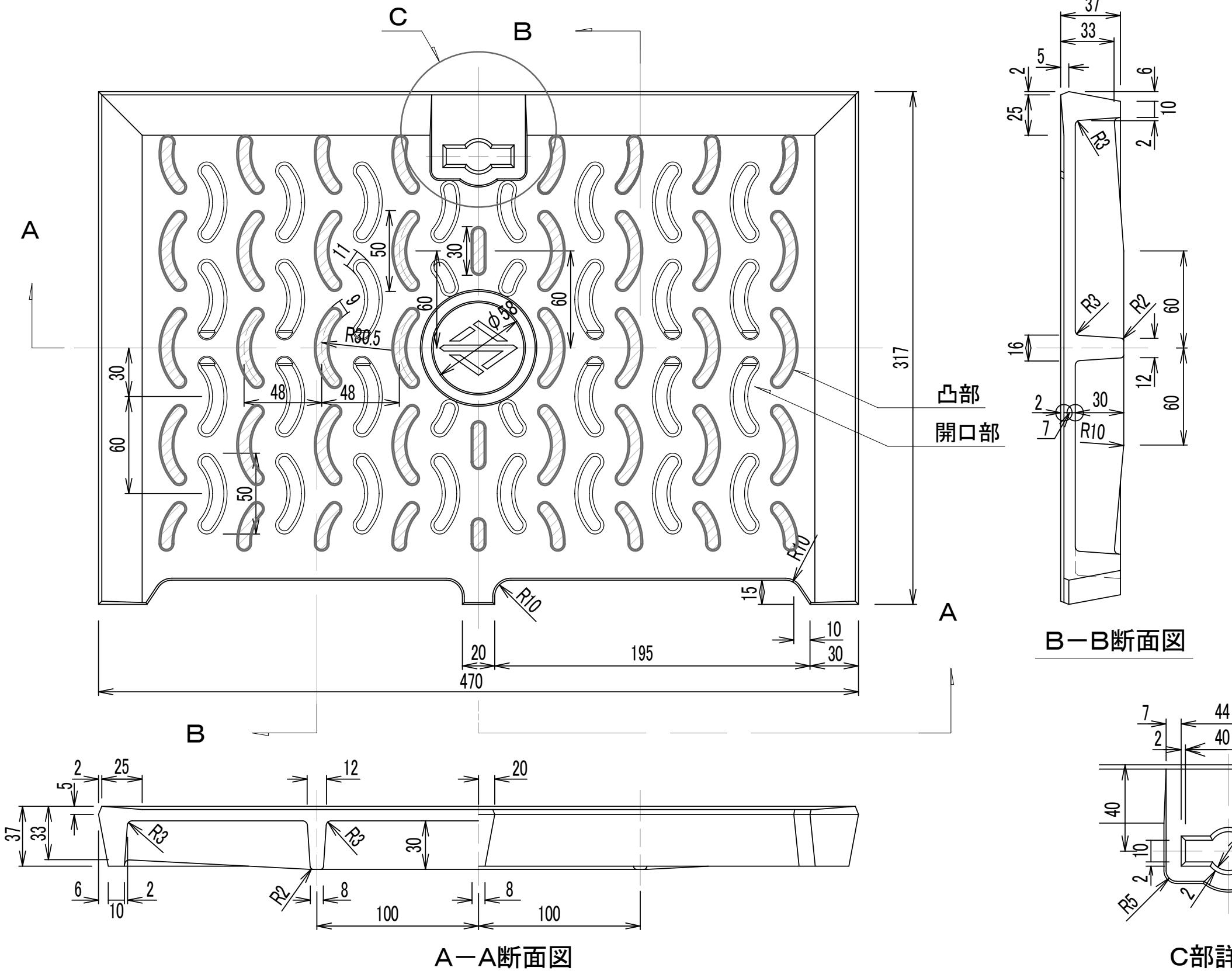
雨水浸透樹蓋構造図

特
記
事
項

注)蓋裏にメーカー名、製造年、材質を記入する。

材質	FCD600
載荷重	T-20 i=0.4

雨水樹蓋(タイプ1用)構造図

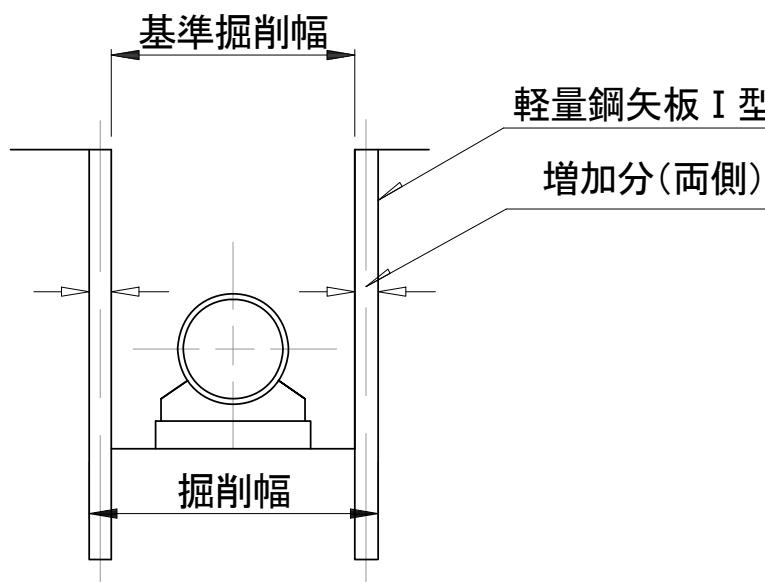
特
記
事
項

注)蓋裏にメーカー名、製造年、材質を記入する。

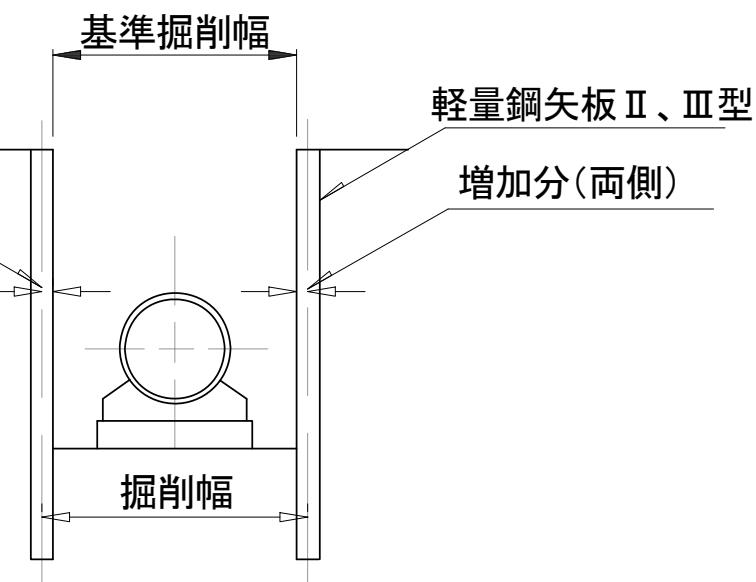
材質	FCD600
載荷重	T-20 i=0.4

雨水樹蓋(タイプ2用)構造図

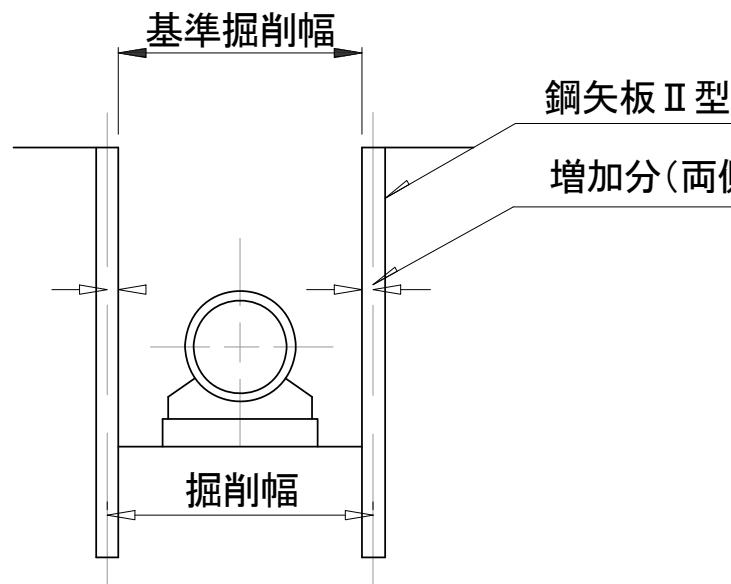
(1) 軽量鋼矢板 I型



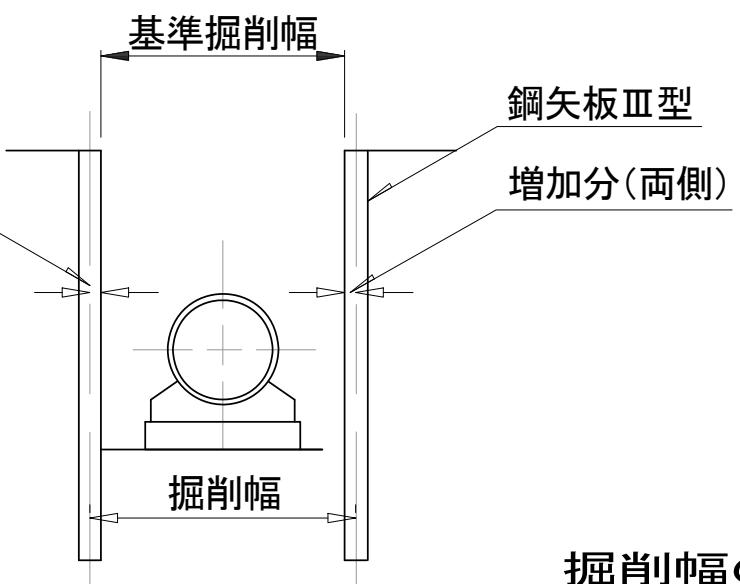
(2) 軽量鋼矢板 II、III型



(3) 鋼矢板 II型



(4) 鋼矢板 III型



基準掘削幅

(単位:mm)

管径	ヒューム管(B,C,NB,NC)				塩ビ管 強プラ管
	碎石基礎	90°基礎	120°基礎	180°基礎	
200	850	900	900	950	800
250	900	950	950	1100	850
300	950	1000	1000	1200	900
350	1000	1100	1100	1250	950
400	1050	1150	1150	1300	1000
450	1100	1200	1300	1400	1050
500	1200	1250	1350	1450	1100
600	1300	1400	1500	1600	1250
700	1400	1650	1650	1850	1350
800	1550	1750	1750	2000	1450
900	1650	1900	1900	2150	1550
1000	1750	2050	2050	2300	1650
1100	1850	2150	2150	2550	1750
1200	2000	2300	2400	2650	1850
1350	2150	2450	2550	2850	2000
1500	2400	2650	2750	3150	2150
1650	2550	2950	2950	3350	2300
1800	2700	3100	3100	3550	2450

機械基準掘削幅

(単位:mm)

仮設種類	掘削幅(両側)		掘削幅
	平積	山積	
軽量鋼矢板 I	基準掘削幅 +100		
軽量鋼矢板 II、III	" +100		
鋼矢板 II	" +200		
鋼矢板 III	" +250		

单条管掘削幅

注)1. 掘削幅の修正(掘削幅は仮設種類により修正した値とする。)

① 軽量鋼矢板 I型 ---掘削幅は矢板の外側間とする。

② 軽量鋼矢板 II、III型, 鋼矢板 II, III型 ---掘削幅は矢板の中心間とする。

2. 梯子胴木基礎は碎石基礎と同じ掘削幅とする。

汚水管がヒューム管の場合

●汚水管(Φ200mm~Φ350mm)

- 管種—ヒューム管
- 基礎—碎石、コンクリート90°、120°、180°、360° 基礎
梯子胴木基礎
- 人孔—円形人孔（中間人孔）

○雨水管(Φ250mm~Φ1800mm)

- 管種—ヒューム管
- 基礎—碎石、コンクリート90°、120°、180°、360° 基礎
梯子胴木基礎
- 人孔—円形人孔（中間人孔）
- 管種—塩ビ管、強プラ管
- 基礎—改良土（砂）基礎
- 人孔—円形人孔（中間人孔）

汚水管が塩ビ管、強プラ管の場合

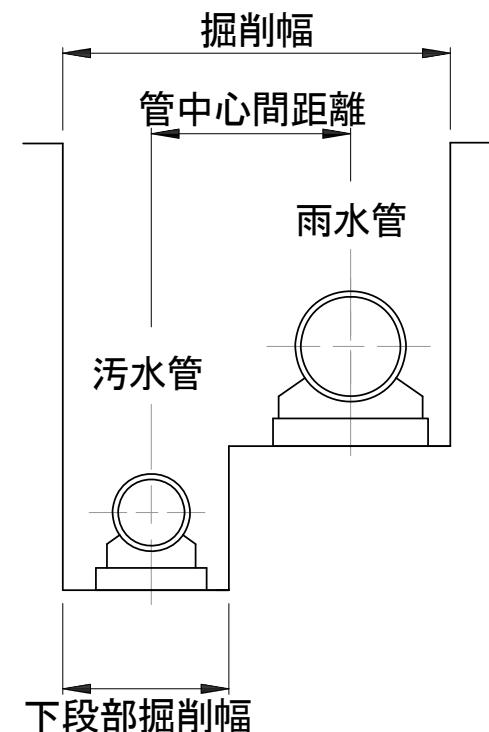
●汚水管(Φ200mm~Φ350mm)

- 管種—塩ビ管、強プラ管
- 基礎—改良土（砂）基礎
- 人孔—円形人孔（中間人孔）

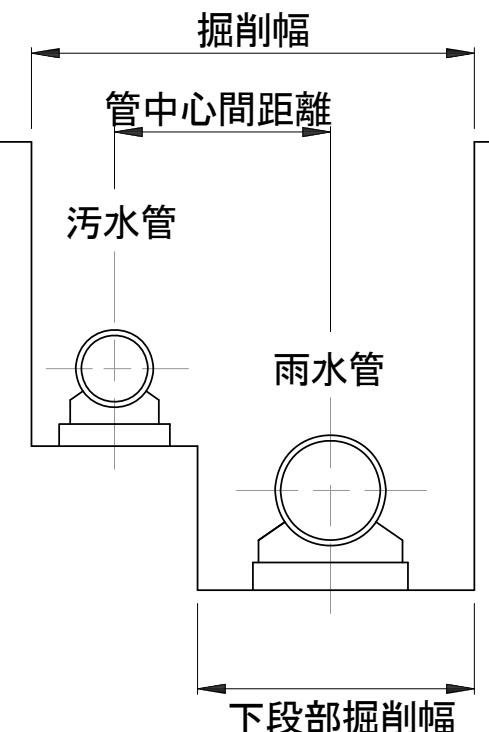
○雨水管(Φ250mm~Φ1800mm)

- 管種—ヒューム管
- 基礎—碎石、コンクリート90°、120°、180°、360° 基礎
梯子胴木基礎
- 人孔—円形人孔（中間人孔）
- 管種—塩ビ管、強プラ管
- 基礎—改良土（砂）基礎
- 人孔—円形人孔（中間人孔）

(1) 汚水管が深い場合
(又は雨水管と同じ)



(2) 汚水管が浅い場合



掘削幅の修正 (単位:mm)

仮設種類	掘削幅(片側)
軽量鋼矢板Ⅰ	基準掘削幅 +50
軽量鋼矢板Ⅱ、Ⅲ	" +50
鋼矢板Ⅱ	" +100
鋼矢板Ⅲ	" +125

注) 1. 掘削幅の修正(掘削幅は仮設種類により修正した値とする。)

- ① 軽量鋼矢板Ⅰ型 --- 掘削幅は矢板の外側間とする。
 - ② 軽量鋼矢板Ⅱ、Ⅲ型、鋼矢板Ⅱ、Ⅲ型 --- 掘削幅は矢板の中心間とする。
2. 梯子胴木基礎は碎石、コンクリート90°基礎と同じ掘削幅とする。

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 砕石基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,700	800	1,700	800	1,700	800	1,800	800	1,800
	Φ300	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	Φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,900	850	1,950
	Φ400	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	Φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	Φ500	950	2,000	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150
	Φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	Φ700	1,050	2,200	1,050	2,300	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,450
	Φ800	1,150	2,350	1,150	2,450	1,150	2,450	1,100	2,550	1,100	2,650
	Φ900	1,200	2,450	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,700	1,200	2,800
	Φ1000	1,250	2,550	1,250	2,700	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,950
	Φ1100	1,350	2,700	1,350	2,850	1,350	2,850	1,350	3,050	1,350	3,100
	Φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,150	1,400	3,200
NC形	Φ1350	1,500	3,000	1,500	3,150	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400
	Φ1500	1,500	3,150	1,500	3,250	1,500	3,300	1,600	3,600	1,600	3,600
	Φ1650	1,550	3,250	1,550	3,450	1,550	3,450	1,700	3,800	1,700	3,800
	Φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,000	1,800	4,000

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	800	1,650
	Φ300	800	1,700
	Φ350	800	1,700
	Φ400	850	1,800
	Φ450	850	1,800
	Φ500	900	1,900
	Φ600	950	2,000
	Φ700	1,000	2,100
強プラ管	Φ800	1,050	2,200
	Φ900	1,100	2,300
	Φ1000	1,150	2,400
	Φ1100	1,200	2,500
	Φ1200	1,350	2,700
	Φ1350	1,350	2,800
	Φ1500	1,400	2,900
	Φ1650	1,550	3,150
	Φ1800	1,600	3,250

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(2)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 碎石基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	φ250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	φ300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
	φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250
NC形	φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
	φ1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラスチック管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,700
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,800
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,900
	φ600	950	2,050
	φ700	1,000	2,150
	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,250	2,800
強プラスチック管	φ1350	1,350	2,850
	φ1500	1,400	2,950
	φ1650	1,600	3,200
	φ1800	1,600	3,300

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(3)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 碎石基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	850	1,800	850	1,800	850	1,800	850	1,900	850	1,900
	Φ300	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	1,950
	Φ350	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	Φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,050
	Φ450	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150
	Φ500	950	2,050	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	Φ600	1,000	2,150	1,000	2,200	1,000	2,250	950	2,250	950	2,350
	Φ700	1,050	2,250	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	Φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,600	1,100	2,700
	Φ900	1,200	2,500	1,200	2,650	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,850
	Φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	3,000
	Φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	Φ1200	1,400	2,900	1,400	3,050	1,400	3,100	1,400	3,200	1,400	3,250
NC形	Φ1500	1,500	3,200	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	Φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	Φ1800	1,650	3,500	1,650	3,700	1,650	3,700	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心	基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	850	1,750
	Φ300	850	1,800
	Φ350	850	1,800
	Φ400	850	1,850
	Φ450	850	1,850
	Φ500	900	1,950
	Φ600	950	2,050
	Φ700	1,000	2,150
強プラ管	Φ800	1,050	2,250
	Φ900	1,100	2,350
	Φ1000	1,200	2,500
	Φ1100	1,200	2,550
	Φ1200	1,400	2,800
	Φ1350	1,400	2,900
	Φ1500	1,400	2,950
	Φ1650	1,600	3,250
	Φ1800	1,600	3,300

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(4)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 90° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距	基準掘削幅	管中心距	基準掘削幅	管中心距	基準掘削幅	管中心距	基準掘削幅	管中心距	基準掘削幅
ヒューム管B形	φ250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	φ300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	φ500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	φ700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
	φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250
NC形	φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
	φ1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,550	3,300	1,550	3,500	1,550	3,500	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラスチック管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距 基準掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,700
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,800
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,900
	φ600	950	2,050
	φ700	1,000	2,150
強プラスチック管	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,350	2,750
	φ1350	1,350	2,800
	φ1500	1,400	2,950
	φ1650	1,550	3,150
	φ1800	1,600	3,300

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(5)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 90° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	φ250	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	φ300	800	1,750	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	φ350	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,050
	φ450	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150
	φ500	950	2,050	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	φ600	1,000	2,150	1,000	2,200	1,000	2,250	950	2,250	950	2,350
	φ700	1,050	2,250	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,600	1,100	2,700
	φ900	1,200	2,500	1,200	2,650	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,850
	φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	3,000
	φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	φ1200	1,400	2,900	1,400	3,050	1,400	3,100	1,400	3,200	1,400	3,250
NC形	φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
	φ1500	1,500	3,200	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	φ1800	1,650	3,500	1,650	3,700	1,650	3,700	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	φ250	800	1,700
	φ300	800	1,750
	φ350	800	1,750
	φ400	850	1,850
	φ450	850	1,850
	φ500	900	1,950
	φ600	950	2,050
	φ700	1,000	2,150
	φ800	1,050	2,250
	φ900	1,100	2,350
	φ1000	1,150	2,450
	φ1100	1,200	2,550
	φ1200	1,400	2,800
強プラ管	φ1350	1,400	2,900
	φ1500	1,400	2,950
	φ1650	1,600	3,250
	φ1800	1,600	3,300

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 90° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	850	1,850	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	1,950
	Φ300	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	Φ350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	Φ400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	Φ450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	Φ500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	Φ600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	Φ700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	Φ800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	Φ900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	Φ1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
	Φ1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200
	Φ1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300
NC形	Φ1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500
	Φ1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	Φ1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	Φ1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	850	1,800
	Φ300	850	1,850
	Φ350	850	1,850
	Φ400	850	1,900
	Φ450	850	1,900
	Φ500	900	2,000
	Φ600	950	2,100
	Φ700	1,000	2,200
強プラ管	Φ800	1,050	2,300
	Φ900	1,100	2,400
	Φ1000	1,200	2,550
	Φ1100	1,200	2,600
	Φ1200	1,400	2,850
	Φ1350	1,400	2,950
	Φ1500	1,400	3,000
	Φ1650	1,600	3,300
	Φ1800	1,600	3,350

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(7)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 120° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	Φ300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	Φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	Φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	Φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	Φ500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	Φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	Φ700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	Φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	Φ900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
	Φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
	Φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	Φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250
NC形	Φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
	Φ1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	Φ1650	1,550	3,300	1,550	3,500	1,550	3,500	1,700	3,850	1,700	3,850
	Φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	800	1,700
	Φ300	800	1,700
	Φ350	800	1,750
	Φ400	850	1,800
	Φ450	850	1,850
	Φ500	900	1,900
	Φ600	950	2,050
	Φ700	1,000	2,150
	Φ800	1,050	2,250
	Φ900	1,100	2,350
強プラ管	Φ1000	1,150	2,450
	Φ1100	1,200	2,550
	Φ1200	1,350	2,750
	Φ1350	1,350	2,800
	Φ1500	1,400	2,950
	Φ1650	1,550	3,150
	Φ1800	1,600	3,300

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(8)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 120° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	Φ300	800	1,750	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	Φ350	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	Φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,050
	Φ450	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150
	Φ500	950	2,050	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	Φ600	1,000	2,150	1,000	2,200	1,000	2,250	950	2,250	950	2,350
	Φ700	1,050	2,250	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	Φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,600	1,100	2,700
	Φ900	1,200	2,500	1,200	2,650	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,850
	Φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	3,000
	Φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	Φ1200	1,400	2,900	1,400	3,050	1,400	3,100	1,400	3,200	1,400	3,250
	Φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
NC形	Φ1500	1,500	3,200	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	Φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	Φ1800	1,650	3,500	1,650	3,700	1,650	3,700	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラスチック管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	800	1,700
	Φ300	800	1,750
	Φ350	800	1,750
	Φ400	850	1,850
	Φ450	850	1,850
	Φ500	900	1,950
	Φ600	950	2,050
	Φ700	1,000	2,150
	Φ800	1,050	2,250
	Φ900	1,100	2,350
	Φ1000	1,150	2,450
	Φ1100	1,200	2,550
	Φ1200	1,400	2,800
	Φ1350	1,400	2,900
強プラスチック管	Φ1500	1,400	2,950
	Φ1650	1,600	3,250
	Φ1800	1,600	3,300

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(9)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 120° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	850	1,850	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	1,950
	Φ300	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	Φ350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	Φ400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	Φ450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	Φ500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	Φ600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	Φ700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	Φ800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	Φ900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	Φ1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
	Φ1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200
	Φ1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300
NC形	Φ1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500
	Φ1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	Φ1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	Φ1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	850	1,800
	Φ300	850	1,850
	Φ350	850	1,850
	Φ400	850	1,900
	Φ450	850	1,900
	Φ500	900	2,000
	Φ600	950	2,100
	Φ700	1,000	2,200
	Φ800	1,050	2,300
	Φ900	1,100	2,400
	Φ1000	1,200	2,550
	Φ1100	1,200	2,600
	Φ1200	1,400	2,850
強プラ管	Φ1350	1,400	2,950
	Φ1500	1,400	3,000
	Φ1650	1,600	3,300
	Φ1800	1,600	3,350

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(10)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 180° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,800	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	Φ300	800	1,800	800	1,850	800	1,850	800	1,950	800	1,950
	Φ350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	Φ400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	Φ450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	Φ500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	Φ600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	Φ700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	Φ800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	Φ900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	Φ1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
	Φ1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200
	Φ1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300
NC形	Φ1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500
	Φ1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	Φ1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	Φ1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラスチック管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	800	1,750
	Φ300	800	1,800
	Φ350	800	1,800
	Φ400	850	1,900
	Φ450	850	1,900
	Φ500	900	2,000
	Φ600	950	2,100
	Φ700	1,000	2,200
	Φ800	1,050	2,300
	Φ900	1,100	2,400
強プラスチック管	Φ1000	1,150	2,500
	Φ1100	1,200	2,600
	Φ1200	1,400	2,850
	Φ1350	1,400	2,950
	Φ1500	1,400	3,000
	Φ1650	1,600	3,300
	Φ1800	1,600	3,350

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(1)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 180° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	850	1,900	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	Φ300	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,050
	Φ350	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,050	850	2,100
	Φ400	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,150
	Φ450	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250
	Φ500	950	2,150	950	2,150	950	2,200	950	2,250	950	2,300
	Φ600	1,000	2,250	1,000	2,300	1,000	2,350	950	2,350	950	2,450
	Φ700	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,450	1,050	2,550	1,050	2,600
	Φ800	1,150	2,500	1,150	2,600	1,150	2,600	1,100	2,700	1,100	2,800
	Φ900	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,750	1,200	2,850	1,200	2,950
	Φ1000	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,850	1,250	3,000	1,250	3,100
	Φ1100	1,350	2,850	1,350	3,000	1,350	3,000	1,350	3,200	1,350	3,250
	Φ1200	1,400	3,000	1,400	3,150	1,400	3,200	1,400	3,300	1,400	3,350
NC形	Φ1350	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,500	3,500	1,500	3,550
	Φ1500	1,500	3,300	1,500	3,400	1,500	3,450	1,600	3,750	1,600	3,750
	Φ1650	1,600	3,450	1,600	3,650	1,600	3,650	1,700	3,950	1,700	3,950
	Φ1800	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,800	4,150	1,800	4,150

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	850	1,850
	Φ300	850	1,900
	Φ350	850	1,900
	Φ400	850	1,950
	Φ450	850	1,950
	Φ500	900	2,050
	Φ600	950	2,150
	Φ700	1,000	2,250
	Φ800	1,050	2,350
	Φ900	1,100	2,450
強プラ管	Φ1000	1,200	2,600
	Φ1100	1,200	2,650
	Φ1200	1,400	2,900
	Φ1350	1,400	3,000
	Φ1500	1,400	3,050
	Φ1650	1,600	3,350
	Φ1800	1,600	3,400

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(12)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 180° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,000
	Φ300	850	1,950	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,050
	Φ350	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,150
	Φ400	850	2,000	850	2,050	850	2,050	850	2,100	850	2,150
	Φ450	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250
	Φ500	950	2,150	950	2,200	950	2,250	950	2,300	950	2,350
	Φ600	1,000	2,250	1,000	2,300	1,000	2,350	950	2,350	950	2,450
	Φ700	1,050	2,350	1,050	2,500	1,050	2,500	1,050	2,600	1,050	2,650
	Φ800	1,150	2,550	1,150	2,650	1,150	2,650	1,100	2,700	1,100	2,800
	Φ900	1,200	2,650	1,200	2,750	1,200	2,750	1,200	2,900	1,200	3,000
	Φ1000	1,250	2,750	1,250	2,900	1,250	2,900	1,250	3,000	1,250	3,100
	Φ1100	1,350	2,900	1,350	3,050	1,350	3,050	1,350	3,250	1,350	3,300
	Φ1200	1,450	3,050	1,450	3,200	1,450	3,250	1,450	3,400	1,450	3,450
NC形	Φ1350	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400	1,500	3,550	1,500	3,600
	Φ1500	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500	1,600	3,800	1,600	3,800
	Φ1650	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,700	4,000	1,700	4,000
	Φ1800	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,800	4,200	1,800	4,200

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	850	1,900
	Φ300	850	1,900
	Φ350	850	1,950
	Φ400	850	1,950
	Φ450	850	2,000
	Φ500	900	2,050
	Φ600	950	2,150
	Φ700	1,050	2,350
	Φ800	1,150	2,550
	Φ900	1,200	2,650
	Φ1000	1,250	2,750
	Φ1100	1,350	2,900
	Φ1200	1,450	3,050
強プラ管	Φ1350	1,500	3,150
	Φ1500	1,500	3,150
	Φ1650	1,650	3,400
	Φ1800	1,650	3,500

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(13)

●汚水管 ヒューム管 管径250mm 360°コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,800	800	1,800	800	1,800	800	1,900	800	1,900
	Φ300	800	1,800	800	1,850	800	1,850	800	1,950	800	1,950
	Φ350	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,000	850	2,050
	Φ400	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,100
	Φ450	900	2,000	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200
	Φ500	950	2,100	950	2,100	950	2,150	950	2,200	950	2,250
	Φ600	1,000	2,200	1,000	2,250	1,000	2,300	950	2,300	950	2,400
	Φ700	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,400	1,050	2,500	1,050	2,550
	Φ800	1,150	2,450	1,150	2,550	1,150	2,550	1,100	2,650	1,100	2,750
	Φ900	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,900
	Φ1000	1,250	2,650	1,250	2,800	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	3,050
	Φ1100	1,350	2,800	1,350	2,950	1,350	2,950	1,350	3,150	1,350	3,200
	Φ1200	1,400	2,950	1,400	3,100	1,400	3,150	1,400	3,250	1,400	3,300
NC形	Φ1350	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,500	3,450	1,500	3,500
	Φ1500	1,500	3,250	1,500	3,350	1,500	3,400	1,600	3,700	1,600	3,700
	Φ1650	1,600	3,400	1,600	3,600	1,600	3,600	1,700	3,900	1,700	3,900
	Φ1800	1,650	3,550	1,650	3,750	1,650	3,750	1,800	4,100	1,800	4,100

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	800	1,750
	Φ300	800	1,800
	Φ350	800	1,800
	Φ400	850	1,900
	Φ450	850	1,900
	Φ500	900	2,000
	Φ600	950	2,100
	Φ700	1,000	2,200
	Φ800	1,050	2,300
	Φ900	1,100	2,400
	Φ1000	1,150	2,500
	Φ1100	1,200	2,600
	Φ1200	1,400	2,850
強プラ管	Φ1350	1,400	2,950
	Φ1500	1,400	3,000
	Φ1650	1,600	3,300
	Φ1800	1,600	3,350

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(14)

●汚水管 ヒューム管 管径300mm 360° コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	850	1,900	850	1,900	850	1,900	850	2,000	850	2,000
	Φ300	850	1,900	850	1,950	850	1,950	850	2,050	850	2,050
	Φ350	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,050	850	2,100
	Φ400	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,150
	Φ450	900	2,050	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250
	Φ500	950	2,150	950	2,150	950	2,200	950	2,250	950	2,300
	Φ600	1,000	2,250	1,000	2,300	1,000	2,350	950	2,350	950	2,450
	Φ700	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,450	1,050	2,550	1,050	2,600
	Φ800	1,150	2,500	1,150	2,600	1,150	2,600	1,100	2,700	1,100	2,800
	Φ900	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,750	1,200	2,850	1,200	2,950
	Φ1000	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,850	1,250	3,000	1,250	3,100
	Φ1100	1,350	2,850	1,350	3,000	1,350	3,000	1,350	3,200	1,350	3,250
	Φ1200	1,400	3,000	1,400	3,150	1,400	3,200	1,400	3,300	1,400	3,350
NC形	Φ1350	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,500	3,500	1,500	3,550
	Φ1500	1,500	3,300	1,500	3,400	1,500	3,450	1,600	3,750	1,600	3,750
	Φ1650	1,600	3,450	1,600	3,650	1,600	3,650	1,700	3,950	1,700	3,950
	Φ1800	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,800	4,150	1,800	4,150

○雨水管が塩ビ・強プラスチック管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	850	1,850
	Φ300	850	1,900
	Φ350	850	1,900
	Φ400	850	1,950
	Φ450	850	1,950
	Φ500	900	2,050
	Φ600	950	2,150
	Φ700	1,000	2,250
	Φ800	1,050	2,350
	Φ900	1,100	2,450
	Φ1000	1,200	2,600
	Φ1100	1,200	2,650
	Φ1200	1,400	2,900
強プラスチック管	Φ1350	1,400	3,000
	Φ1500	1,400	3,050
	Φ1650	1,600	3,350
	Φ1800	1,600	3,400

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(15)

●汚水管 ヒューム管 管径350mm 360°コンクリート基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	850	1,950	850	2,000	850	2,000	850	2,050	850	2,050
	Φ300	850	2,000	850	2,000	850	2,000	850	2,100	850	2,100
	Φ350	850	2,000	850	2,050	850	2,050	850	2,150	850	2,200
	Φ400	850	2,050	850	2,100	850	2,100	850	2,150	850	2,200
	Φ450	900	2,100	900	2,150	900	2,200	900	2,250	900	2,300
	Φ500	950	2,200	950	2,250	950	2,300	950	2,350	950	2,400
	Φ600	1,000	2,300	1,000	2,350	1,000	2,400	950	2,400	950	2,500
	Φ700	1,050	2,400	1,050	2,550	1,050	2,550	1,050	2,650	1,050	2,700
	Φ800	1,150	2,600	1,150	2,700	1,150	2,700	1,100	2,750	1,100	2,850
	Φ900	1,200	2,700	1,200	2,800	1,200	2,800	1,200	2,950	1,200	3,050
	Φ1000	1,250	2,800	1,250	2,950	1,250	2,950	1,250	3,050	1,250	3,150
	Φ1100	1,350	2,950	1,350	3,100	1,350	3,100	1,350	3,300	1,350	3,350
	Φ1200	1,450	3,100	1,450	3,250	1,450	3,300	1,450	3,450	1,450	3,500
	Φ1350	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450	1,500	3,600	1,500	3,650
NC形	Φ1500	1,500	3,350	1,500	3,500	1,500	3,550	1,600	3,850	1,600	3,850
	Φ1650	1,650	3,600	1,650	3,800	1,650	3,800	1,700	4,050	1,700	4,050
	Φ1800	1,650	3,650	1,650	3,850	1,650	3,850	1,800	4,250	1,800	4,250

○雨水管が塩ビ・強プラスチック管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	850	1,950
	Φ300	850	1,950
	Φ350	850	2,000
	Φ400	850	2,000
	Φ450	850	2,050
	Φ500	900	2,100
	Φ600	950	2,250
	Φ700	1,050	2,400
強プラスチック管	Φ800	1,050	2,450
	Φ900	1,100	2,550
	Φ1000	1,200	2,700
	Φ1100	1,200	2,750
	Φ1200	1,450	3,050
	Φ1350	1,450	3,100
	Φ1500	1,450	3,200
	Φ1650	1,650	3,450

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(16)

●汚水管 塩ビ管 管径250mm 砂・改良土基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,650	800	1,700	800	1,700	800	1,750	800	1,750
	Φ300	800	1,700	800	1,700	800	1,700	800	1,800	800	1,800
	Φ350	850	1,750	850	1,800	850	1,800	850	1,900	850	1,950
	Φ400	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,900	850	1,950
	Φ450	900	1,850	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050
	Φ500	950	1,950	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150
	Φ600	1,000	2,050	1,000	2,100	1,000	2,150	950	2,150	950	2,250
	Φ700	1,050	2,150	1,050	2,300	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,450
	Φ800	1,150	2,350	1,150	2,450	1,150	2,450	1,100	2,500	1,100	2,600
	Φ900	1,200	2,450	1,200	2,550	1,200	2,550	1,200	2,700	1,200	2,800
	Φ1000	1,250	2,550	1,250	2,700	1,250	2,700	1,250	2,800	1,250	2,900
	Φ1100	1,350	2,700	1,350	2,850	1,350	2,850	1,350	3,050	1,350	3,100
	Φ1200	1,400	2,800	1,400	2,950	1,400	3,000	1,400	3,150	1,400	3,200
NC形	Φ1350	1,500	3,000	1,500	3,150	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400
	Φ1500	1,500	3,100	1,500	3,250	1,500	3,300	1,600	3,600	1,600	3,600
	Φ1650	1,550	3,250	1,550	3,450	1,550	3,450	1,700	3,800	1,700	3,800
	Φ1800	1,650	3,400	1,650	3,600	1,650	3,600	1,800	4,000	1,800	4,000

○雨水管が塩ビ・強プラスチック管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	管中心距離 基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	750	1,600
	Φ300	800	1,650
	Φ350	800	1,700
	Φ400	850	1,750
	Φ450	850	1,800
	Φ500	900	1,850
	Φ600	950	2,000
	Φ700	1,000	2,100
	Φ800	1,050	2,200
	Φ900	1,100	2,300
	Φ1000	1,150	2,400
	Φ1100	1,200	2,500
	Φ1200	1,350	2,700
強プラスチック管	Φ1350	1,350	2,750
	Φ1500	1,400	2,900
	Φ1650	1,550	3,100
	Φ1800	1,600	3,250

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(17)

●汚水管 塩ビ管 管径300mm 砂・改良土基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,700	800	1,700	800	1,700	800	1,800	800	1,800
	Φ300	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	Φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,900	850	1,950
	Φ400	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	Φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	Φ500	950	2,000	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150
	Φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	Φ700	1,050	2,200	1,050	2,300	1,050	2,300	1,050	2,400	1,050	2,450
	Φ800	1,150	2,350	1,150	2,450	1,150	2,450	1,100	2,550	1,100	2,650
	Φ900	1,200	2,450	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,700	1,200	2,800
	Φ1000	1,250	2,550	1,250	2,700	1,250	2,700	1,250	2,850	1,250	2,950
	Φ1100	1,350	2,700	1,350	2,850	1,350	2,850	1,350	3,050	1,350	3,100
	Φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,150	1,400	3,200
NC形	Φ1350	1,500	3,000	1,500	3,150	1,500	3,200	1,500	3,350	1,500	3,400
	Φ1500	1,500	3,150	1,500	3,250	1,500	3,300	1,600	3,600	1,600	3,600
	Φ1650	1,550	3,250	1,550	3,450	1,550	3,450	1,700	3,800	1,700	3,800
	Φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,000	1,800	4,000

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	800	1,650
	Φ300	800	1,700
	Φ350	800	1,700
	Φ400	850	1,800
	Φ450	850	1,800
	Φ500	900	1,900
	Φ600	950	2,000
	Φ700	1,000	2,100
	Φ800	1,050	2,200
	Φ900	1,100	2,300
	Φ1000	1,150	2,400
	Φ1100	1,200	2,500
	Φ1200	1,250	2,700
強プラ管	Φ1350	1,350	2,800
	Φ1500	1,400	2,900
	Φ1650	1,550	3,150
	Φ1800	1,600	3,250

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1) を参照すること。

二条管掘削幅(18)

●汚水管 塩ビ管 管径350mm 砂・改良土基礎 の場合

○雨水管がヒューム管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類									
		碎石基礎		90°コンクリート基礎		120°コンクリート基礎		180°コンクリート基礎		360°コンクリート基礎	
		管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅	管中心距離	基準掘削幅
ヒューム管B形	Φ250	800	1,700	800	1,750	800	1,750	800	1,800	800	1,800
	Φ300	800	1,750	800	1,750	800	1,750	800	1,850	800	1,850
	Φ350	850	1,800	850	1,850	850	1,850	850	1,950	850	2,000
	Φ400	850	1,850	850	1,900	850	1,900	850	1,950	850	2,000
	Φ450	900	1,900	900	1,950	900	2,000	900	2,050	900	2,100
	Φ500	950	2,000	950	2,050	950	2,100	950	2,150	950	2,200
	Φ600	1,000	2,100	1,000	2,150	1,000	2,200	950	2,200	950	2,300
	Φ700	1,050	2,200	1,050	2,350	1,050	2,350	1,050	2,450	1,050	2,500
	Φ800	1,150	2,400	1,150	2,500	1,150	2,500	1,100	2,550	1,100	2,650
	Φ900	1,200	2,500	1,200	2,600	1,200	2,600	1,200	2,750	1,200	2,850
	Φ1000	1,250	2,600	1,250	2,750	1,250	2,750	1,250	2,850	1,250	2,950
	Φ1100	1,350	2,750	1,350	2,900	1,350	2,900	1,350	3,100	1,350	3,150
	Φ1200	1,400	2,850	1,400	3,000	1,400	3,050	1,400	3,200	1,400	3,250
	Φ1350	1,500	3,050	1,500	3,200	1,500	3,250	1,500	3,400	1,500	3,450
NC形	Φ1500	1,500	3,150	1,500	3,300	1,500	3,350	1,600	3,650	1,600	3,650
	Φ1650	1,600	3,350	1,600	3,550	1,600	3,550	1,700	3,850	1,700	3,850
	Φ1800	1,650	3,450	1,650	3,650	1,650	3,650	1,800	4,050	1,800	4,050

○雨水管が塩ビ・強プラ管の場合

管種	管径	雨水管基礎種類	
		砂・改良土基礎	
		管中心距離	基準掘削幅
塩ビ管	Φ250	800	1,700
	Φ300	800	1,700
	Φ350	800	1,750
	Φ400	850	1,800
	Φ450	850	1,850
	Φ500	900	1,900
	Φ600	950	2,050
	Φ700	1,000	2,150
	Φ800	1,050	2,250
	Φ900	1,100	2,350
強プラ管	Φ1000	1,150	2,450
	Φ1100	1,200	2,550
	Φ1200	1,400	2,800
	Φ1350	1,400	2,850
	Φ1500	1,400	2,950
	Φ1650	1,600	3,200
	Φ1800	1,600	3,300

特記事項

上記表は、仮設種類による掘削幅の修正をしていないため、別途考慮すること。
掘削幅の修正については、〈参考4-2〉二条管掘削幅(1)を参照すること。

二条管掘削幅(19)

